

令和４年度宮城県児童生徒学習意識等調査結果について

【 目 次 】	
1	実施状況 P 1
(1)	調査の目的
(2)	調査実施期日
(3)	調査対象者
2	調査結果の概況 P 2～10
(1)	「学力向上に向けた５つの提言」に関連する事項
①	改善傾向が見られるもの
②	課題が見られるもの
③	児童生徒と学校の認識にかい離が見られるもの
(2)	災害（地震・津波）の影響に関連する事項
(3)	基本的な生活習慣に関連する事項
(4)	自尊意識・規範意識に関連する事項
(5)	ボランティア活動等に関連する事項
(6)	タブレット端末やパソコン等の活用に関連する事項
3	今後の対応 P 10

1 実施状況

(1) 調査の目的

宮城県（仙台市を除く）の児童生徒における学習・生活に係る取組や意識等を調査することにより、児童生徒の心のケアと一層の学力向上を図る教育施策の企画・立案に活用する。また、各学校における教育に関する継続的な検証改善サイクルの充実を図る。

(2) 調査実施期日

令和４年６月２０日（月）から令和４年６月２４日（金）までの期間で学校事情に合わせた任意の日

(3) 調査対象者（仙台市を除く）

対象（*）	調査事項	実施校	参加児童生徒数
小学校第５学年の全児童	生活習慣	241校	9,447人
中学校第１学年の全生徒	学習習慣	132校	9,608人
学校	児童生徒への関わり方 指導方法	上記の全小・中学校	

* 義務教育学校，特別支援学校を含む。

2 調査結果の概況

(1) 「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項

<参考>学力向上に向けた5つの提言

- ① どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けること。
- ② 子供をほめること、認めること。
- ③ 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授業感想を書く時間を位置付けること。
- ④ 自分の考えをノートにしっかり書かせること。
- ⑤ 家庭学習の時間を確保すること。

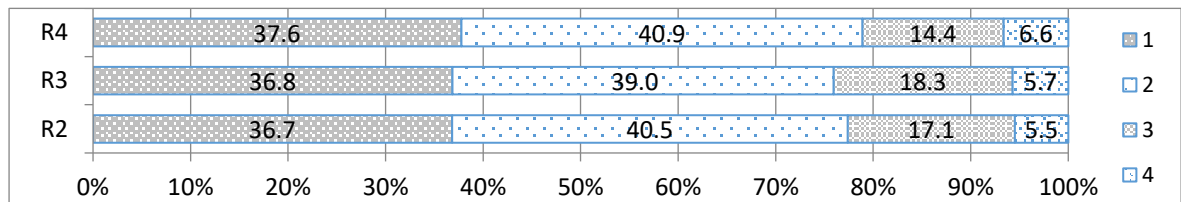
① 改善傾向が見られるもの

- 「先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか」という質問に、肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）をしている児童生徒の割合は昨年度よりも増加した。
- 「授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか」という質問に、肯定的な回答をしている児童生徒は、年々緩やかに上昇している。

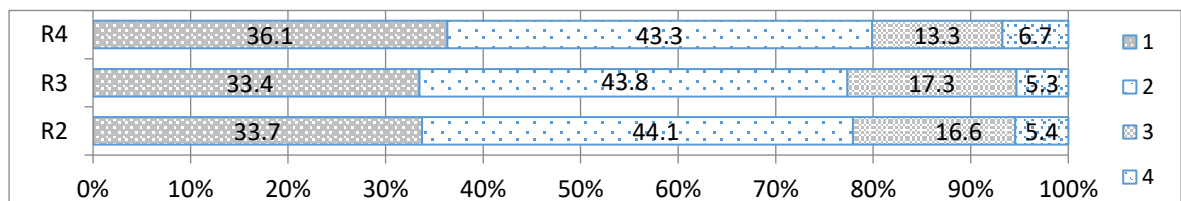
質問事項1「先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか」

《選択肢》 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

【小学校第5学年】



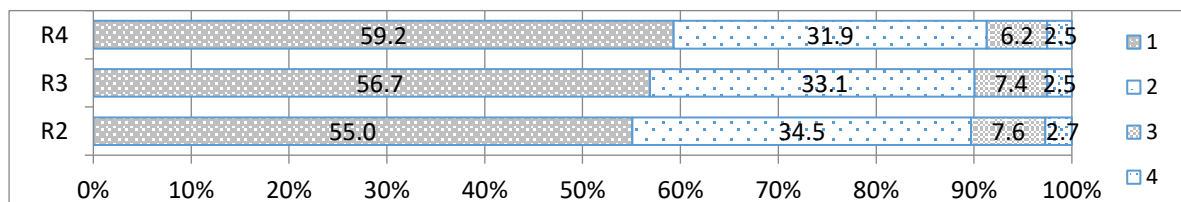
【中学校第1学年】



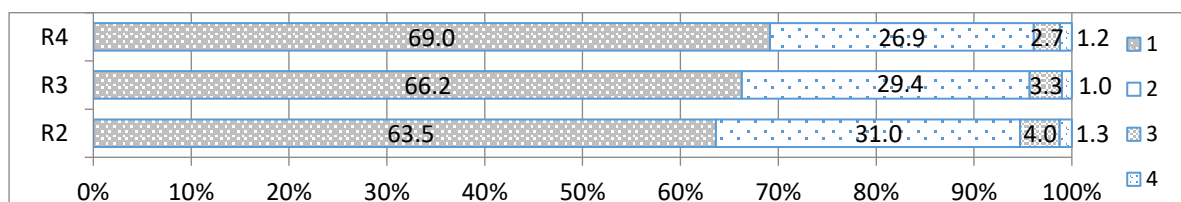
質問事項4「授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか」

《選択肢》 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



② 課題が見られるもの

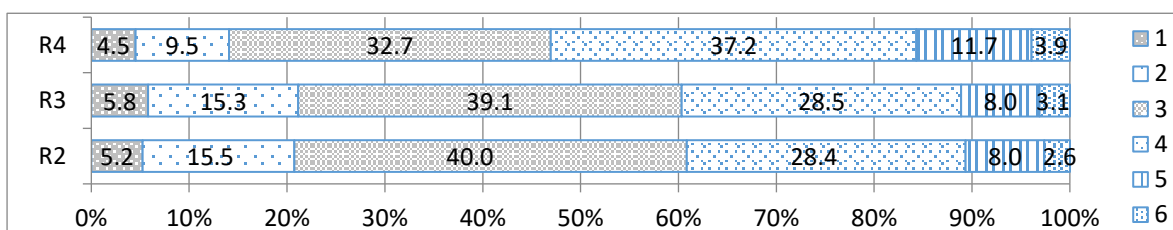
△ 「学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という質問に対して、小学校では1時間以上学習している児童は5割を切っており、中学校では2時間以上学習している生徒は3割を切っているなど、昨年度に比べて大きく減少した。

△ 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」という質問に対して、小学校では2時間以上学習している児童は2割程度、中学校では3時間以上学習している生徒は2割に満たない。

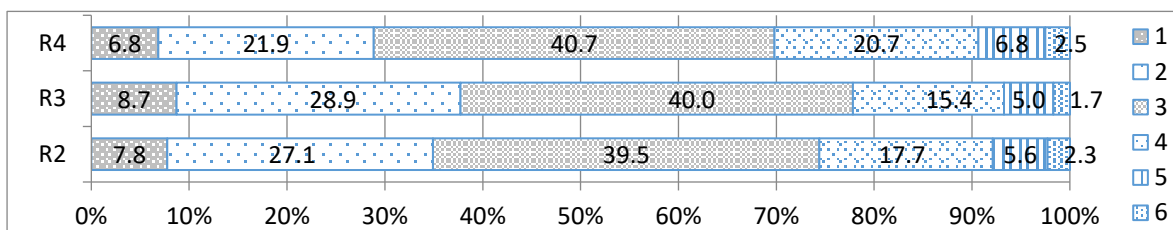
質問事項9「学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師を含む）」

《選択肢》 1 3時間以上 2 2時間以上3時間未満 3 1時間以上2時間未満
4 30分以上1時間未満 5 30分未満 6 全くしない

【小学校第5学年】



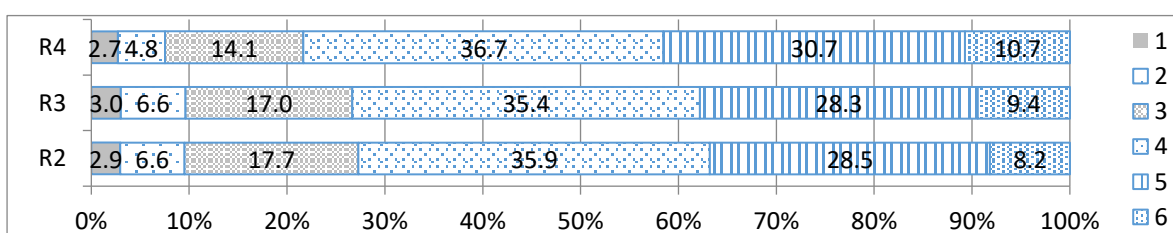
【中学校第1学年】



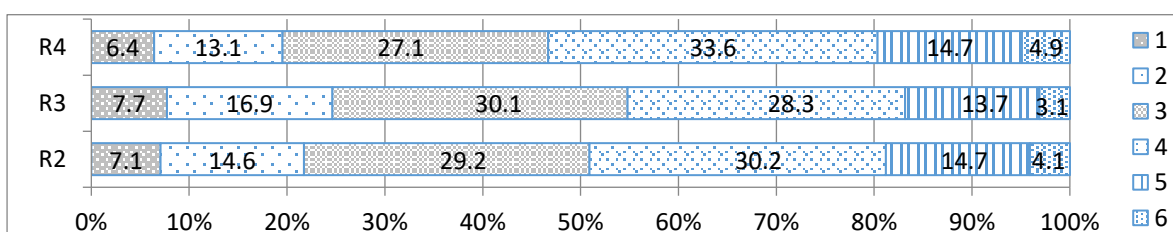
質問事項10「休日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師を含む）」

《選択肢》 1 4時間以上 2 3時間以上4時間未満 3 2時間以上3時間未満
4 1時間以上2時間未満 5 1時間未満 6 全くしない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



③ 児童生徒と学校の認識にかい離が見られるもの

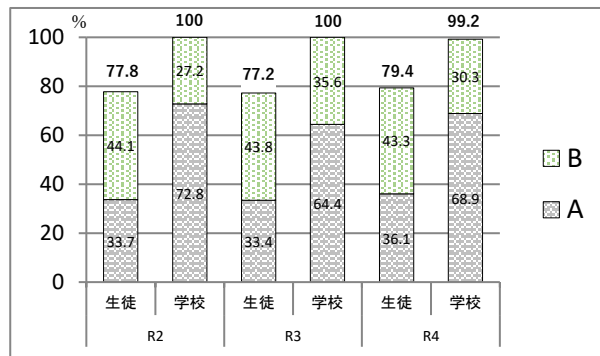
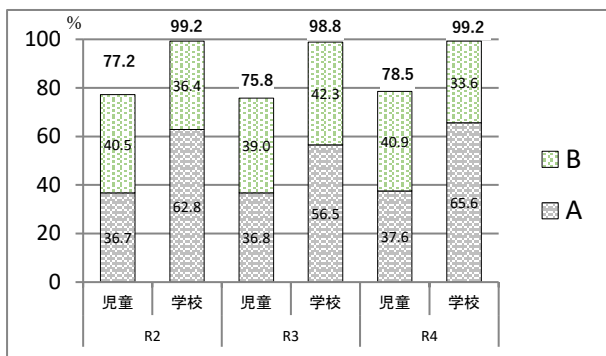
△ 質問事項1における「励まし」、質問事項5における「振り返り」など、依然として学校回答と児童生徒の回答にはかい離が見られる。

質問事項1（児童生徒）「先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか」

（学 校）「児童生徒一人一人に積極的に声を掛け、励ましていますか」

【小学校第5学年】

【中学校第1学年】



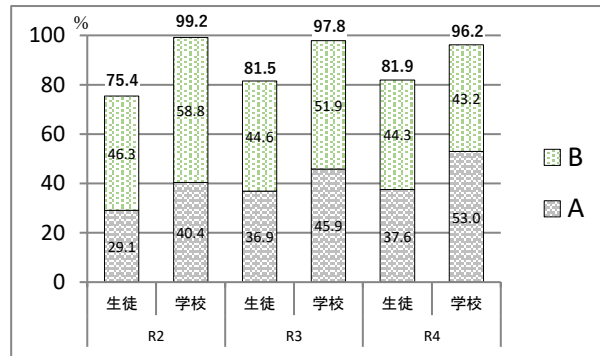
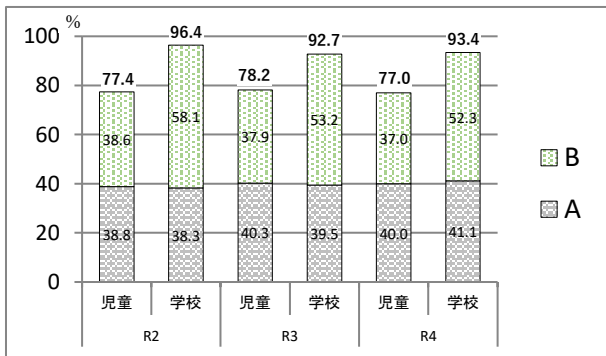
※A：当てはまる B：どちらかといえば当てはまる

質問事項5（児童生徒）「授業の終わりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか」

（学 校）「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか」

【小学校第5学年】

【中学校第1学年】



※A：当てはまる B：どちらかといえば当てはまる

(2) 災害（地震・津波）の影響に関連する事項

△ 「災害（地震・津波）のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがある」と回答している割合は、小学校で約25%、中学校で約9%となっており、小学校でより高い傾向が見られる。

※ 災害（地震・津波）の影響に関連する事項は、今年度、文言の一部を修正していることもあり、昨年度よりも肯定的な回答が増加している。災害（地震・津波）が児童生徒の学習や生活に影響を与えていることが伺える。

(昨年度)

「突然震災を思い出し、気持ちが落ち着かなくなることがありますか」

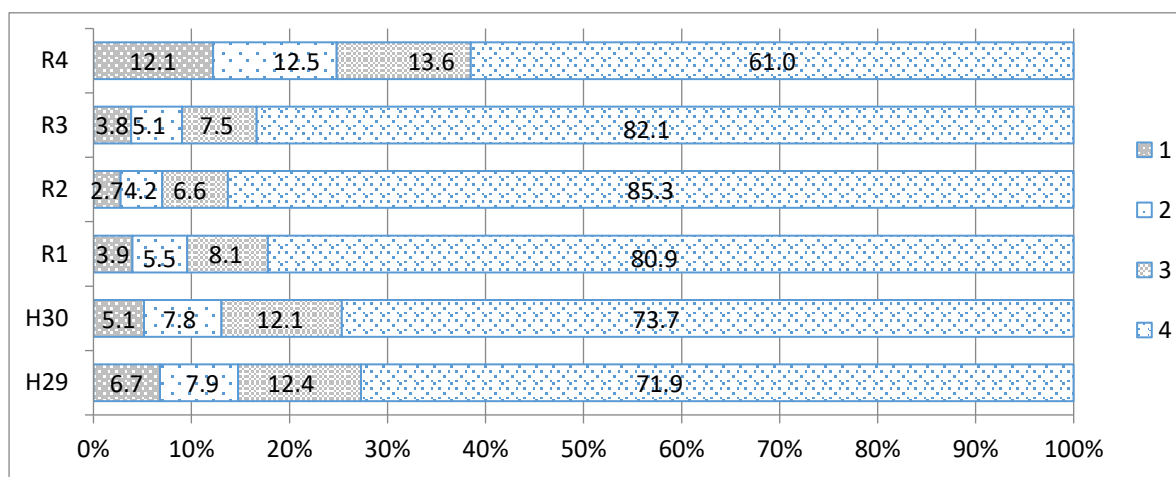
(今年度)

「災害（地震・津波）のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがありますか」

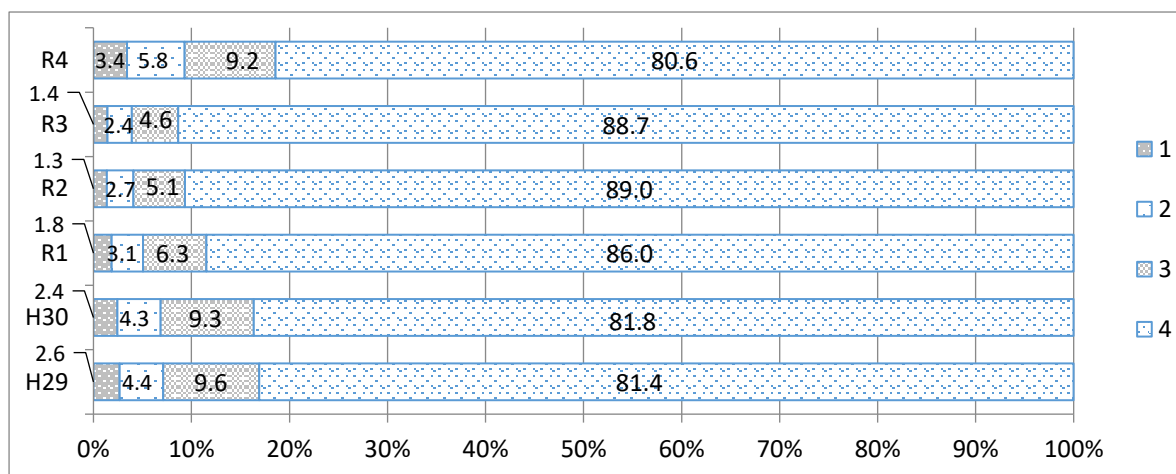
質問事項13「災害（地震・津波）のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがありますか」

《選択肢》 1 ある 2 どちらかといえばある 3 どちらかといえばない 4 ない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



(3) 基本的な生活習慣に関連する事項

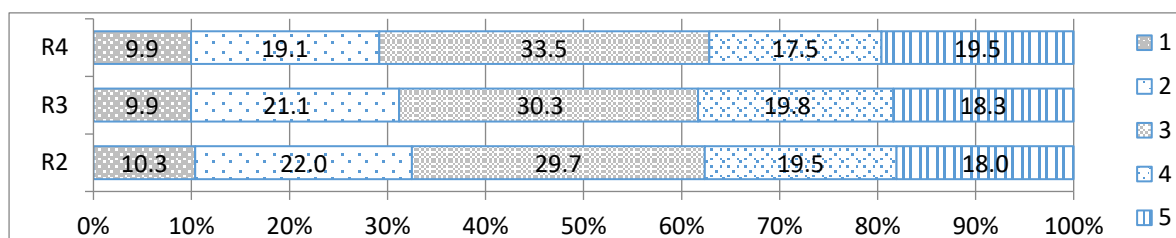
△ 「平日に1時間以上テレビゲームをしている」と回答している児童生徒の割合は、小・中学校ともに7割を超え、依然として増加傾向にある。中学校では2割以上の生徒が3時間以上と回答している。

△ 「平日に携帯電話やスマートフォンを勉強以外で2時間以上使っている」と回答している児童生徒の割合が昨年度より大幅に増加し、小学校では2割以上、中学校では3割以上となっている。

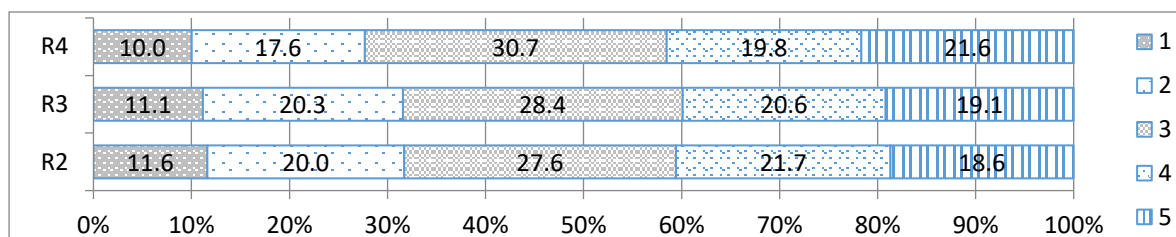
質問事項22 「平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォン等を使ったゲームを含む）をしますか」

《選択肢》 1 全くしない 2 1時間未満 3 1時間以上2時間未満
4 2時間以上3時間未満 5 3時間以上

【小学校第5学年】



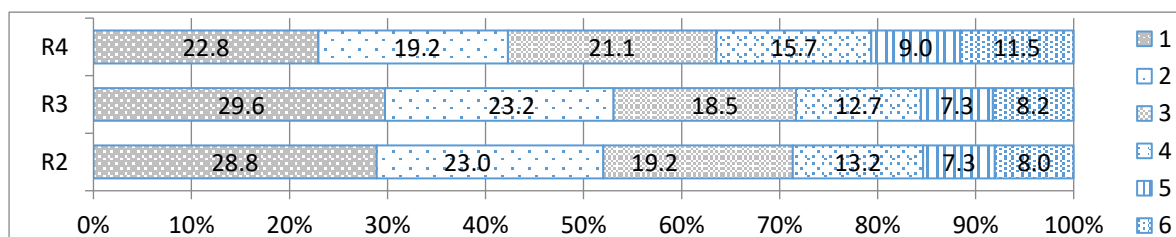
【中学校第1学年】



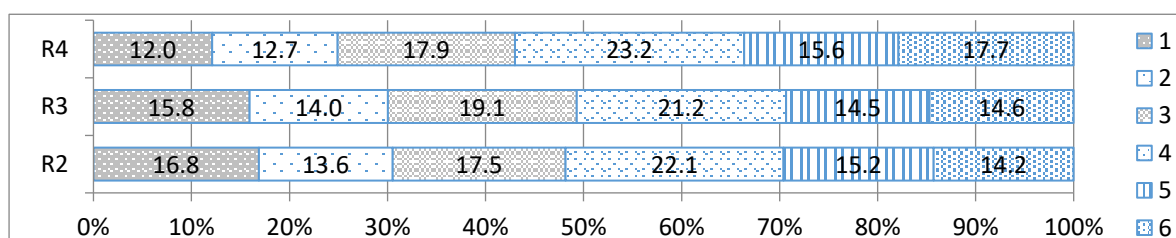
質問事項23 「平日に、スマートフォン等を勉強以外で使う時間はどのくらいですか」

《選択肢》 1 全く使わない 2 30分未満 3 30分以上1時間未満
4 1時間以上2時間未満 5 2時間以上3時間未満 6 3時間以上

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



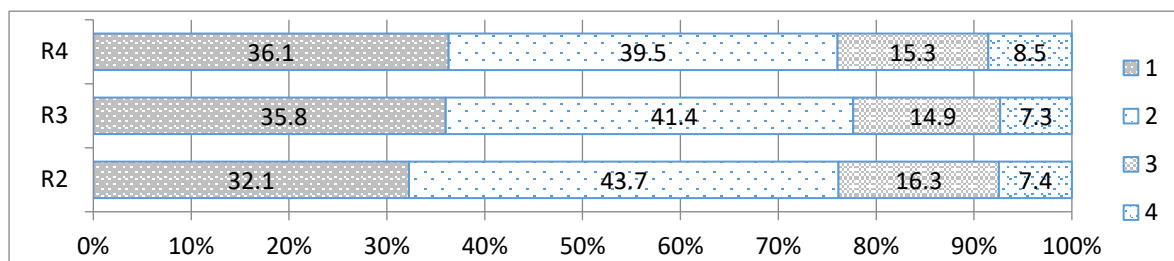
(4) 自尊意識・規範意識に関連する事項

- △ 「自分には、良いところがあると思いますか」という質問に対して、そう思うと答えている割合はやや増加したものの、肯定的な回答をしている児童生徒は昨年度よりやや減少した。
- △ 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」という質問に肯定的な回答をしている児童生徒は昨年度よりやや減少した。
- △ 「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、肯定的な回答をしている児童生徒の割合は、昨年度よりやや減少している。中学校では8割を下回っている。

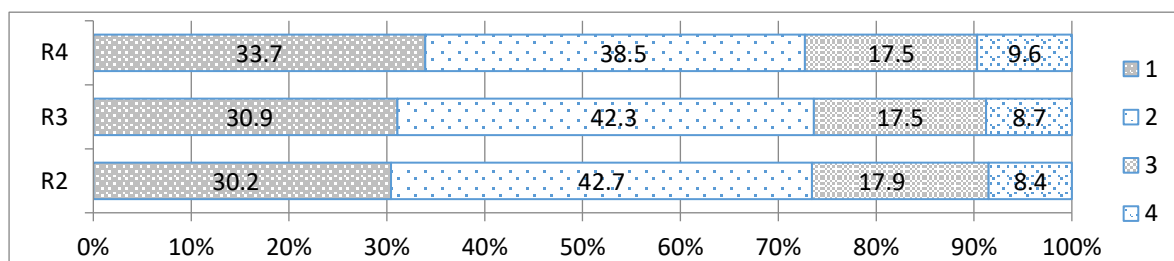
質問事項26「自分には、良いところがあると思いますか」

《選択肢》 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

【小学校第5学年】



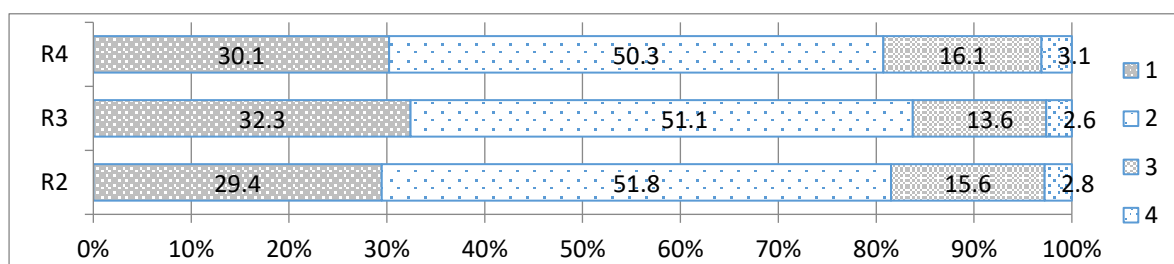
【中学校第1学年】



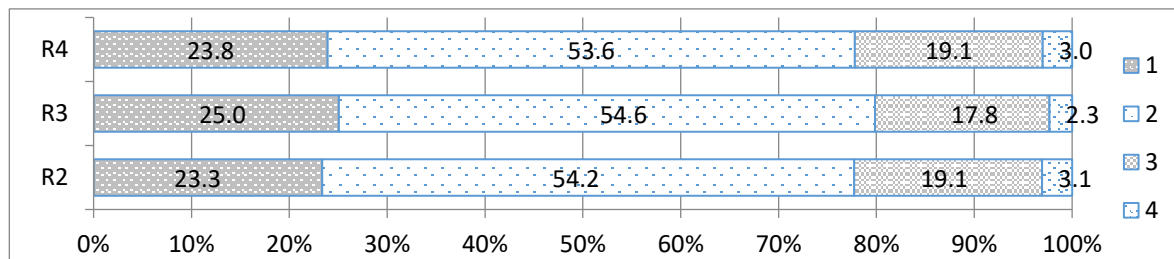
質問事項28「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」

《選択肢》 1 している 2 どちらかといえばしている 3 どちらかといえばしていない 4 していない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】

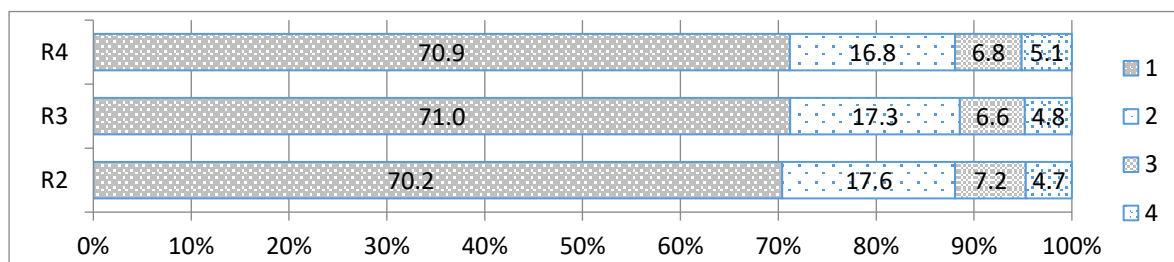


質問事項30「将来の夢や目標を持っていますか」

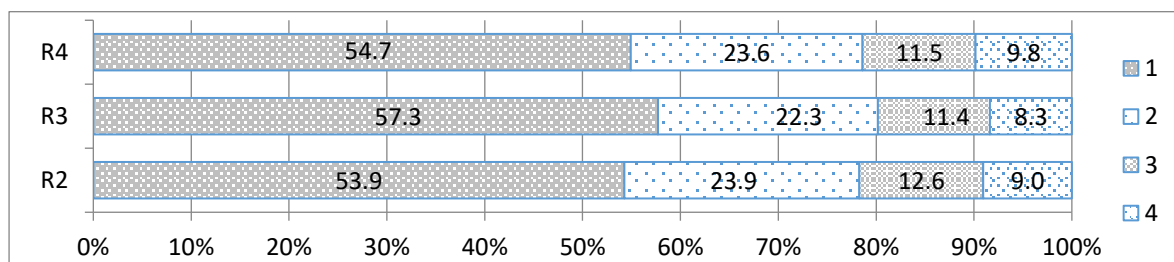
《選択肢》 1 持っている 2 どちらかといえば持っている

3 どちらかといえば持っていない 4 持っていない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



(5) ボランティア活動等に関する事項

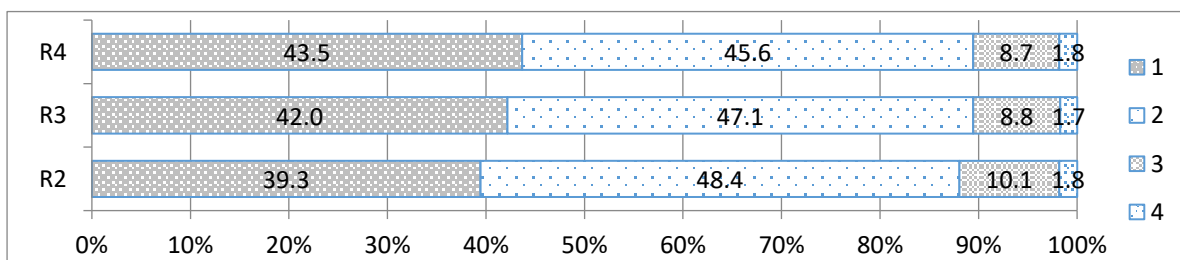
○ 「人が困っているときは進んで助けていますか」という質問に肯定的な回答をしている児童生徒の割合は約9割となっている。

△ 「ボランティア活動（校内での活動を含む）に参加していますか」という質問に対して、肯定的な回答は昨年度よりもやや減少している。

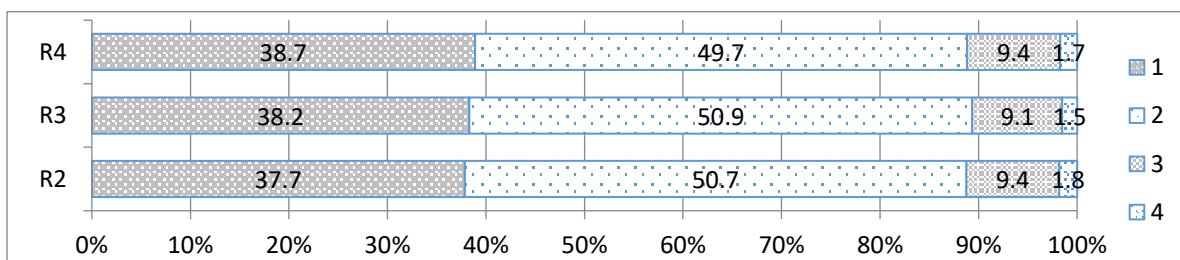
質問事項35「人が困っているときは進んで助けていますか」

《選択肢》 1 している 2 どちらかといえばしている 3 どちらかといえばしていない 4 していない

【小学校第5学年】



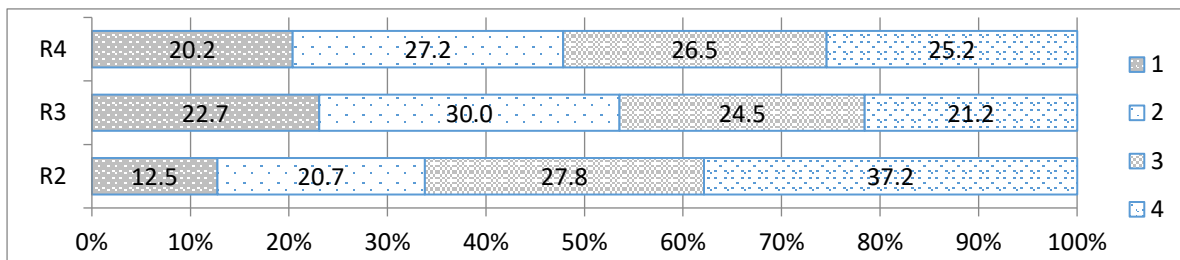
【中学校第1学年】



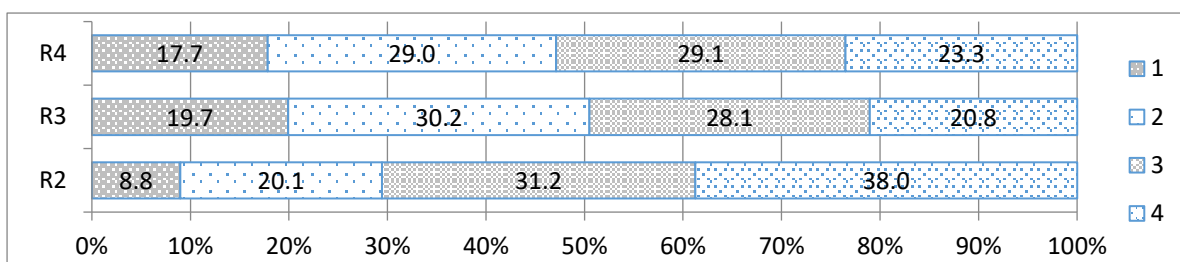
質問事項 37 「ボランティア活動（校内での活動も含む）に参加していますか」

《選択肢》 1 している 2 どちらかといえばしている 3 どちらかといえばしていない 4 していない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



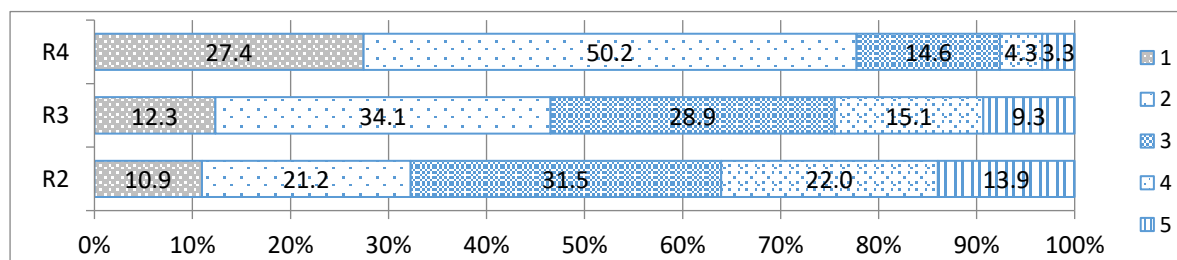
(6) タブレット端末やパソコン等の活用に関連する事項

- 「これまで受けた授業では、タブレット端末やパソコン等をどの程度使っていましたか」という質問に対して、ほぼ毎日、週1回以上使用していると回答した割合は、小・中学校ともに増加している。
- △ 「授業でタブレット端末やパソコン等をもっと活用したいと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をしている児童生徒の割合は昨年度よりやや減少している。

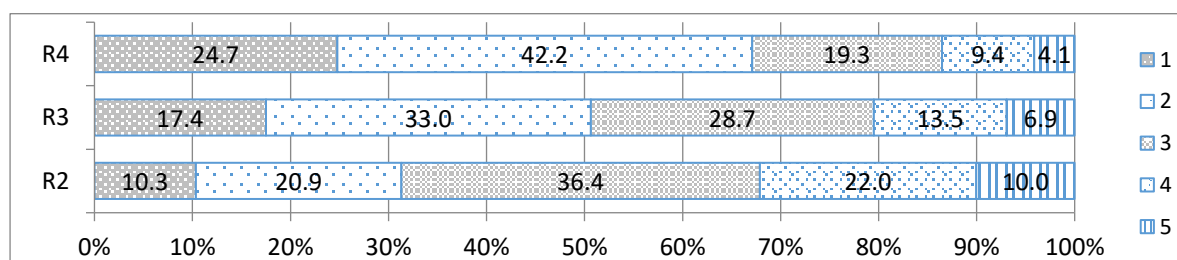
質問事項 38 「これまで受けた授業では、タブレット端末やパソコン等をどの程度使っていましたか」

《選択肢》 1 ほぼ毎日 2 週1回以上 3 月1回以上 4 月1回未満 5 その他

【小学校第5学年】



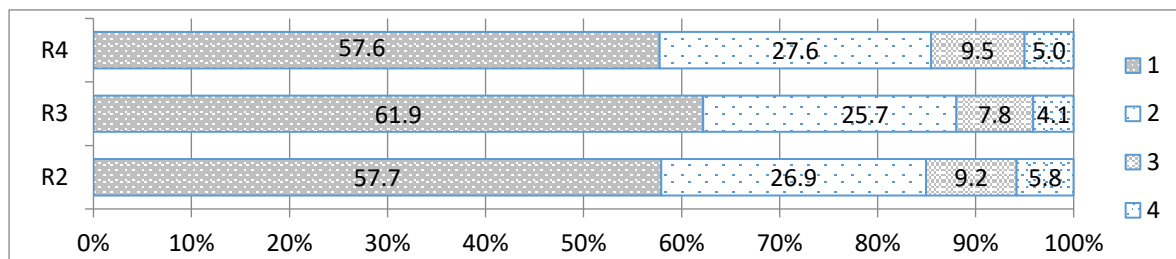
【中学校第1学年】



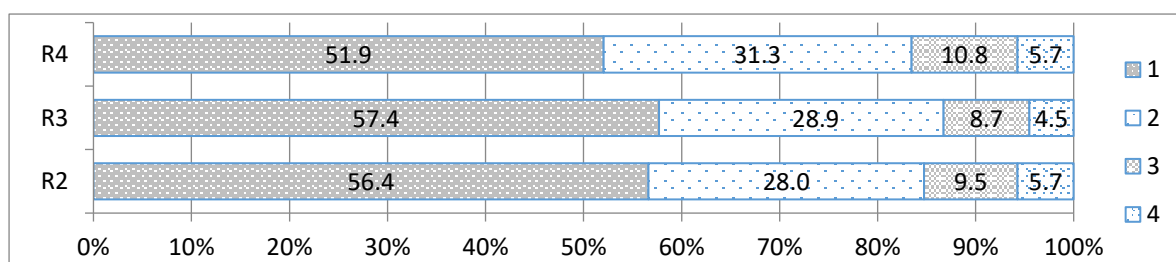
質問事項 39 「授業でタブレット端末やパソコン等をもっと活用したいと思いますか」

《選択肢》 1 そう思う 2 どちらかといえばそう思う 3 どちらかといえばそう思わない 4 そう思わない

【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



3 今後の対応

調査結果の概況から、以下のような傾向が見られた。

- ・ 児童生徒への声掛けや、授業の目標を明確にすることについて、肯定的な回答が増加している。
- ・ 人が困っているときは進んで助けているという質問に対して、肯定的な回答をしている児童生徒の割合が高くなっている。
- ・ 1人1台端末を授業でもっと活用したいと答えている児童生徒の割合は8割を超えている。
- ・ 平日、休日ともに家庭での学習時間が大きく減少している。
- ・ テレビゲームやスマートフォン等を使う時間が増加している。
- ・ 自尊意識がやや低い傾向にある。

これらの傾向を踏まえ、以下の点について取り組んでいく。

- みやぎ「行きたくなる学校づくり」の知見を活かし、児童生徒が安心して学ぶための「居場所づくり」と「絆づくり」を推進する。
- 1人1台端末の積極的な活用を促すとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた取組を支援し、その成果の普及・啓発を図る。
- 各学校や地域の実情に応じた「みやぎの志教育」の一層の充実を図る。
- 家庭における学習習慣の形成やメディアの適切な使い方について、各市町村教育委員会と課題を共有するとともに、家庭・学校・地域が連携・協働した取組の推進を図る。
- みやぎの志教育につながる「みやぎの学ぶ土台づくり」の普及・啓発を進め、非認知能力を高める幼児教育の推進と、保幼小の連携・接続のための取組の充実を図る。

令和4年度宮城県児童生徒学習意識等調査結果

1	児童生徒質問紙調査結果の概況	1
	（1）「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項	1
	（2）災害（地震・津波）の影響に関連する事項	6
	（3）学習の理解度に関連する事項	8
	（4）基本的な生活習慣に関連する事項	10
	（5）自尊意識・規範意識に関連する事項	13
	（6）ボランティア活動等に関連する事項	17
	（7）タブレット端末やパソコン等の活用に関連する事項	18
2	学校質問紙調査結果の概況	19
	（1）「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項	19
	（2）震災の影響に関連する事項	19
	（3）指導方法等に関連する事項	20
3	児童生徒質問紙調査結果と学校質問紙調査結果のかい離	21
4	現中学校第1学年の経年比較	22
	（1）「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項	22
	（2）災害（地震・津波）の影響に関連する事項	24
	（3）学習の理解度に関連する事項	25
	（4）基本的な生活習慣に関連する事項	26
	（5）自尊意識・規範意識に関連する事項	27

1 児童生徒質問紙調査結果の概況

※「回答」欄の数値は、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」の割合を合計した値（％）である。

※「経年比較」欄の数値は、前年度の回答の割合との差である。

※無効となった回答や小数点以下の処理により、合計しても必ずしも100％とならない項目がある。

(1) 「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項

- 先生から声を掛けられたり、励まされたりすると回答した割合は、小5、中1ともに前年度を上回り、改善傾向が見られる。
- 授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていると回答した割合は、小5、中1ともに9割を超えている。
- 学校の授業の予習をしている割合は、小5では5割程度、中では6割未満となっており、昨年度を下回っている。
- 平日の学校の授業時間以外の勉強時間（塾や家庭教師を含む）について、小5で1時間以上勉強している割合は5割を下回り、昨年度に比べて大きく減少した。
- 平日の学校の授業時間以外の勉強時間（塾や家庭教師を含む）について、中1で2時間以上勉強している割合は3割を下回り、小5と同じく、昨年度に比べて大きく減少した。
- 学校が休みの日の勉強時間（塾や家庭教師を含む）について、小5で2時間以上、中1で3時間以上勉強している割合は、前年度よりも減少し、2割程度となっている。

質問事項	年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
		回答	経年比較	回答	経年比較
1 [提言1] 先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか	R4	78.5	2.7	79.4	2.2
	R3	75.8	-1.4	77.2	-0.6
	R2	77.2	1.4	77.8	4.0
2 [提言1] 先生はあなたの話を聞いてくれますか	R4	92.0	-0.3	93.1	0.7
	R3	92.3	-0.3	92.4	-0.4
	R2	92.6	1.4	92.8	2.2
3 [提言2] 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか	R4	86.7	-0.6	88.1	0.2
	R3	87.3	-0.9	87.9	-0.4
	R2	88.2	2.8	88.3	4.3
4 [提言3] 授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか	R4	91.1	1.3	95.9	0.3
	R3	89.8	0.3	95.6	1.1
	R2	89.5	0.0	94.5	0.1
5 [提言3] 授業の終わりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか	R4	77.0	-1.2	81.9	0.4
	R3	78.2	0.8	81.5	6.1
	R2	77.4	1.2	75.4	-0.6
6 [提言4] 授業で、自分の考えをノートに書くようにしていますか	R4	83.3	0.3	81.3	-0.8
	R3	83.0	1.9	82.1	5.4
	R2	81.1	-2.1	76.7	-5.1
7 [提言5] 学校の授業の予習をしていますか	R4	50.3	-2.2	58.2	-1.1
	R3	52.5	1.7	59.3	5.2
	R2	50.8	-1.3	54.1	-5.5
8 [提言5] 学校の授業の復習をしていますか	R4	67.0	-1.1	78.4	0.3
	R3	68.1	-0.6	78.1	2.1
	R2	68.7	-1.1	76.0	-3.9
9 [提言5] 学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾や家庭教師含む、小学校：1時間以上、中学校：2時間以上）	R4	46.7	-13.5	28.7	-8.9
	R3	60.2	-0.5	37.6	2.7
	R2	60.7	-2.8	34.9	-3.6
10 [提言5] 休日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾や家庭教師含む、小学校：2時間以上、中学校：3時間以上）	R4	21.6	-5.0	19.5	-5.1
	R3	26.6	-0.6	24.6	2.9
	R2	27.2	0.2	21.7	0.0

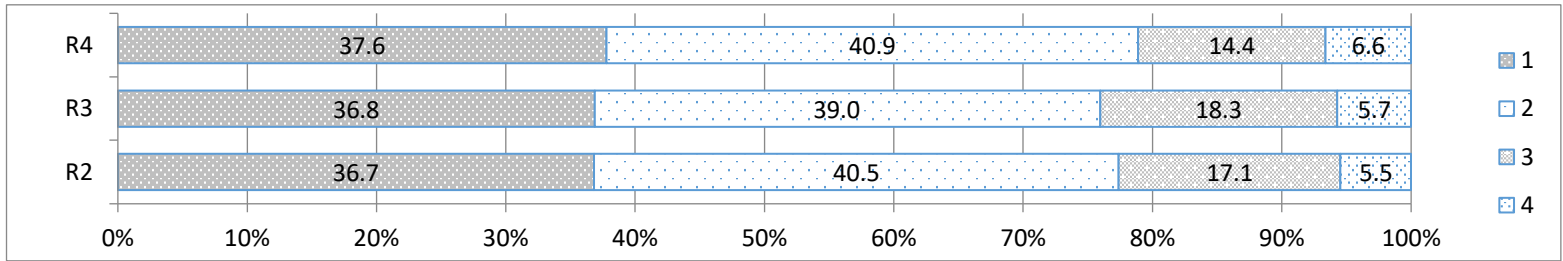
◇ 「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項のグラフ

《選択肢》 1:当てはまる 2:どちらかといえば当てはまる 3:どちらかといえば当てはまらない 4:当てはまらない

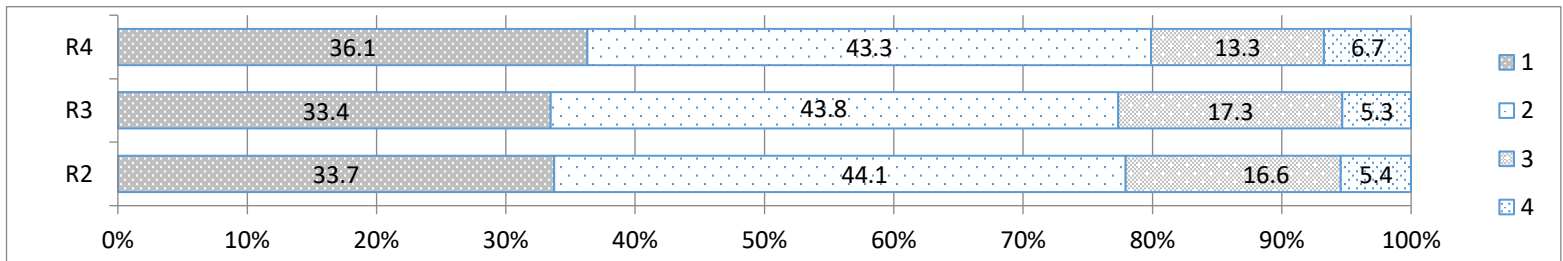
質問事項1 「先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか」

○ 小5, 中1ともに肯定的な回答の割合が, 2ポイント以上増加した。

《小学校第5学年》



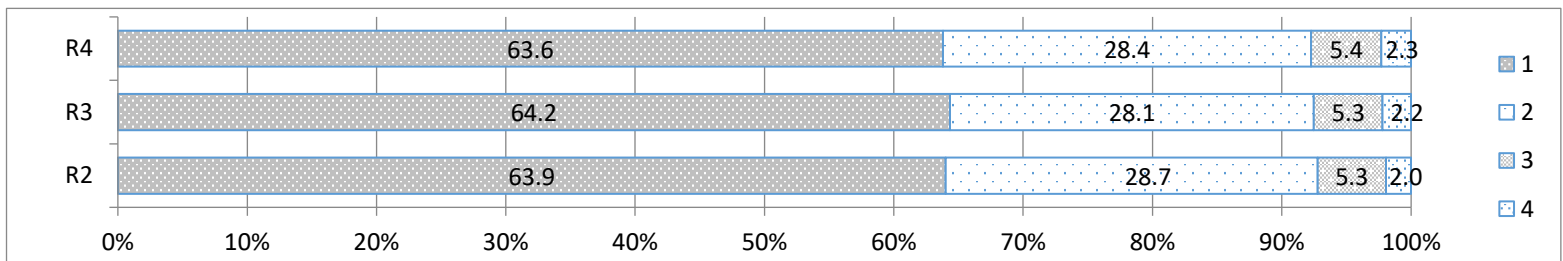
《中学校第1学年》



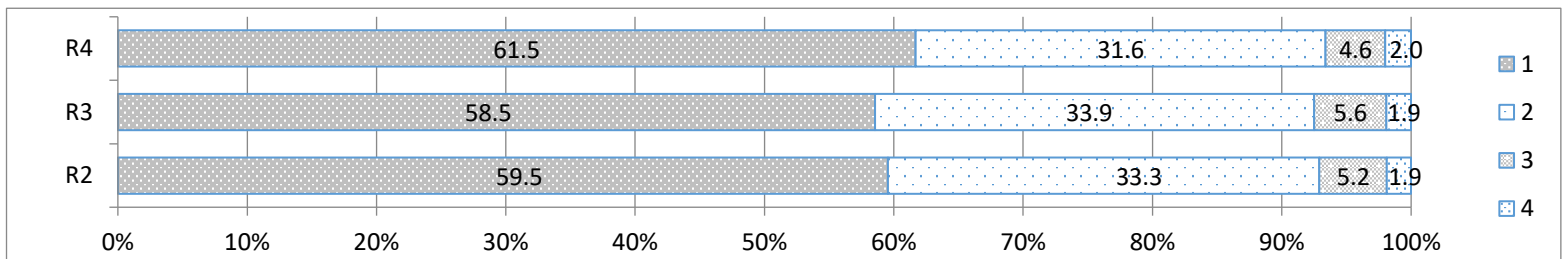
質問事項2 「先生はあなたの話を聞いてくれますか」

○ 小5, 中1ともに各選択肢の回答状況はほぼ昨年度同様であり, 9割を超えている。

《小学校第5学年》



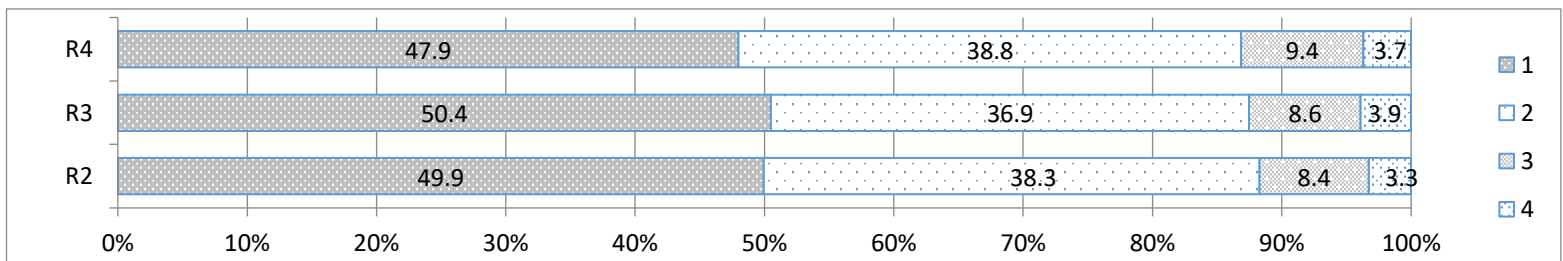
《中学校第1学年》



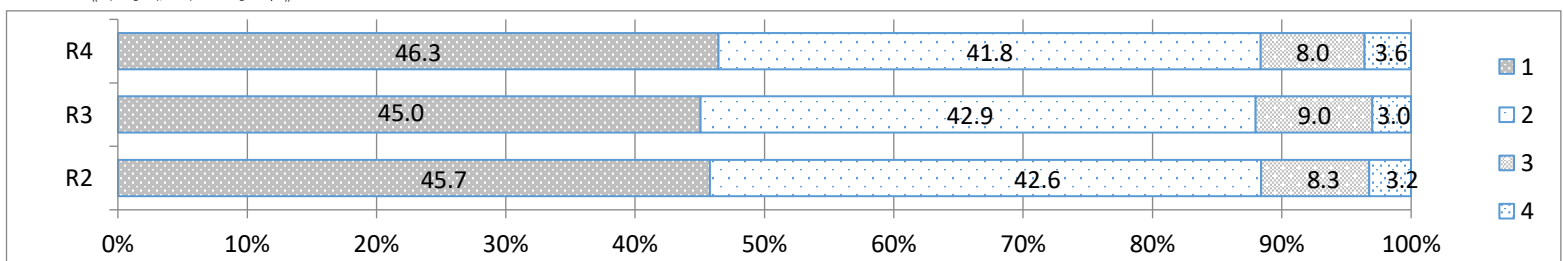
質問事項3 「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか」

○ 小5で肯定的な回答の割合がやや減少している。

《小学校第5学年》



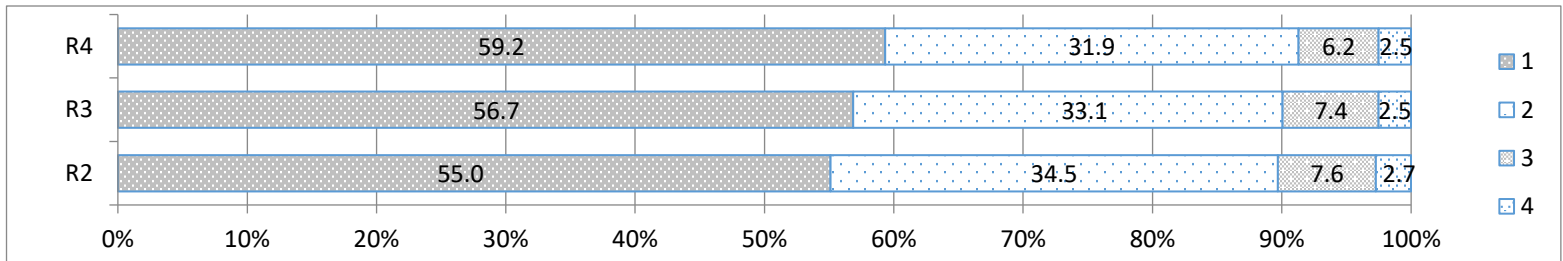
《中学校第1学年》



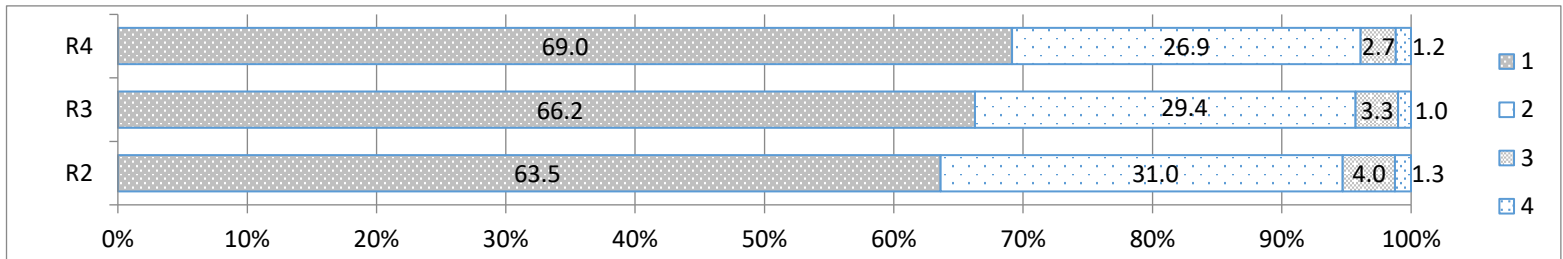
質問事項4 「授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか」

○ 小5, 中1ともに「そう思う」と回答している割合がゆるやかに上昇している。

《小学校第5学年》



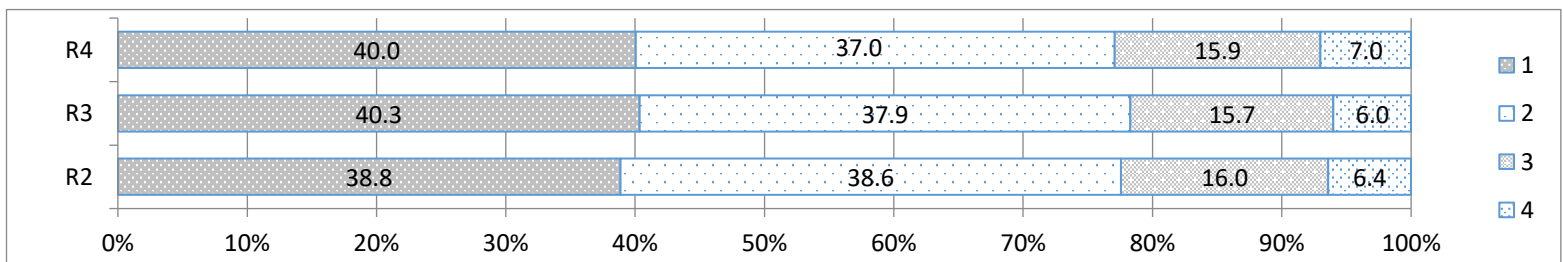
《中学校第1学年》



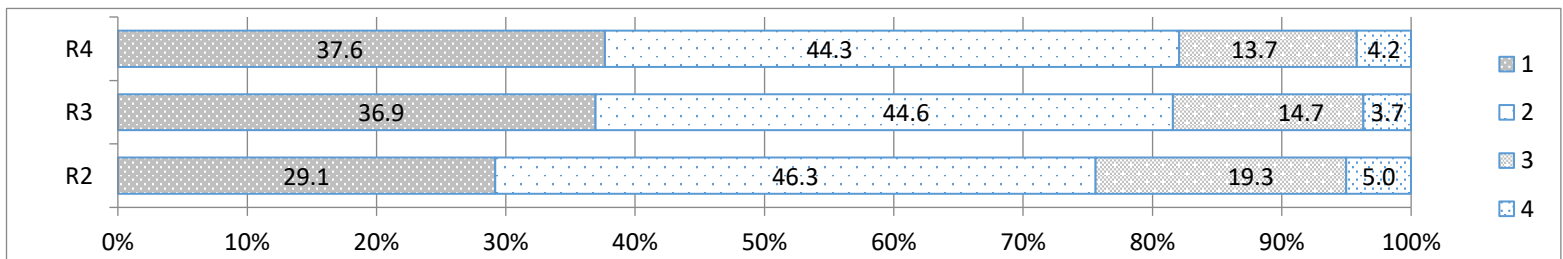
質問事項5 「授業の終わりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか」

○ 肯定的な回答をしている割合が中1では8割以上となっている。

《小学校第5学年》



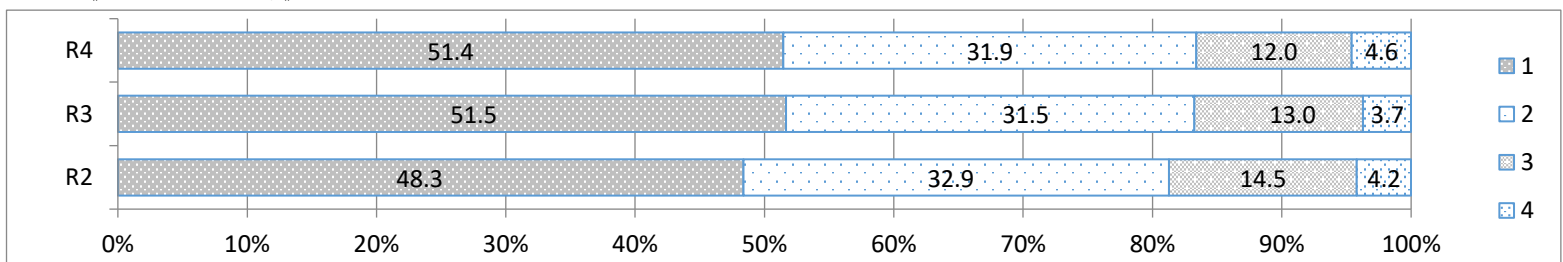
《中学校第1学年》



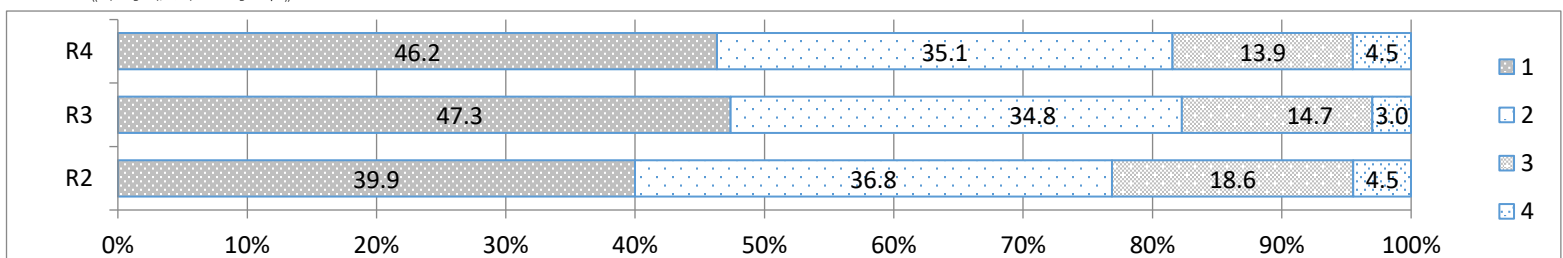
質問事項6 「授業で、自分の考えをノートに書くようにしていますか」

○ 小5, 中1ともに各選択肢の回答状況はほぼ昨年度同様である。

《小学校第5学年》



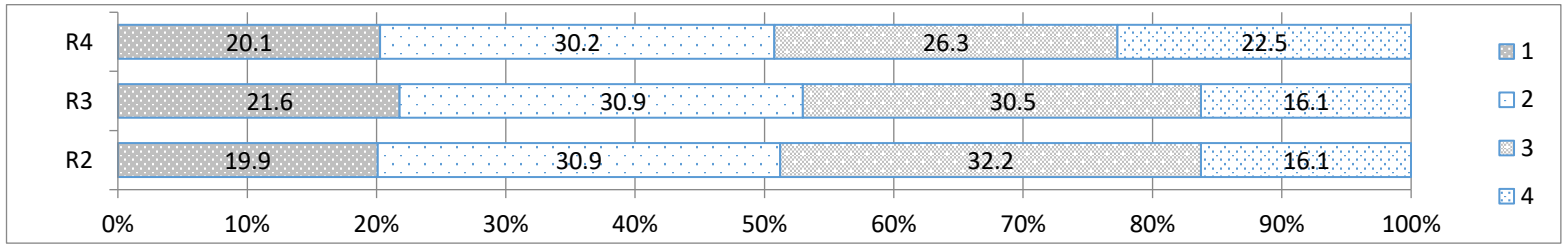
《中学校第1学年》



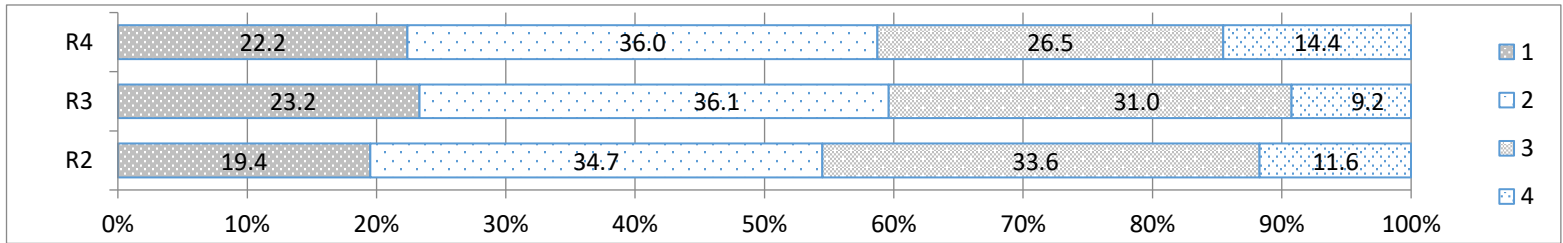
質問事項7 「学校の授業の予習をしていますか」

○ 「学校の授業の予習をしている」と回答した児童生徒の割合は、昨年度よりも低くなっている。

《小学校第5学年》



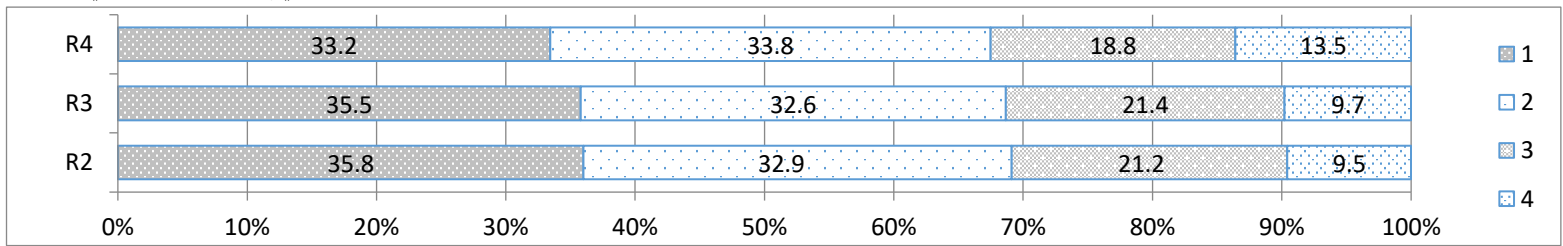
《中学校第1学年》



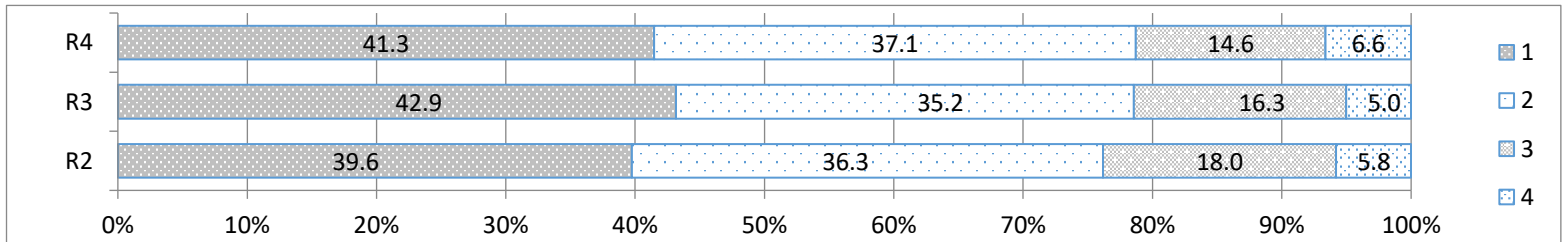
質問事項8 「学校の授業の復習をしていますか」

○ 「どちらかといえばしていない」「していない」と回答した割合は、小5で3割を超えている。

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

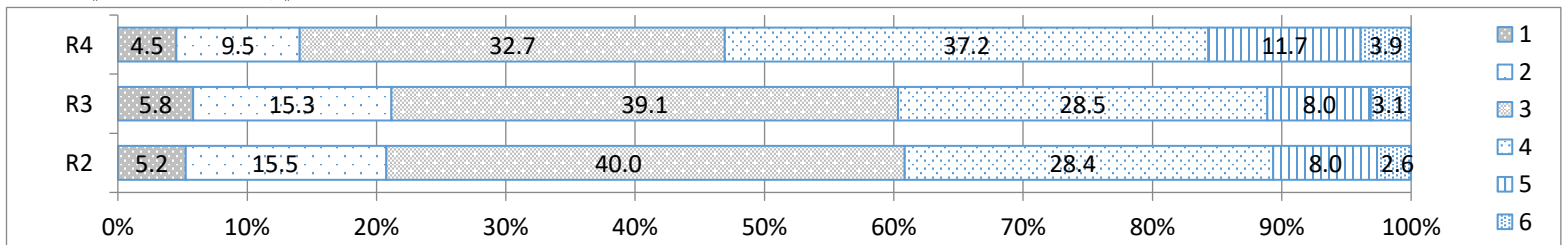


質問事項9 「学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師を含む)」

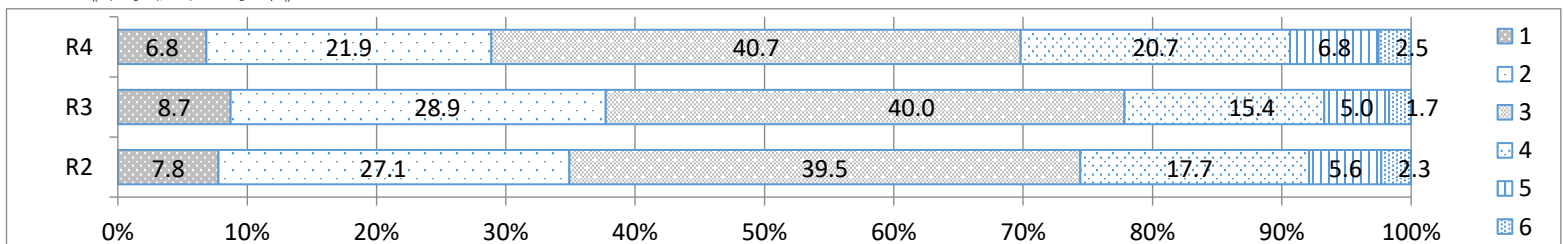
○ 小5で1時間に満たない割合は5割以上、中1で2時間に満たない割合は7割以上となっている。

《選択肢》 1: 3時間以上 2: 2時間～3時間 3: 1時間～2時間 4: 30分～1時間 5: 30分より少ない 6: 全くしない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

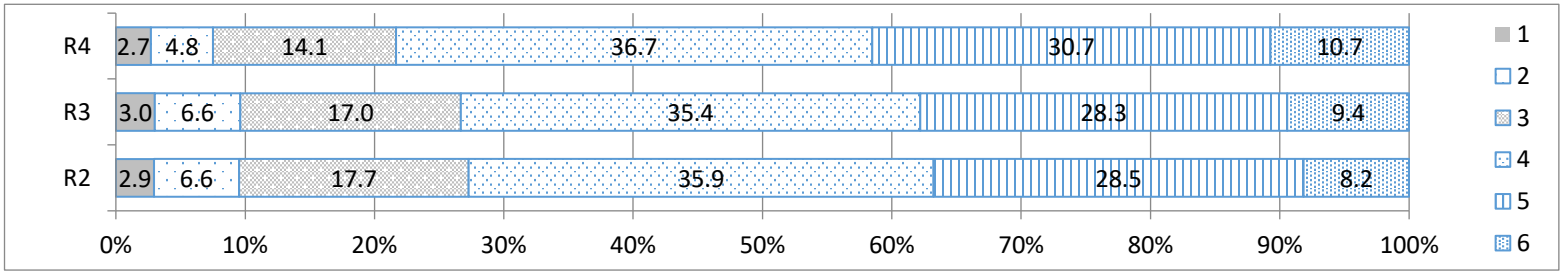


質問事項10 「休日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師を含む）」

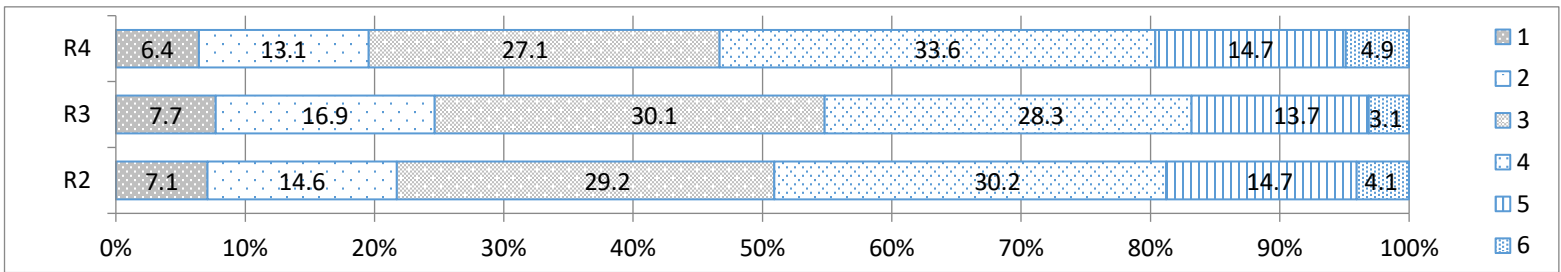
○ 小5では1時間に満たない児童が4割以上となっており、全く勉強をしない児童も1割以上いる。

《選択肢》 1：4時間以上 2：3時間～4時間 3：2時間～3時間 4：1時間～2時間 5：1時間より少ない 6：全くしない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》



(2) 災害（地震・津波）の影響に関連する事項（今年度から質問事項の文言を一部修正）

○ 質問事項の文言を一部修正した影響もあってか、小5、中1ともに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が昨年度より高い。災害（地震・津波）が学習や生活に影響している様子が見られる。

質問事項	年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
		回答	経年比較	回答	経年比較
11 災害(地震・津波)のことが思い浮かび、家庭学習がやりにくいことがありますか 震災があったために、家庭学習がやりにくいですか	R4	18.9	12.1	6.9	4.1
	R3	6.8	0.1	2.8	-0.8
	R2	6.7	-2.1	3.6	-1.0
	R1	8.8	-2.4	4.6	-1.9
	H30	11.2	-6.3	6.5	-0.3
	H29	17.5		6.8	
12 災害(地震・津波)のことが思い浮かび、授業に集中できないときがありますか 突然震災を思い出し、授業に集中できないときがありますか	R4	16.2	8.6	4.6	2.3
	R3	7.6	1.7	2.3	-0.3
	R2	5.9	-1.4	2.6	-0.7
	R1	7.3	-3.9	3.3	-1.7
	H30	11.2	-1.7	5.0	-0.5
	H29	12.9		5.5	
13 災害(地震・津波)のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがありますか 突然震災を思い出し、気持ちが落ち着かなくなることがありますか	R4	24.6	15.7	9.2	5.4
	R3	8.9	1.9	3.8	-0.2
	R2	7.0	-2.4	4.0	-0.9
	R1	9.4	-3.5	4.9	-1.8
	H30	12.9	-1.7	6.7	-0.3
	H29	14.6		7.0	

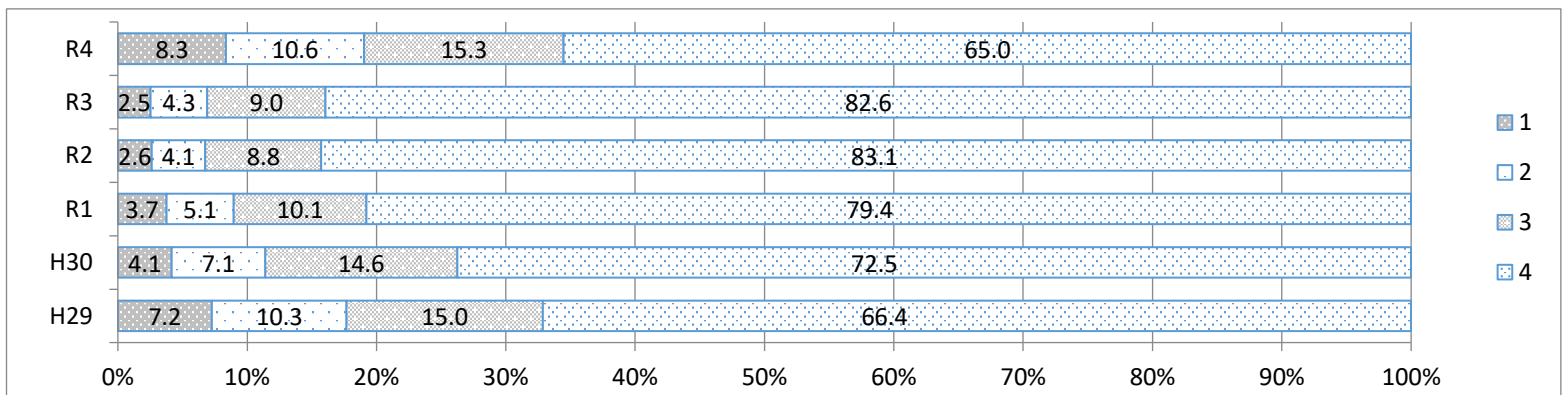
◇災害（地震・津波）の影響に関連する事項のグラフ

質問事項11 「災害(地震・津波)のことが思い浮かび、家庭学習がやりにくいことがありますか」

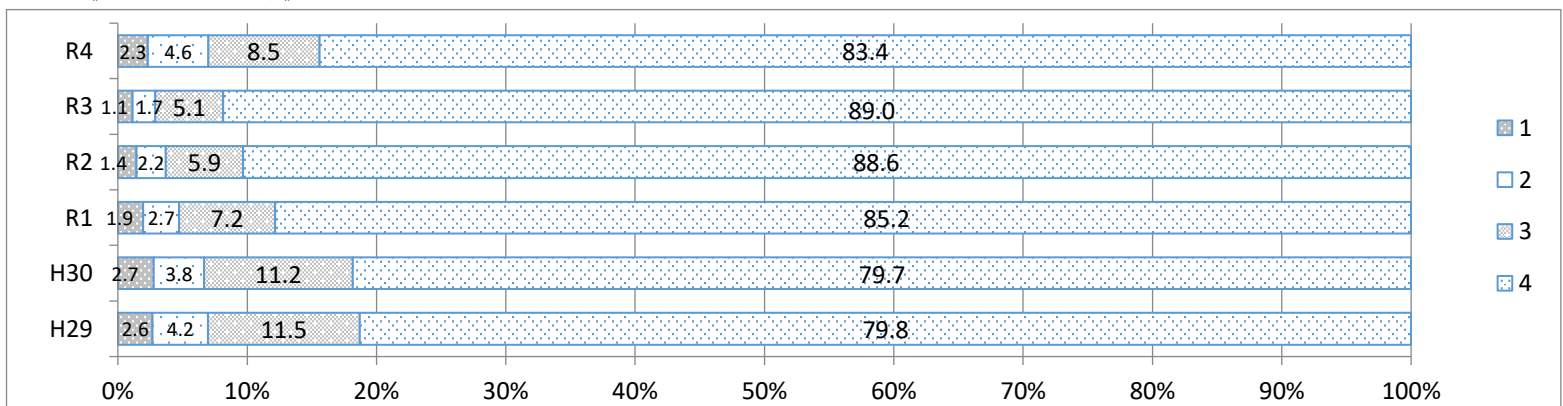
○ 「災害(地震・津波)のことが思い浮かび、家庭学習がやりにくいことがある」と回答している割合は、小5で約19%、中1で約7%となっており、小学校でより高い傾向が見られる。

《選択肢》 1: ある 2: どちらかといえばある 3: どちらかといえばない 4: ない

《小学校第5学年》



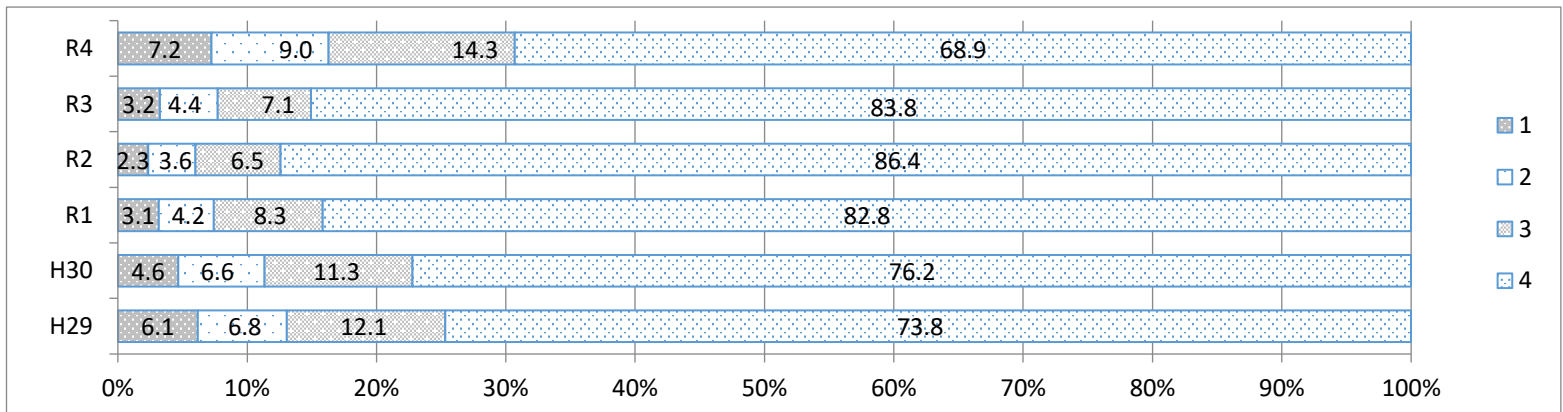
《中学校第1学年》



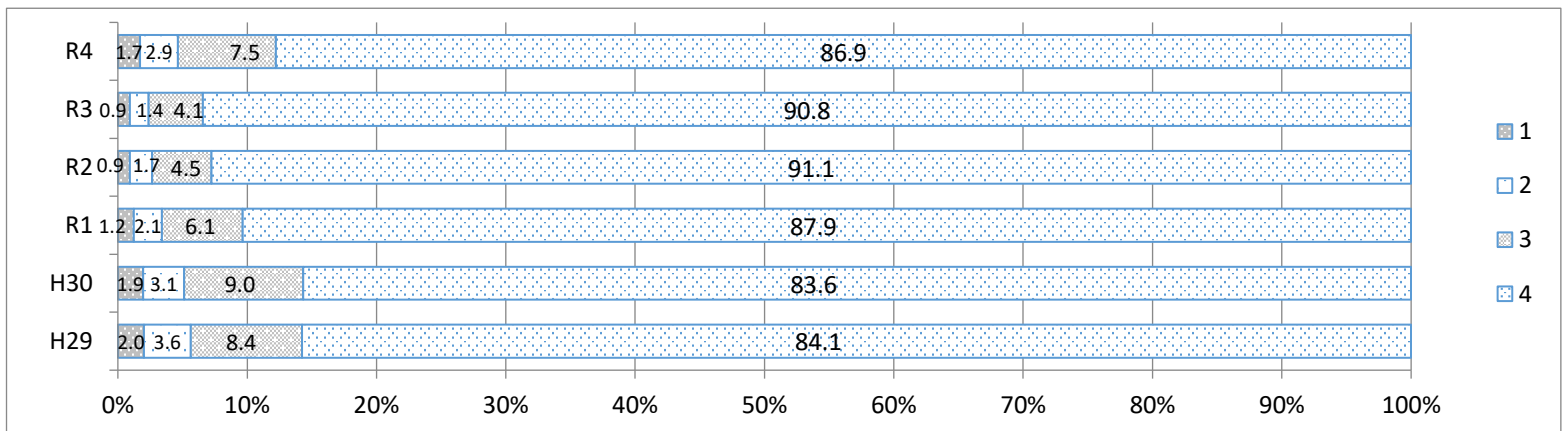
質問事項 1 2 「災害(地震・津波)のことが思い浮かび、授業に集中できないときがありますか」

○ 「災害(地震・津波)のことが思い浮かび、授業に集中できないときがある」と回答している割合は、小5で約16%、中1で約5%となっており、小学校でより高い傾向が見られる。

《小学校第5学年》



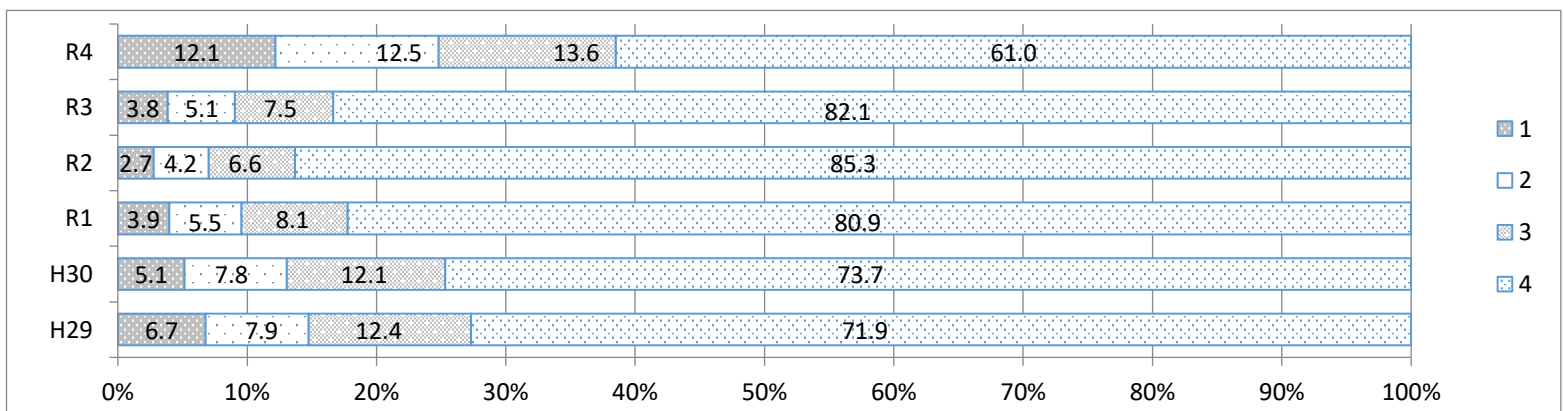
《中学校第1学年》



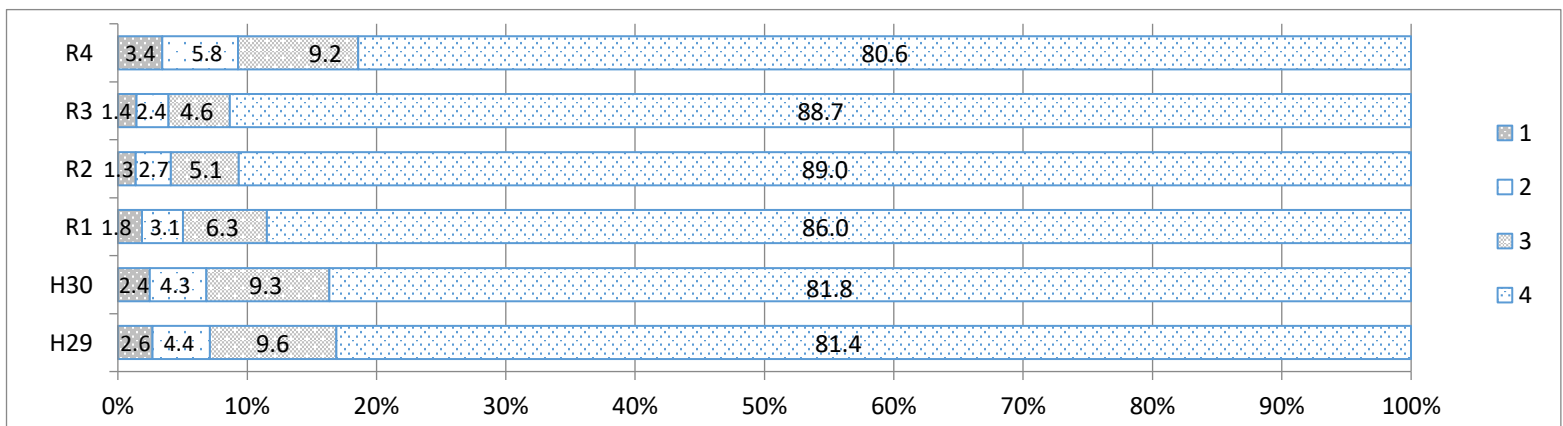
質問事項 1 3 「災害(地震・津波)のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがありますか」

○ 「災害(地震・津波)のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがある」と回答している割合は、小5で約25%、中1で約9%となっており、小学校でより高い傾向が見られる。

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》



(3) 学習の理解度に関する事項

○「授業の内容が分かる」と回答している児童生徒の割合は、それぞれ昨年度よりわずかに減少している。英語の授業の内容については、肯定的な回答が年々減少している。

質問事項	年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
		回答	経年比較	回答	経年比較
14 国語の授業の内容はよく分かりますか	R4	89.8	-0.3	89.9	-1.1
	R3	90.1	-0.7	91.0	0.7
	R2	90.8	1.1	90.3	0.0
15 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	R4	84.0	-2.3	87.0	-1.0
	R3	86.3	-0.2	88.0	4.4
	R2	86.5	-0.5	83.6	-3.8
16 英語の授業の内容はよく分かりますか	R4			77.5	-0.9
	R3			78.4	-5.4
	R2			83.8	-2.2
17 (小5) 英語を使ってやりとりができるようになりたいと思いますか (中1) 英語を使ってコミュニケーションがとれるようになりたいと思いますか	R4	81.4	-3.0	84.5	-0.3
	R3	84.4	1.8	84.8	-0.1
	R2	82.6	-1.2	84.9	-2.1

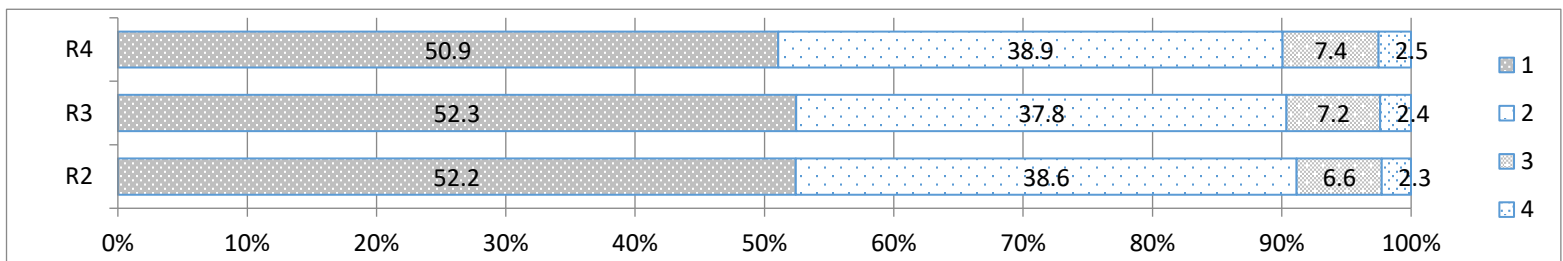
◇学習の理解度に関する事項のグラフ

《選択肢》 1: 分かる 2: どちらかといえば分かる 3: どちらかといえば分からない 4: 分からない

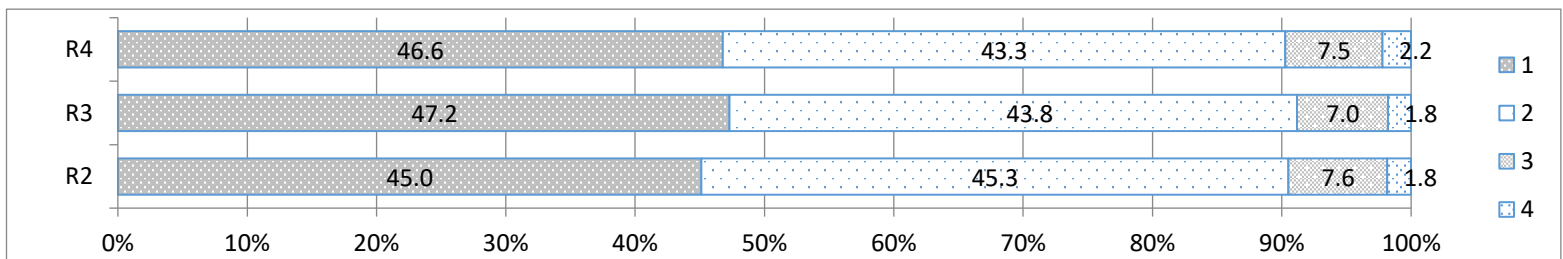
質問事項 14 「国語の授業の内容はよく分かりますか」

○ 肯定的な回答の割合は、小5、中1ともに昨年度に比べてやや減少している。

《小学校第5学年》



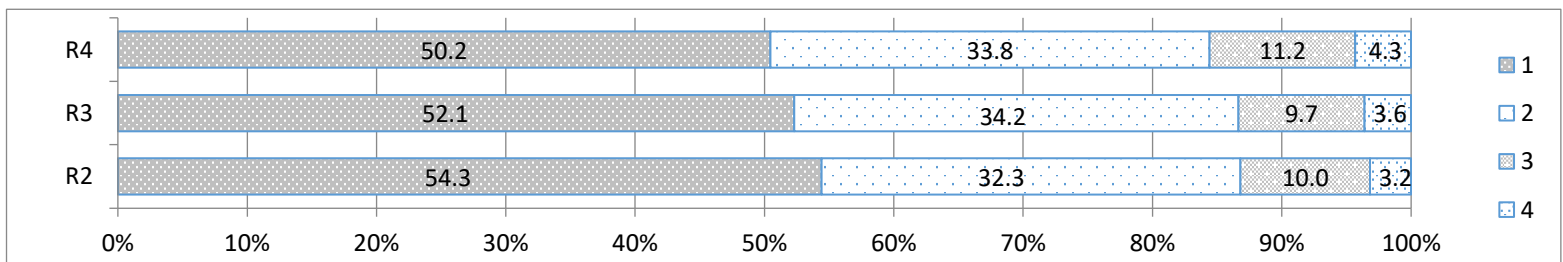
《中学校第1学年》



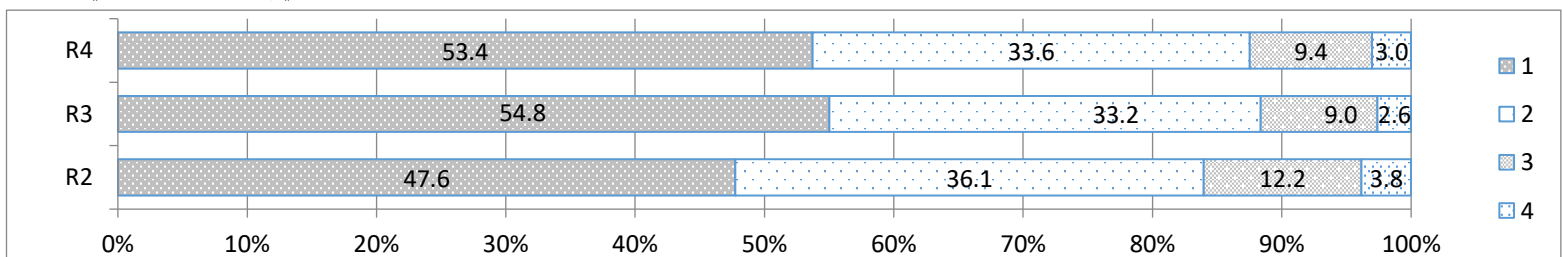
質問事項 15 「算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか」

○ 小5で「授業がよく分かる」と回答した割合は約5割であり、肯定的な回答は年々減少傾向にある。

《小学校第5学年》



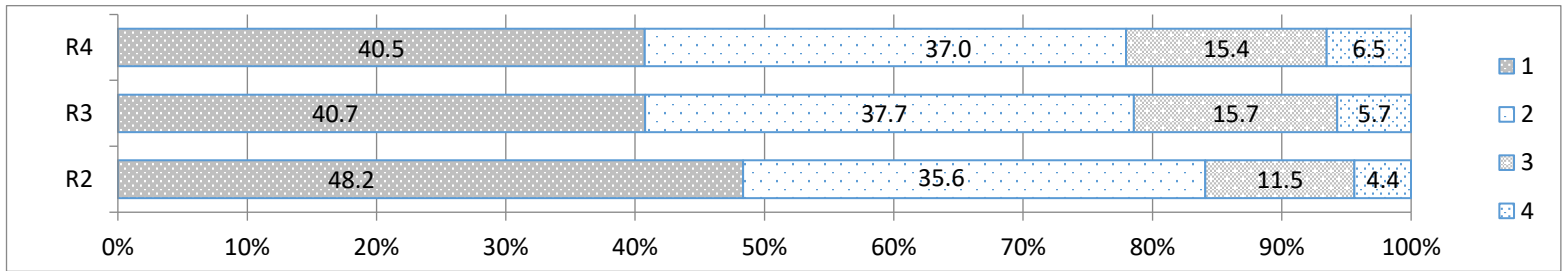
《中学校第1学年》



質問事項 1 6 「英語の授業の内容はよく分かりますか」

○ 「授業がよく分かる」と回答した割合は約4割となっており、肯定的な回答は年々減少傾向にある。

《中学校第1学年》



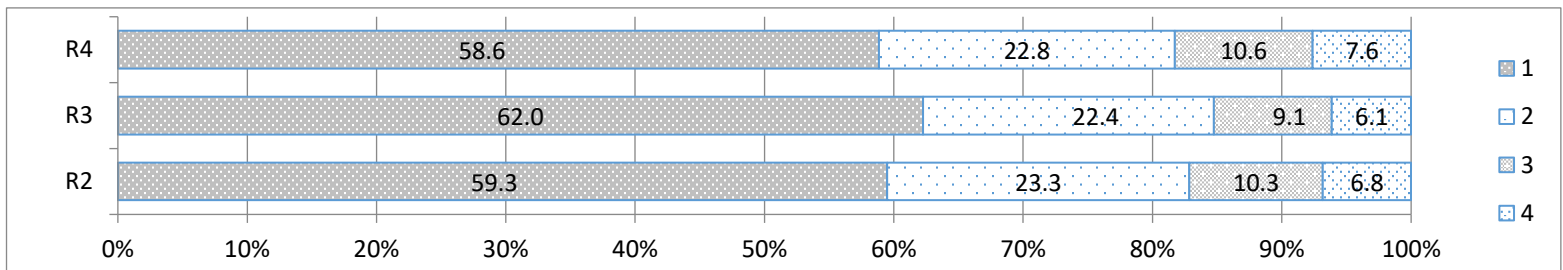
質問事項 1 7 (小5) 「英語を使ってやりとりができるようになりたいと思いますか」

(中1) 「英語を使ってコミュニケーションができるようになりたいと思いますか」

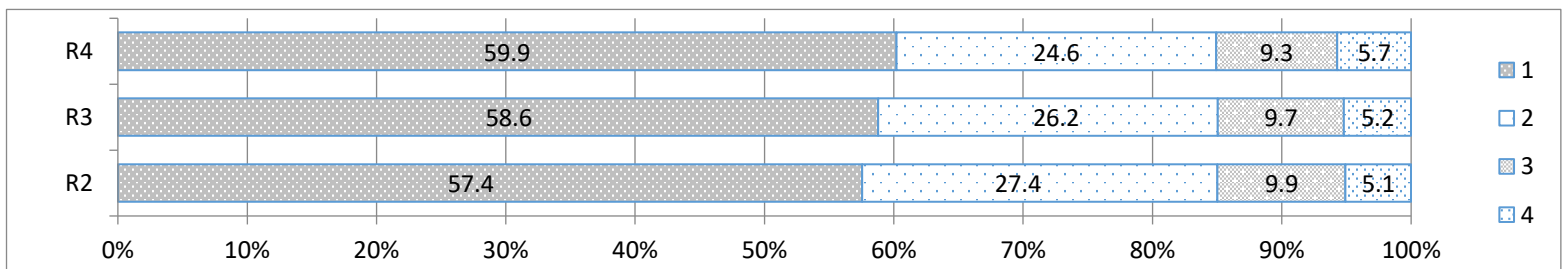
《選択肢》 1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない

○ 肯定的な回答をしている割合は、小5、中1ともに8割を超えている。「そう思う」と回答した児童生徒の割合は、小5でやや減少、中1でやや増加している。

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》



(4) 基本的な生活習慣に関連する事項

- 小5は午後9時から午後10時頃に、中1は午後10時から午後11時頃に寝ている割合が最も多い。
- 平日に3時間以上、テレビゲーム（PCゲーム等含む）をしている割合は、年々増加傾向にある。
- 平日に携帯電話やスマートフォンを勉強以外に3時間以上使用する割合は、小5で約10%、中1で約18%となっており、年々増加している。また、無料通信アプリを使用している児童生徒の割合も年々増加している。

質問事項	年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
		回答	経年比較	回答	経年比較
18 普段（月～金曜日）、何時頃寝ていますか	R4	グラフ参照			
	R3	グラフ参照			
	R2	グラフ参照			
19 普段（月～金曜日）、何時頃起きますか	R4	グラフ参照			
	R3	グラフ参照			
	R2	グラフ参照			
20 朝食を毎日食べていますか	R4	94.4	-0.9	93.2	-1.1
	R3	95.3	0.9	94.3	-0.4
	R2	94.4	-1.5	94.7	-0.1
21 平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、CDを聞いたりしますか（テレビゲームを除く）→3時間以上と回答した割合	R4	17.1	-0.4	13.2	0.4
	R3	17.5	-1.1	12.8	-2.6
	R2	18.6	1.5	15.4	1.1
22 平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、スマートフォン等を使ったゲームを含む）をしますか→3時間以上と回答した割合	R4	19.5	1.2	21.6	2.5
	R3	18.3	0.3	19.1	0.5
	R2	18.0	4.9	18.6	4.3
23 平日に、スマートフォン等を勉強以外で使う時間はどのくらいですか→3時間以上と回答した割合	R4	11.5	3.3	17.7	3.1
	R3	8.2	0.2	14.6	0.4
	R2	8.0	1.8	14.2	3.6
24 平日に、スマートフォン等で無料通信アプリをどのくらい使っていますか→1時間以上と回答した割合	R4	22.8	5.6	35.6	7.1
	R3	17.2	0.3	28.5	-0.4
	R2	16.9	2.0	28.9	3.2
25 携帯電話やスマートフォンを所持している割合 ※R4から質問項目を「自分のスマートフォン（タブレット端末を含む）を持っていますか」に修正して実施	R4	57.2	9.5	77.2	7.9
	R3	47.7	0.0	69.3	2.5
	R2	47.7	0.6	66.8	4.8

※21から24については、数値が高いほど、また、比較の値が大きいほど改善の必要性が高いと考えられる。

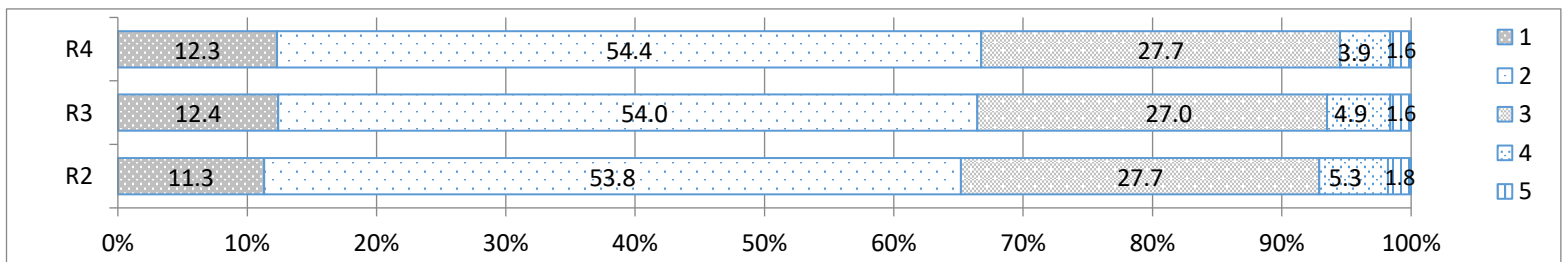
◇基本的な生活習慣に関連する事項のグラフ

質問事項18 「普段（月～金曜日）、何時頃寝ていますか」

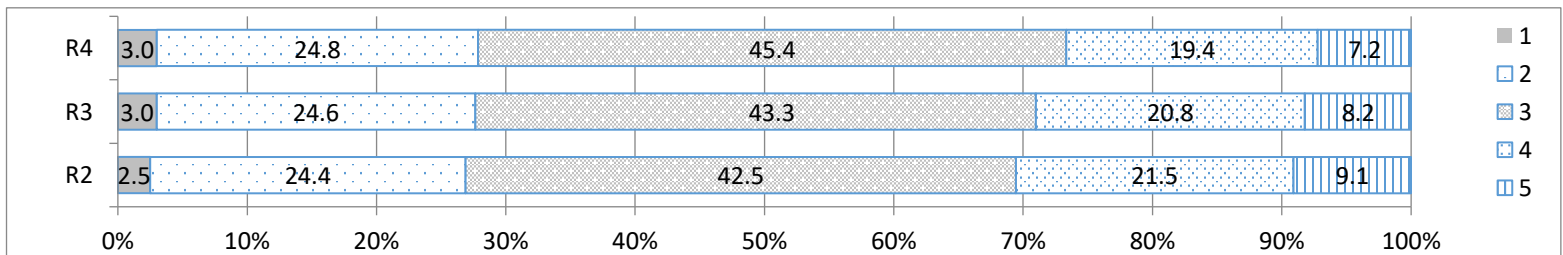
○ 小5ではあまり変化はないが、中1では午後11時までに寝ている割合がやや増加している。

《選択肢》 1:午後9時より前 2:午後9時～午後10時 3:午後10時～午後11時 4:午後11時～午前0時 5:午前0時以降

《小学校第5学年》



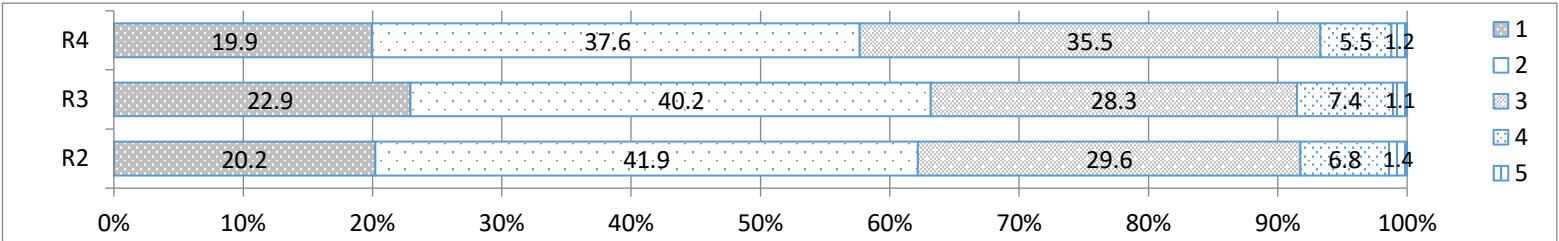
《中学校第1学年》



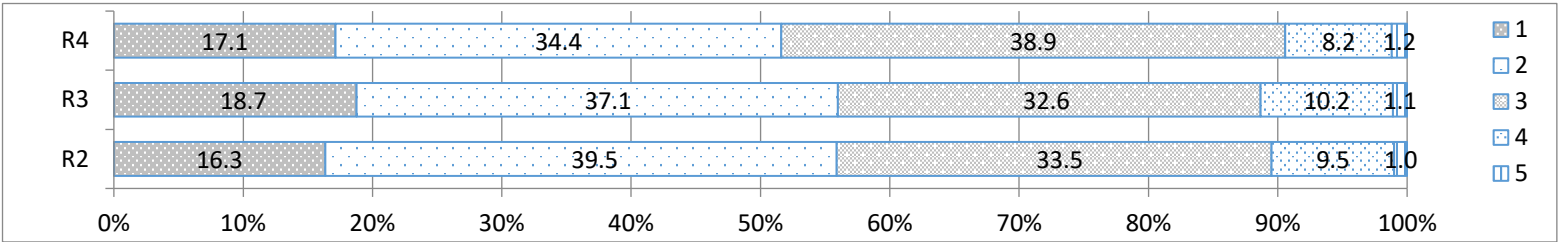
質問事項 19 「普段（月～金曜日），何時頃起きますか」

○ 小5，中1ともに午前7時までに起きる児童生徒の割合は9割を超えている。

《選択肢》 1: 午前6時より前 2: 午前6時～午前6時30分 3: 午前6時30分～午前7時 4: 午前7時～午前7時30分 5: 午前7時30分以降
《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

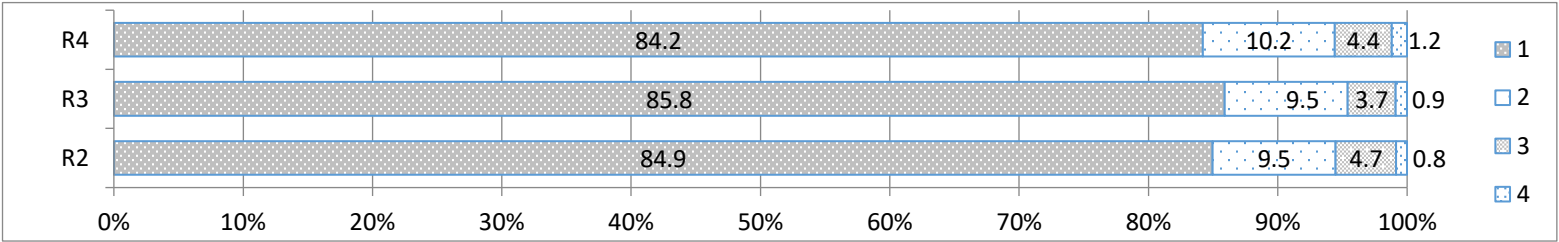


質問事項 20 「朝食を毎日食べていますか」

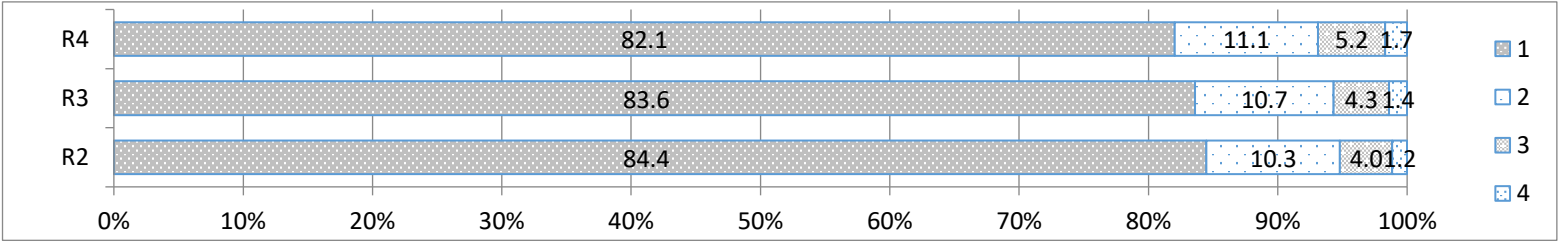
○ 朝食を毎日食べている割合は，中1でやや減少傾向にある。

《選択肢》 1: 食べている 2: どちらかといえば食べている 3: あまり食べていない 4: 全く食べていない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

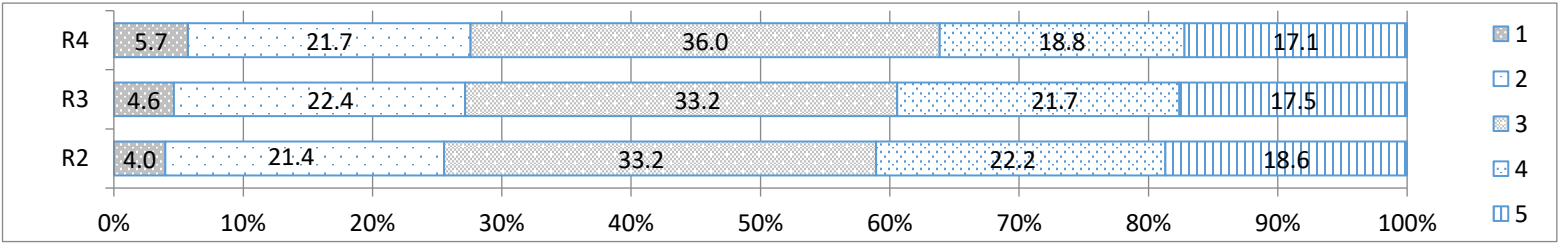


質問事項 21 「平日に，1日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVDを見たり，CDを聞いたりしますか」

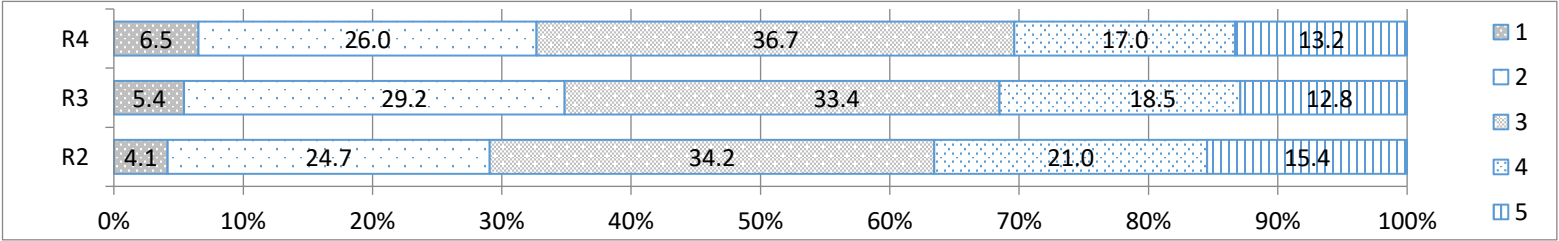
○ 小5，中1ともに，2時間以上の割合が減少傾向にある。

《選択肢》 1: 全く見たり，聞いたりしない 2: 1時間未満 3: 1時間以上2時間未満 4: 2時間以上3時間未満 5: 3時間以上

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

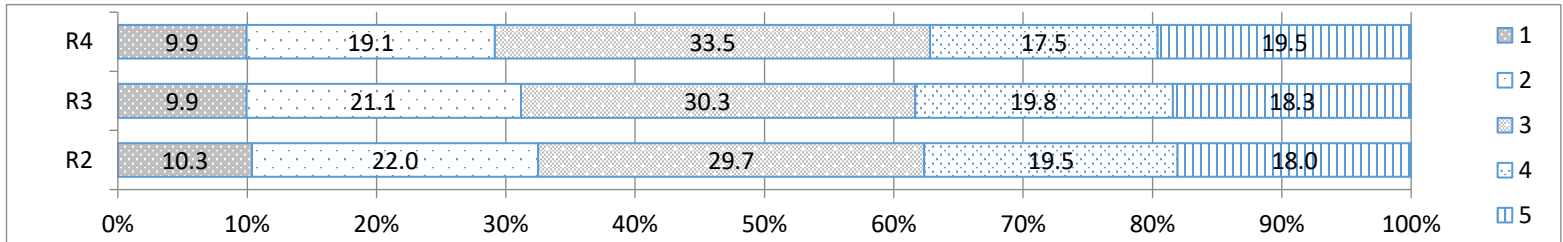


質問事項 2 2 「平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマートフォン等を使ったゲームを含む）をしますか」

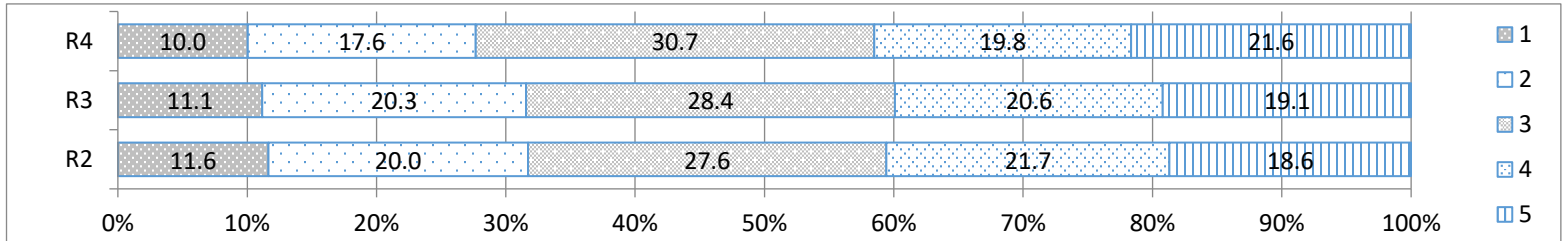
○ 小5，中1ともに1時間以上の割合が増加傾向にあり，3時間以上は2割程度いる。

《選択肢》 1: 全くしない 2: 1時間未満 3: 1時間以上2時間未満 4: 2時間以上3時間未満 5: 3時間以上

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

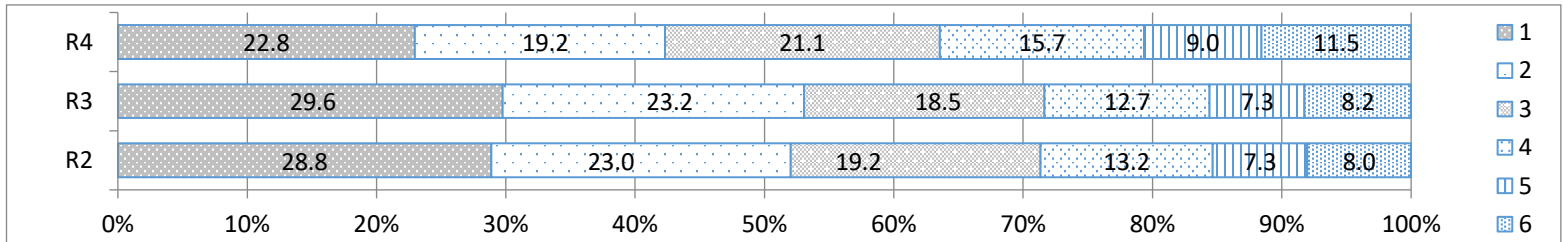


質問事項 2 3 「平日に、スマートフォン等を勉強以外で使う時間はどのくらいですか」

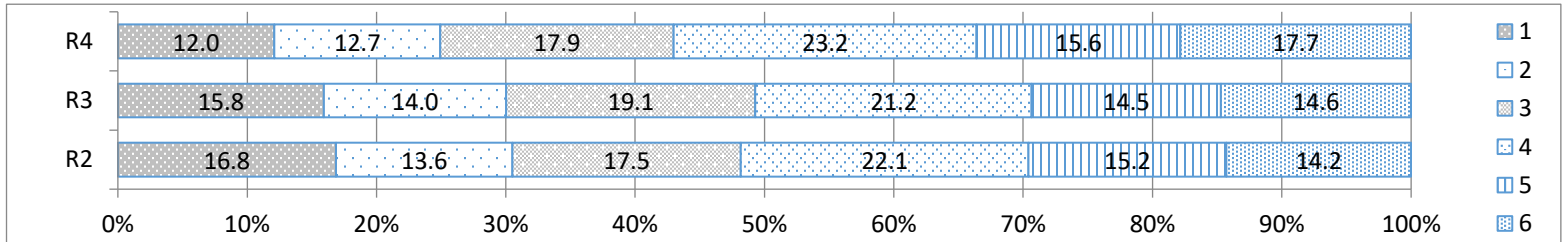
○ 小5，中1ともに3時間以上と回答した割合が増加傾向にある。

《選択肢》 1: 全く使わない 2: 30分未満 3: 30分以上1時間未満 4: 1時間以上2時間未満 5: 2時間以上3時間未満 6: 3時間以上

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

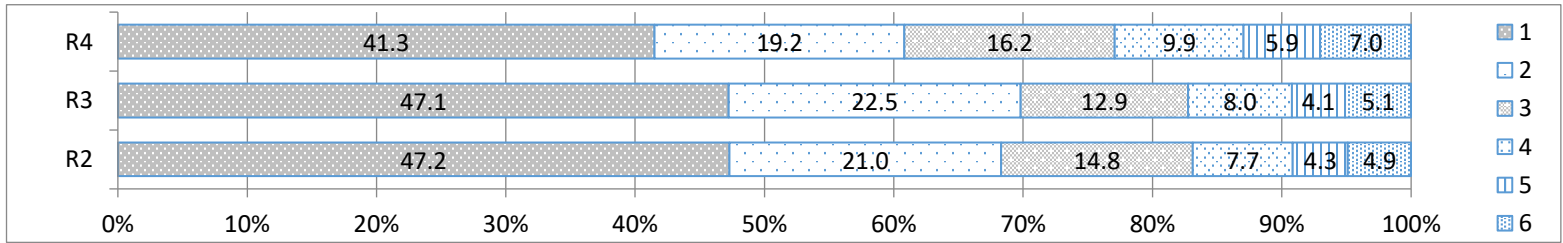


質問事項 2 4 「平日に、スマートフォン等で無料通信アプリをどのくらい使っていますか」

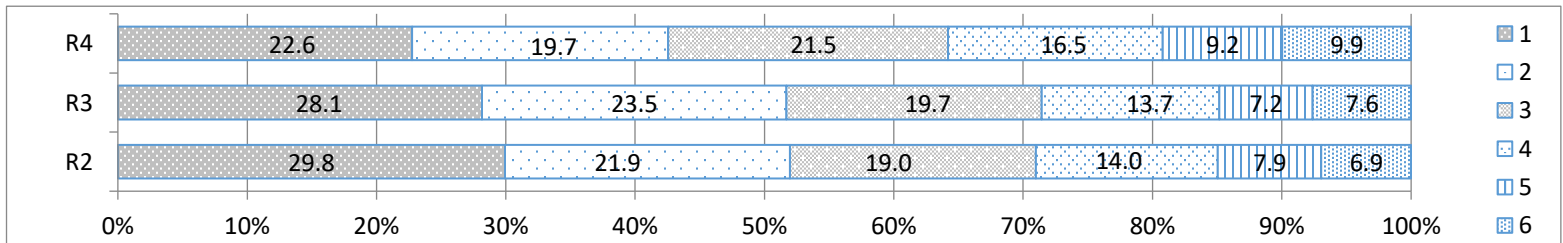
○ 小5，中1ともに使用時間が増加傾向にある。中1では2時間以上が2割程度いる。

《選択肢》 1: 全く使わない 2: 30分未満 3: 30分以上1時間未満 4: 1時間以上2時間未満 5: 2時間以上3時間未満 6: 3時間以上

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》



(5) 自尊意識・規範意識に関連する事項

- 自分にはよいところがあると思っている割合は、小5で約75%、中1で約72%となっている。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していると答えた児童生徒の割合は、小5で約80%、中1で約77%となっており、昨年度より減少した。
- 将来の夢や目標を持っていると答えた児童生徒の割合は、小5で約88%、中1で約78%となっており、昨年度よりやや減少した。
- 学校のきまりを守っている児童生徒の割合は、小5、中1とも9割を超えている。
- 学校に行くのは楽しいと思っている児童生徒の割合は、昨年度に比べて、小5、中1ともに4ポイント以上減少した。
- 学校に行くのは楽しいと回答している理由として一番多いのが、小5、中1ともに友達との関わりであり、5割を超えている。

質問事項	年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
		回答	経年比較	回答	経年比較
26 自分には、良いところがあると思いますか	R4	75.6	-1.6	72.2	-1.0
	R3	77.2	1.5	73.2	0.2
	R2	75.7	-1.5	73.0	-1.7
27 ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか	R4	92.1	-1.3	93.7	-0.7
	R3	93.4	0.8	94.4	0.2
	R2	92.6	-0.4	94.2	-0.3
28 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	R4	80.4	-3.0	77.4	-2.2
	R3	83.4	2.2	79.6	2.2
	R2	81.2	-2.0	77.4	-3.4
29 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	R4	94.2	-0.7	95.4	-0.3
	R3	94.9	0.4	95.7	0.4
	R2	94.5	-0.5	95.3	0.1
30 将来の夢や目標を持っていますか	R4	87.7	-0.6	78.3	-1.3
	R3	88.3	0.4	79.6	1.8
	R2	87.9	-2.7	77.8	-3.5
31 学校のきまりを守っていますか	R4	91.8	-0.6	96.6	-0.2
	R3	92.4	-0.6	96.8	0.1
	R2	93.0	1.3	96.7	0.3
32 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	R4	94.9	-0.5	95.2	-0.7
	R3	95.4	-0.4	95.9	-0.4
	R2	95.8	-0.3	96.3	0.5
33 学校に行くのは楽しいと思いますか	R4	81.2	-4.6	82.7	-4.8
	R3	85.8	-0.9	87.5	-0.8
	R2	86.7	3.7	88.3	8.9
34小	33番の回答理由（小学校第5学年 選択肢6項目：多い順） ①友達との関わり(50.5%) ②授業(17.7%) ③休み時間や放課後の時間(17.2%) ④学校行事(5.9%) ⑤その他(5.4%) ⑥先生との関わり(3%)				
34中	33番の回答理由（中学校第1学年 選択肢6項目：多い順） ①友達との関わり(59.3%) ②休み時間や放課後の時間(14.9%) ③授業(12.5%) ④その他(7.8%) ⑤学校行事(2.8%) ⑥先生との関わり(2.2%)				

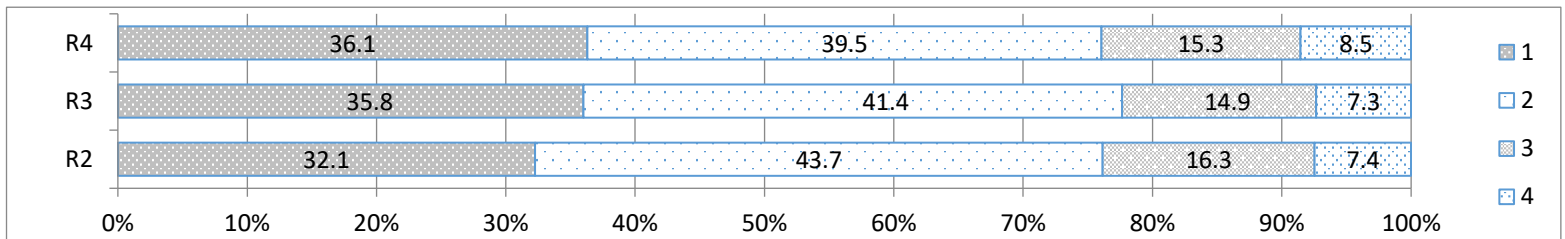
◇自尊意識・規範意識に関連する事項のグラフ

質問事項 2 6 「自分には、良いところがあると思いますか」

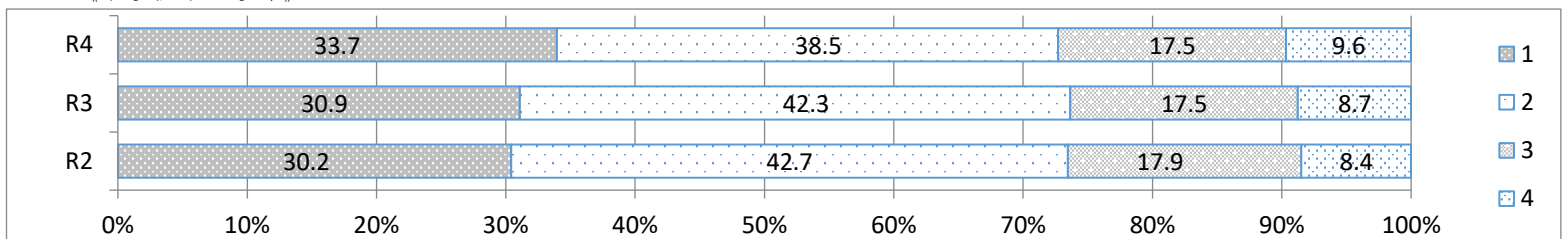
○ 小5, 中1ともに肯定的な回答の割合は7割を超えているが, 昨年度よりやや減少している。

《選択肢》 1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

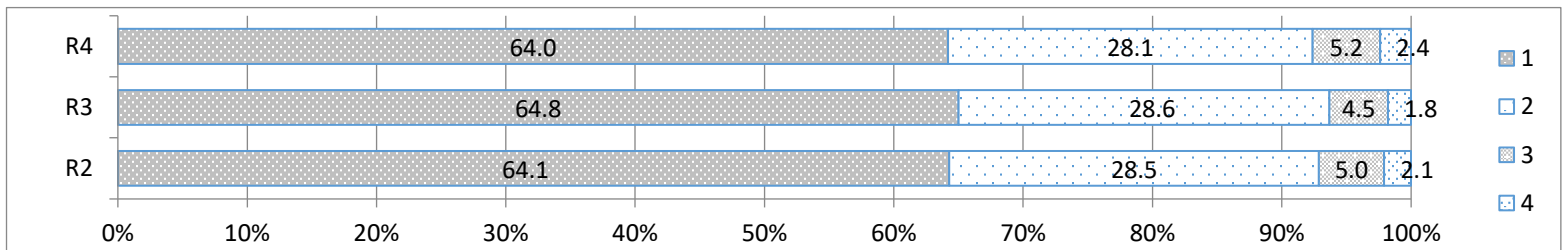


質問事項 2 7 「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」

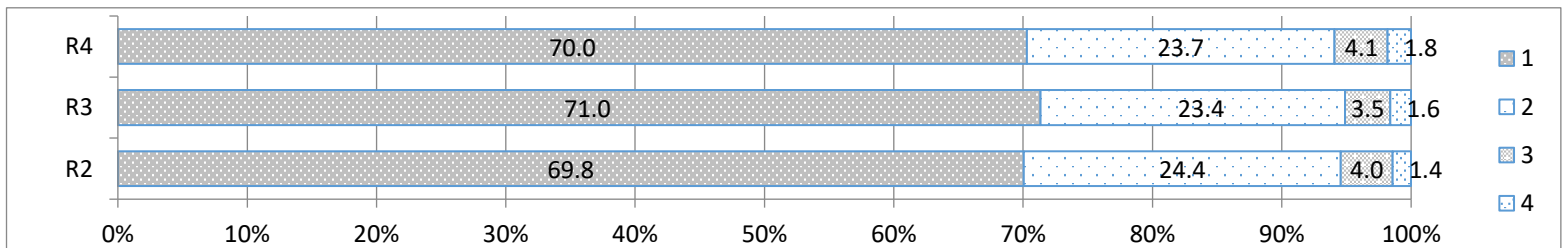
○ 小5, 中1ともに肯定的な回答の割合は9割を超えている。

《選択肢》 1: ある 2: どちらかといえばある 3: どちらかといえばない 4: ない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

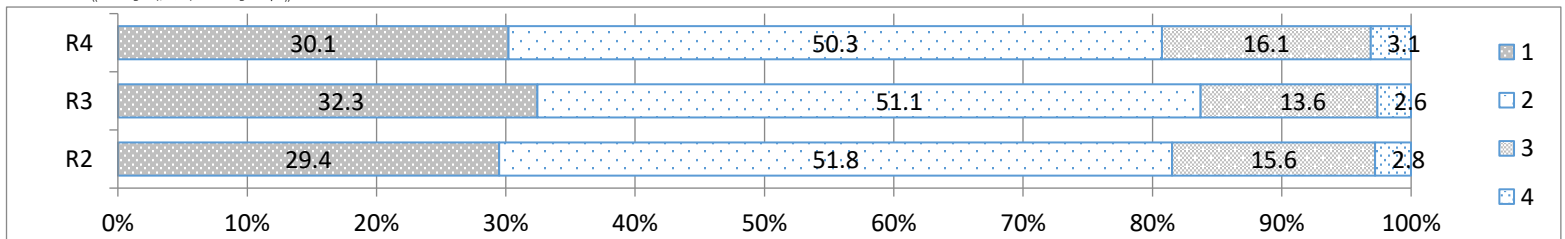


質問事項 2 8 「難しいことでも, 失敗を恐れずに挑戦していますか」

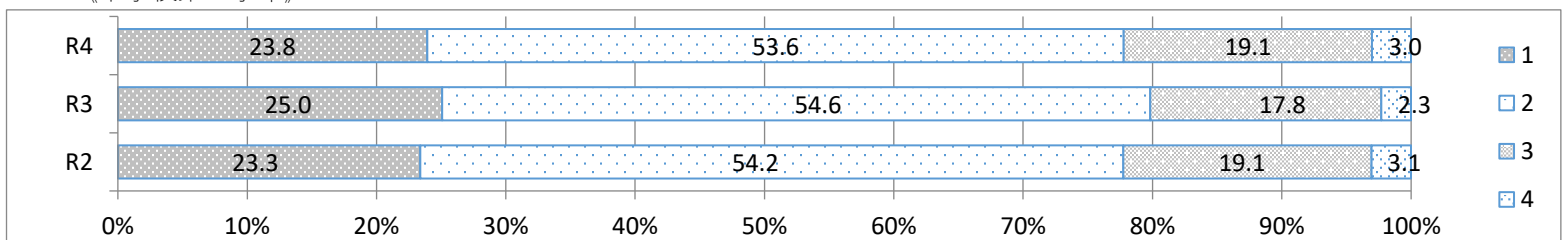
○ 小5, 中1ともに肯定的な回答の割合が, 昨年度よりも減少している。

《選択肢》 1: している 2: どちらかといえばしている 3: どちらかといえばしていない 4: していない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

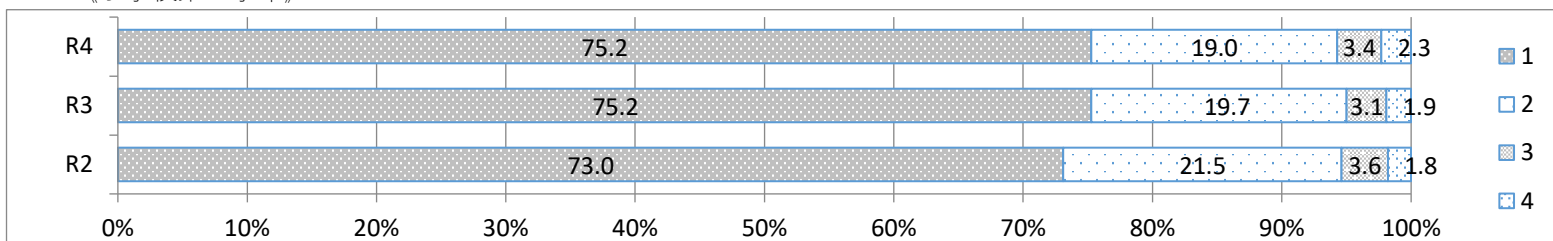


質問事項 29 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

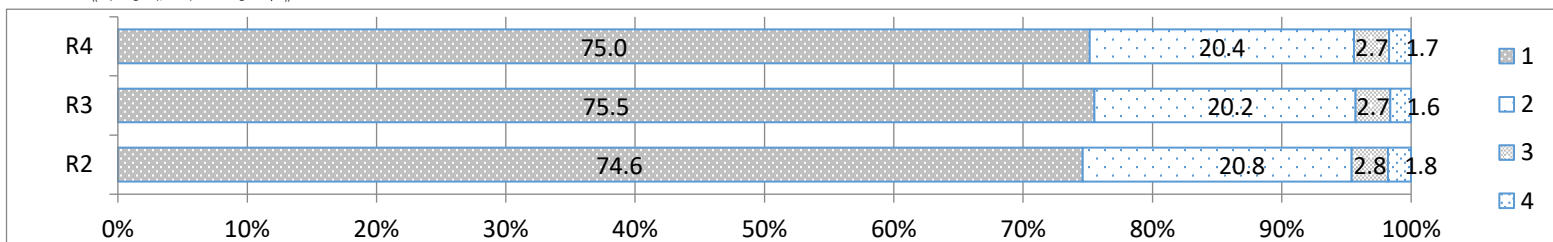
○ 小5, 中1ともに肯定的な回答は、ほぼ変わらず約95%程度で推移している。

《選択肢》 1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

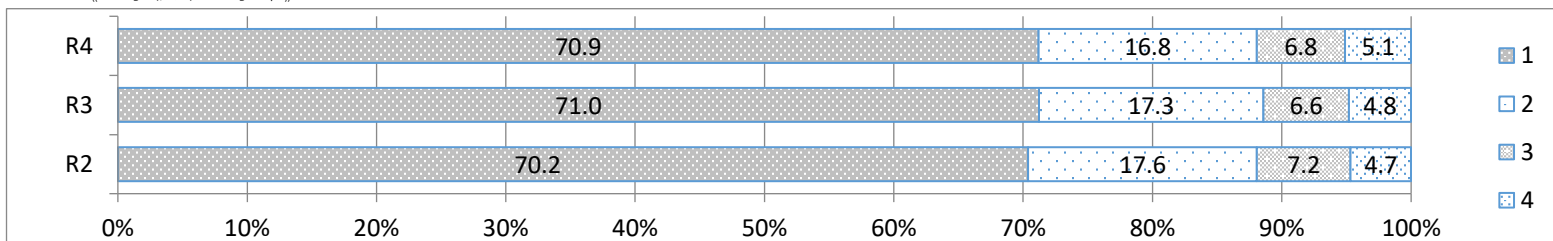


質問事項 30 「将来の夢や目標を持っていますか」

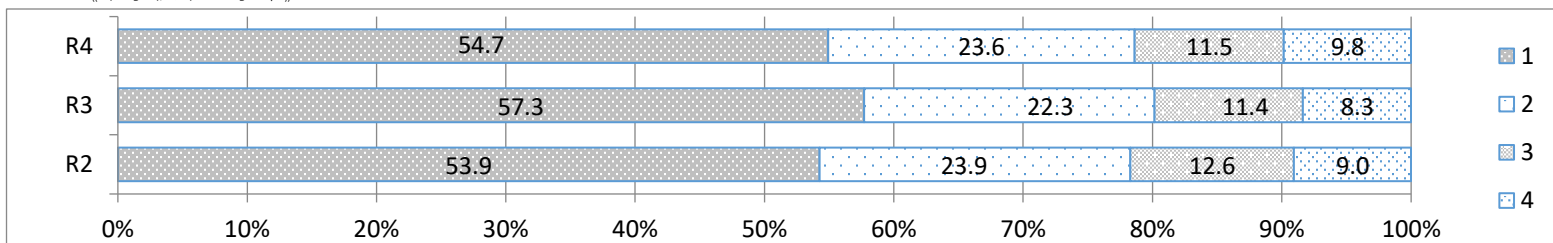
○ 「持っている」と答えた小5は7割程度である。中1は6割未満であり、昨年度より減少している。

《選択肢》 1: 持っている 2: どちらかといえば持っている 3: どちらかといえば持っていない 4: 持っていない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

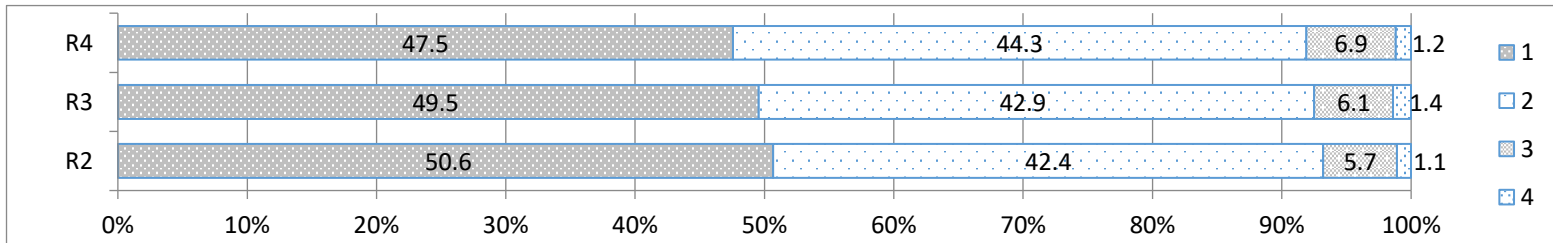


質問事項 31 「学校のきまりを守っていますか」

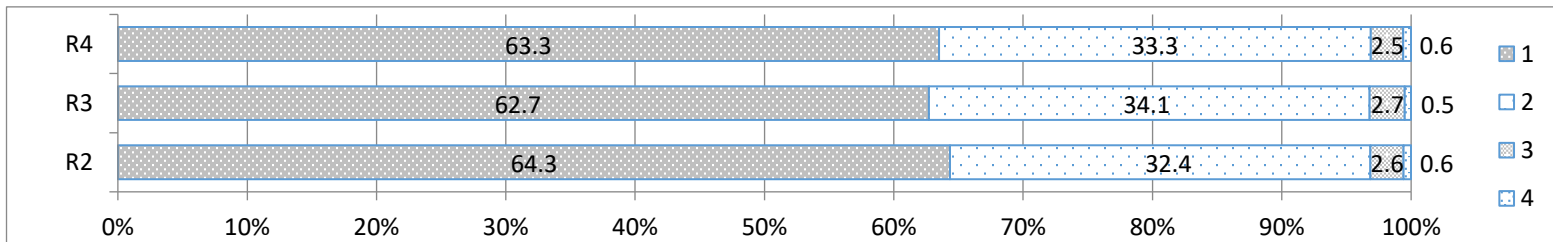
○ 中1の回答状況はほぼ変わらないが、小5ではやや減少傾向が見られる。

《選択肢》 1: 守っている 2: どちらかといえば守っている 3: どちらかといえば守っていない 4: 守っていない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

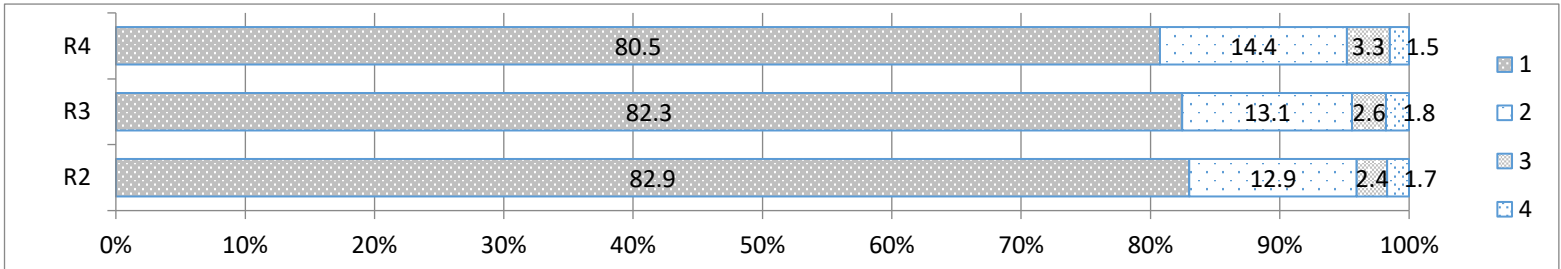


質問事項3 2 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

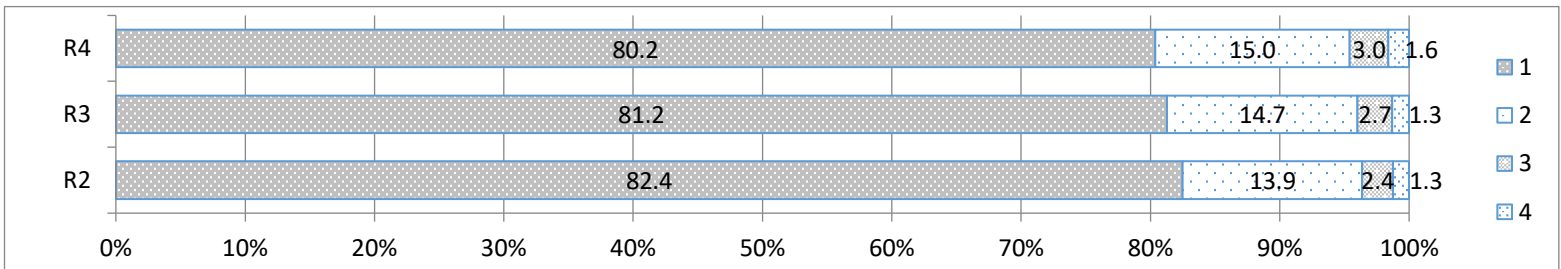
○ 小5, 中1ともに肯定的な回答は9割を超えている。

《選択肢》 1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》



(6) ボランティア活動等に関連する事項

質問事項	年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
		回答	経年比較	回答	経年比較
35 人が困っているときは進んで助けていますか	R4	89.1	0.0	88.4	-0.7
	R3	89.1	1.4	89.1	0.7
	R2	87.7		88.4	
36 今住んでいる地域の行事に参加していますか	R4	59.1	-4.9	48.6	-5.3
	R3	64.0	-3.5	53.9	-3.0
	R2	67.5	-5.0	56.9	-2.3
37 ボランティア活動（校内での活動も含む）に参加していますか	R4	47.4	-5.3	46.7	-3.2
	R3	52.7	19.5	49.9	21.0
	R2	33.2		28.9	

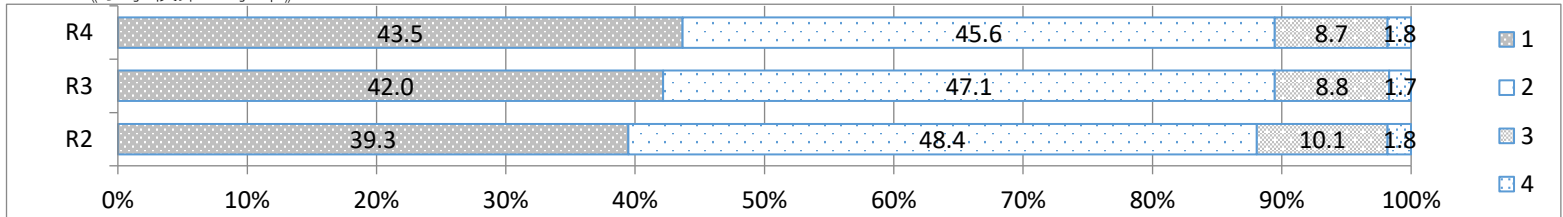
◇ボランティア活動等に関するグラフ

《選択肢》 1: している 2: どちらかといえばしている 3: どちらかといえばしていない 4: していない

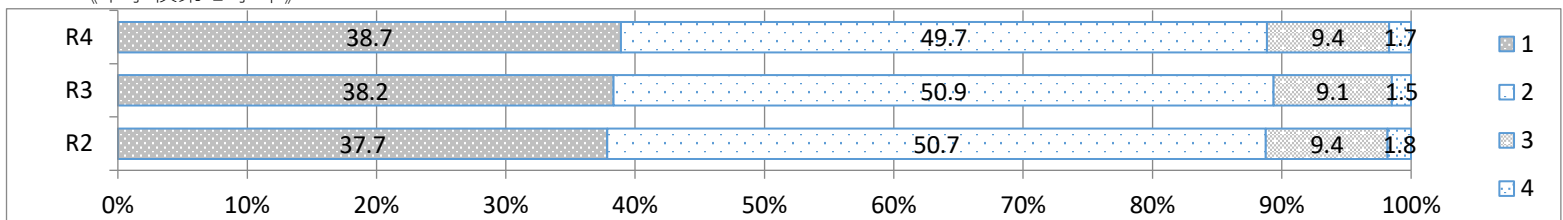
質問事項35 「人が困っているときは進んで助けていますか」

○ 小5, 中1ともに肯定的な回答の割合が9割近くとなっている。

《小学校第5学年》



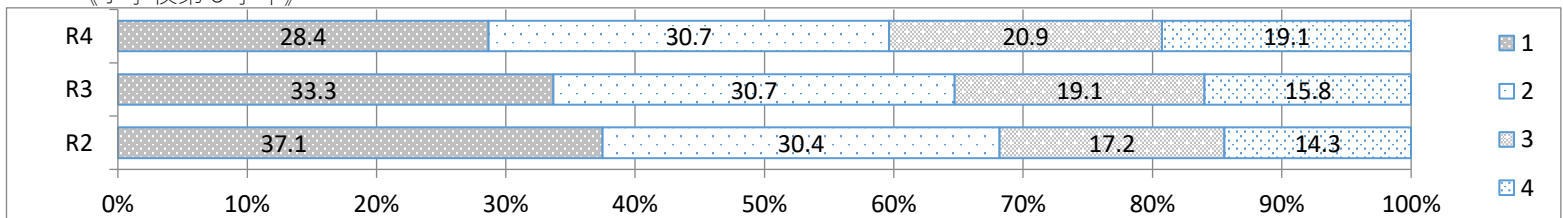
《中学校第1学年》



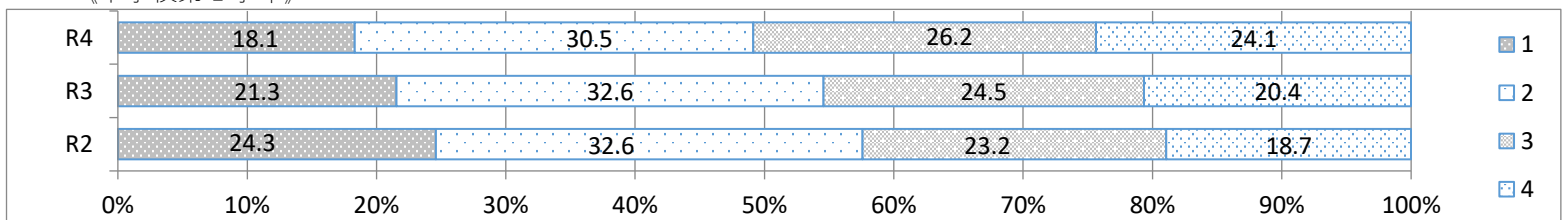
質問事項36 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

○ 小5, 中1ともに減少傾向にある。

《小学校第5学年》



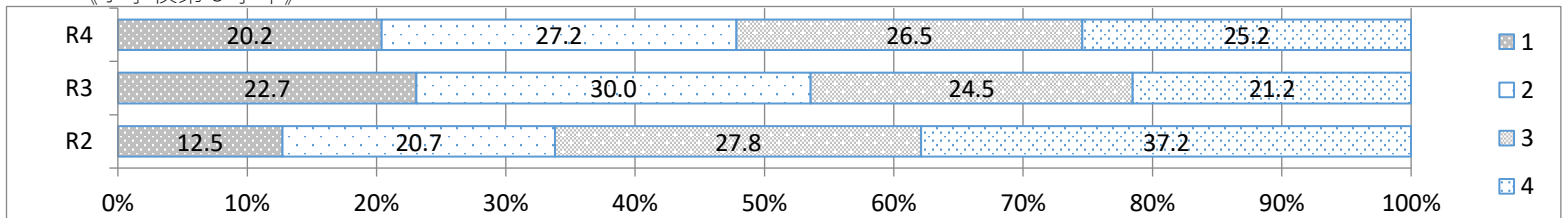
《中学校第1学年》



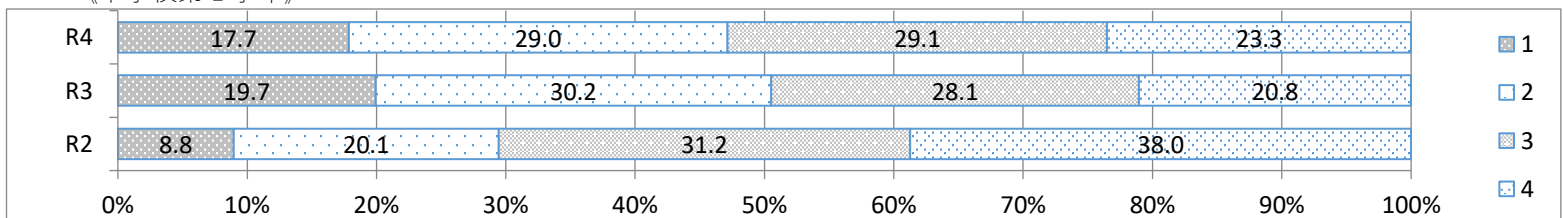
質問事項37 「ボランティア活動（校内での活動も含む）に参加していますか」

○ 小5, 中1ともにボランティアに参加している割合は、昨年度よりもやや減少している。

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》



(7) タブレット端末やパソコン等の活用に関連する事項

質問事項	年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
		回答	経年比較	回答	経年比較
38 小5：これまで受けた授業では、タブレット端末やパソコン等をどの程度使っていましたか。※表の数値は、「ほぼ毎日」	R4	27.4	15.1	24.7	7.3
	R3	12.3		17.4	
	R2				
39 授業でタブレット端末やパソコン等をもっと活用したいと思いますか。	R4	85.2	-2.4	83.2	-3.1
	R3	87.6		86.3	
	R2				

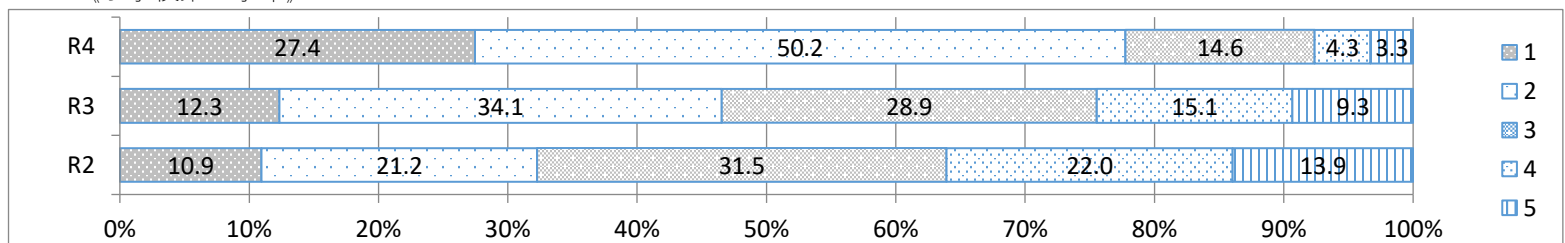
◇タブレット端末やパソコン等の活用に関連するグラフ

質問事項38 「これまで受けた授業では、タブレット端末やパソコン等をどの程度使っていましたか」

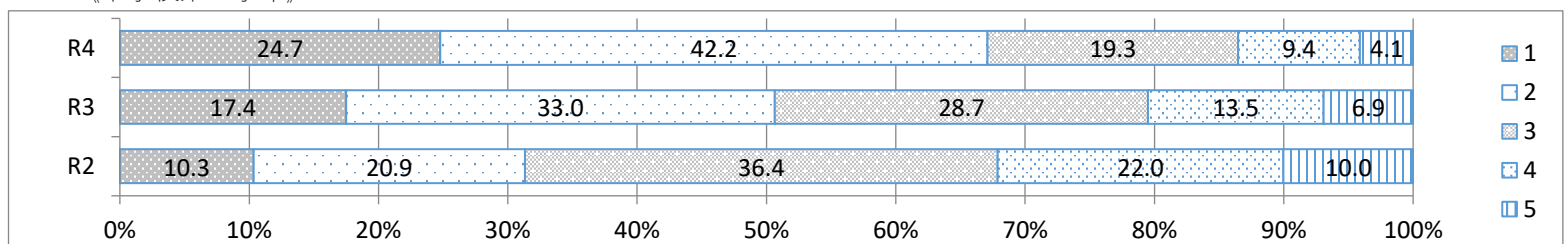
○ ほぼ毎日、週1回以上使用していると回答した割合は、小学校でより高くなっている。

《選択肢》 1: ほぼ毎日 2: 週1回以上 3: 月1回以上 4: 月1回より少ない 5: その他

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》

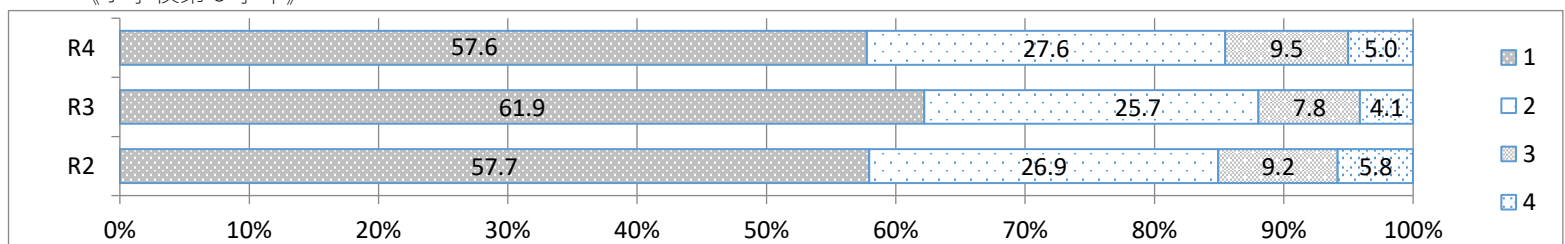


質問事項39 「授業でタブレット端末やパソコン等をもっと活用したいと思いますか」

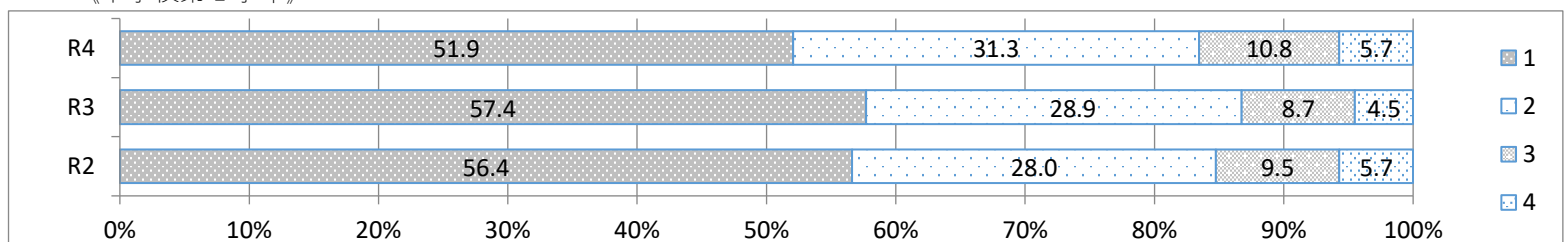
○ 授業でもっと活用したいと答えている割合は、小5，中1ともにやや減少している。

《選択肢》 1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない

《小学校第5学年》



《中学校第1学年》



2 学校質問紙調査結果の概況

(1) 「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項

- 児童生徒一人一人に積極的に声を掛け、励ましている学校、及び一人一人に声を掛け、話をよく聴いている学校の割合は、それぞれほぼ100%である。
- 児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け、伝えるなど積極的に評価している学校の割合は、小・中学校ともに95%以上である。
- 授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れている学校の割合は、小・中学校ともにほぼ100%である。
- 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていると答えた学校の割合が、中学校でやや減少傾向にある。
- 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていると答えた学校の割合は、中学校よりも小学校で高い傾向が見られる。中学校では昨年度より5ポイント減少した。
- 保護者に対して、児童の家庭学習を促すような働きかけをしていると答えた学校の割合は中学校に比べて小学校が高い傾向が見られる。中学校で9ポイント以上減少している。

質問事項	年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
		回答	経年比較	回答	経年比較
1 児童生徒一人一人に積極的に声を掛け、励ましていますか	R4	99.2	0.4	99.2	-0.8
	R3	98.8	-0.4	100.0	0.0
	R2	99.2	-0.4	100.0	0.0
2 児童生徒一人一人の声に耳を傾け、話をよく聴いていますか	R4	99.6	0.5	99.2	-0.8
	R3	99.1	-0.1	100.0	0.0
	R2	99.2	0.0	100.0	0.0
3 学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け、伝えるなど積極的に評価していますか	R4	97.9	-0.5	96.2	-1.5
	R3	98.4	-0.4	97.7	-1.6
	R2	98.8	0.8	99.3	0.8
4 授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れていますか	R4	99.2	0.0	98.4	-1.6
	R3	99.2	-0.4	100.0	0.0
	R2	99.6	-0.4	100.0	1.5
5 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか	R4	93.4	0.7	96.2	-1.6
	R3	92.7	-3.7	97.8	-1.4
	R2	96.4	0.8	99.2	2.2
6 対象児童生徒に対して、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか	R4	94.2	0.6	87.2	-2.4
	R3	93.6	-1.3	89.6	5.0
	R2	94.9	2.5	84.6	-5.7
7 対象児童生徒に対して、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか	R4	90.0	0.1	73.5	-5.0
	R3	89.9	-3.4	78.5	1.3
	R2	93.3	3.7	77.2	-2.7
8 対象児童生徒に対して、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えていますか	R4	93.3	-1.4	92.5	-5.2
	R3	94.7	-1.3	97.7	0.6
	R2	96.0	-0.8	97.1	0.1
9 保護者に対して、児童の家庭学習を促すような働きかけをしていますか	R4	87.6	0.5	80.3	-9.3
	R3	87.1	-6.6	89.6	5.0
	R2	93.7	0.5	84.6	-6.5

(2) 震災の影響に関連する事項

- 震災の影響（地震・津波・放射線）と思われる、気になる様子が見られる児童生徒は、小・中学校ともに現在も見られる。

質問事項	年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
		回答	経年比較	回答	経年比較
10 震災の影響（地震・津波・放射線）と思われる、気になる様子が見られる児童生徒の割合	R4	2.3	1.2	1.6	0.3
	R3	1.1	0.5	1.3	0.4
	R2	0.6	-0.4	0.9	0.2
	R1	1.0	0.3	0.7	0.2
	H30	0.7	-0.5	0.5	0.0
	H29	1.2	0.6	0.5	-0.5
	H28	0.6	-0.6	1.0	0.0
	H27	1.2		1.0	

質問事項10の内容「現在、震災の影響(地震・津波・放射線)と思われる次のような様子が、一つでも見られる児童生徒は何人いますか。」

- ① 災害のことを突然思い出して動揺する。
- ② 災害を連想させる事柄や場面に出会うと、慌てて話題を変えたり、その場から立ち去ろうとしたりする。
- ③ 喜怒哀楽がなくなり、無表情になる。
- ④ 些細な音でビクッとしたり、過敏に警戒したりする。

*震災の影響とは、津波・放射線等の直接的な影響だけでなく、震災による家庭環境の変化や地域コミュニティの変化等による間接的な影響も含む。

(3) 指導方法等に関連する事項

- 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行っている学校の割合は、小学校で約75%、中学校で約60%となっており、中学校では昨年度より10ポイント以上減少した。
- 言語活動を適切に位置付けていると答えた学校、及び様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていると答えた学校は9割を超えており、中学校では95%を超えている。
- タブレット端末やパソコン等を活用した授業を週1回以上行っていると答えた学校の割合は、国語、算数・数学、英語ともに増加傾向にある。
- タブレット端末やパソコン等を活用した授業を週1回以上行っていると答えた学校の割合は、小学校算数では7割以上となっている。中学校では英語が64.4%で最も割合が高くなっている。
- 算数・数学の授業において、少人数による習得のための指導を行っている学校の割合は、小・中学校ともに減少傾向にある。
- 学級やグループで話し合う活動を授業などで行っていると答えた学校の割合は、小・中学校ともに昨年度よりも増加している。
- 授業において、児童生徒が自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動を取り入れている学校の割合は、小・中学校ともに65%以上となっている。

質問事項		年度	小学校第5学年		中学校第1学年	
			回答	経年比較	回答	経年比較
11	将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか	R4	74.7	-3.9	59.1	-12.0
		R3	78.6	-2.8	71.1	-0.2
		R2	81.4	-18.6	71.3	-28.7
12	各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けていますか	R4	93.8	-2.1	96.2	2.8
		R3	95.9	0.2	93.4	-0.7
		R2	95.7	4.4	94.1	-0.8
13	様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか	R4	95.8	-0.2	97.0	0.0
		R3	96.0	-2.0	97.0	2.1
		R2	98.0	2.7	94.9	-4.4
14	発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか	R4	99.6	0.9	99.3	0.1
		R3	98.7	-0.9	99.2	5.1
		R2	99.6	0.4	94.1	-3.7
15	国語の指導方法として、タブレット端末やパソコン等を活用した授業をどの程度行っていますか（週1回以上と答えた学校）	R4	56.0	13.7	32.6	12.6
		R3	42.3	21.4	20.0	9.7
		R2	20.9	5.9	10.3	5.9
16	算数・数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による習得のための指導を年間の授業のうちどの程度行っていますか（少しでも行っていると答えた学校）	R4	36.1	-5.5	21.2	-3.3
		R3	41.6	-5.8	24.5	-4.9
		R2	47.4	-6.2	29.4	1.8
17	算数・数学の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による発展的な内容の指導を年間の授業のうちどの程度行っていますか（少しでも行っていると答えた学校）	R4	34.8	-3.5	25.7	-0.3
		R3	38.3	-4.0	26.0	0.3
		R2	42.3	-6.9	25.7	-1.1
18	算数・数学の指導方法として、タブレット端末やパソコン等を活用した授業をどの程度行っていますか（週1回以上と答えた学校）	R4	70.1	10.8	46.2	6.2
		R3	59.3	16.6	40.0	20.1
		R2	42.7	5.9	19.9	4.6
19	英語の授業において、習熟の遅いグループに少人数による習得のための指導を年間の授業のうちどの程度行っていますか（少しでも行っていると答えた学校）	R4			28.0	6.6
		R3			21.4	-4.3
		R2			25.7	4.1
20	英語の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか（少しでも行っていると答えた学校）	R4			28.0	9.6
		R3			18.4	-5.1
		R2			23.5	2.6
21	英語の指導方法として、タブレット端末やパソコン等を活用した授業をどの程度行っていますか（週1回以上と答えた学校）	R4			64.4	1.4
		R3			63.0	31.4
		R2			31.6	6.1
22	学級やグループで話し合う活動を授業などで行っていますか	R4	93.0	1.9	96.2	2.9
		R3	91.1	7.7	93.3	12.4
		R2	83.4	-12.6	80.9	-15.4
23	授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動を取り入れていますか	R4	66.3	-0.7	65.2	-2.9
		R3	67.0	2.2	68.1	14.4
		R2	64.8	2.3	53.7	-17.1

3 児童生徒質問紙調査結果と学校質問紙調査結果のかい離

- 先生から声を掛けられたり、励まされたりしていると回答した児童生徒の割合と、児童生徒一人一人に積極的に声を掛け、励ましていると回答した学校の割合には、20ポイント程度のかい離が見られるものの、肯定的な回答をしている児童生徒の割合が昨年度より増加し、改善傾向が見られる。
- 自分の考えを發表する機会が与えられていると思うと回答した児童生徒の割合が、児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めたと回答している学校の割合に対して低くなっており、依然としてかい離が見られる。中学校に比べて小学校でのより大きなかい離が見られる。
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができると回答した児童生徒の割合に比べて、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると回答した学校の割合が低くなっており、小・中学校ともに10ポイント以上のかい離が見られる。
- 将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合は大きな変化はなかったものの、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしたと回答した学校の割合が昨年度よりも減り、10ポイント以上のかい離が見られる。小学校に比べて中学校でより大きなかい離が見られる。

質問事項 ◇児童生徒質問紙 ●学校質問紙		年度	小学校第5学年			中学校第1学年		
			小5	学校	かい離	中1	学校	かい離
1	◇先生から声を掛けられたり、励まされたりしていますか ●児童生徒一人一人に、積極的に声を掛け、励ましていますか	R4	78.5	99.2	-20.7	79.4	99.2	-19.8
		R3	75.8	98.8	-23.0	77.2	100.0	-22.8
		R2	77.2	99.2	-22.0	77.8	100.0	-22.2
2	◇先生はあなたの話を聞いてくれますか ●児童生徒一人一人の声に耳を傾け、話をよく聴いていますか	R4	92.0	99.6	-7.6	93.1	99.2	-6.1
		R3	92.3	99.1	-6.8	92.4	100.0	-7.6
		R2	92.6	99.2	-6.6	92.8	100.0	-7.2
3	◇先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか ●学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け、伝えるなど積極的に評価していますか	R4	86.7	97.9	-11.2	88.1	96.2	-8.1
		R3	87.3	98.4	-11.1	87.9	97.7	-9.8
		R2	88.2	98.8	-10.7	88.3	99.3	-11.0
4	◇授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか ●授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れていますか	R4	91.1	99.2	-8.1	95.9	98.4	-2.5
		R3	89.8	99.2	-9.4	95.6	100.0	-4.4
		R2	89.5	99.6	-10.1	94.5	100.0	-5.5
5	◇授業の終わりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか ●授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか	R4	77.0	93.4	-16.4	81.9	96.2	-14.3
		R3	78.2	92.7	-14.5	81.5	97.8	-16.3
		R2	77.4	96.4	-19.1	75.4	99.2	-23.8
6	◇授業では、自分の考えを發表する機会が与えられていると思いますか ●児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか	R4	81.8	99.6	-17.8	89.3	99.3	-10.0
		R3	84.1	98.7	-14.6	90.9	99.2	-8.3
		R2	83.7	99.6	-15.9	89.4	94.1	-4.7
7	◇授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか ●学級やグループで話し合う活動を授業などで行っていますか	R4	85.9	93.0	-7.1	92.1	96.2	-4.1
		R3	87.7	91.1	-3.4	92.8	93.3	-0.5
		R2	83.7	83.4	0.3	85.8	80.9	4.9
8	◇友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか ●学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができますか	R4	94.4	83.4	11.0	95.3	81.1	14.2
		R3	93.6	79.1	14.5	96.1	85.1	11.0
		R2	94.4	87.7	6.7	96.1	86.8	9.4
9	◇授業では、自分たちで課題を見付けて、解決するために情報を集め、話し合ったり、発表したりする学習に取り組んでいると思いますか ●授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの活動を取り入れていますか	R4	78.4	66.3	12.1	83.3	65.2	18.1
		R3	79.7	67.0	12.7	84.0	68.1	15.9
		R2	77.0	64.8	12.2	75.8	53.7	22.1
10	◇将来の夢や目標を持っていますか ●将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしていますか	R4	87.7	74.7	13.0	78.3	59.1	19.2
		R3	88.3	78.6	9.7	79.6	71.1	8.5
		R2	87.9	81.4	6.5	77.8	71.3	6.5

4 現中学校第1学年の経年比較

※ 調査対象が同じ母集団について経年比較したものである。

※ 令和2年度宮城県学力・学習状況調査に参加した小学校第5学年（令和2年8・9月実施）と令和4年度宮城県児童生徒学習意識等調査に参加した中学校第1学年（令和4年6月実施）の調査結果の変化である。

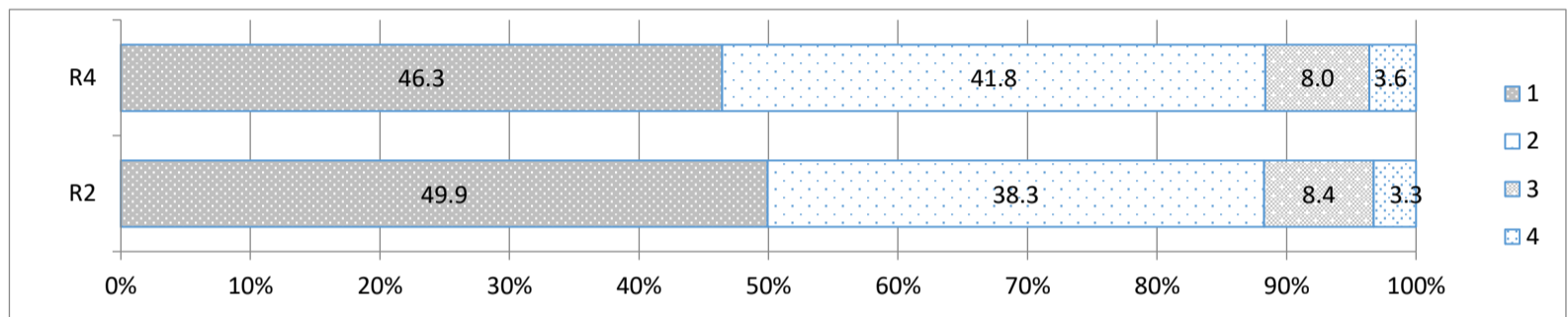
(1) 「学力向上に向けた5つの提言」に関連する事項

- よいところを認めてくれていると思うかについては、そう思うと答えた生徒がやや減少した。
- 授業の中で目標が示されていると回答した割合は増加し、約9割5分であり、振り返る活動についても8割台となっている。
- 学校の授業の予習・復習をしている割合は増加している。
- 1日当たりの勉強時間について、平日、休日ともに増加しており、休日に2時間以上と回答している割合は46.6%となっている。

《選択肢》 1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない

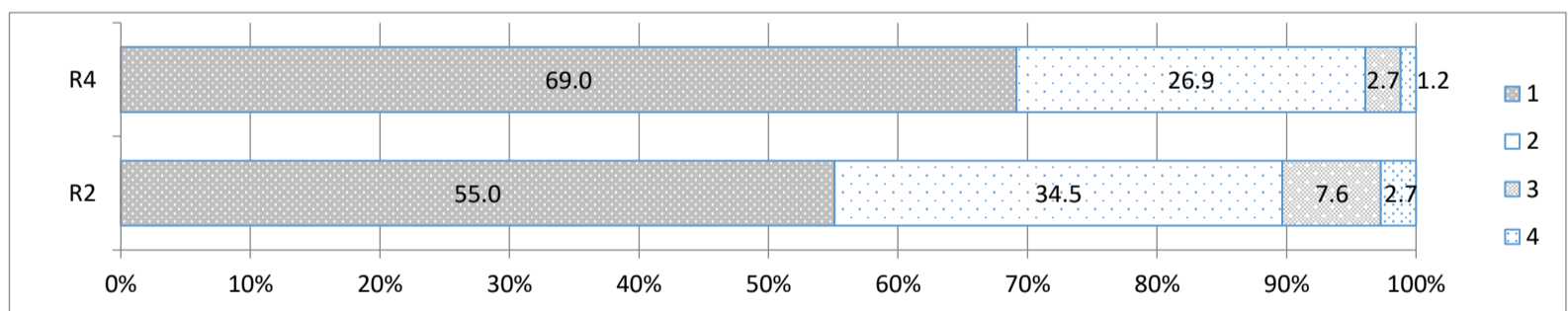
① 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

	1	2	3	4	肯定的な割合（増減）	
R4	46.3	41.8	8.0	3.6	88.1 %	-0.1
R2	49.9	38.3	8.4	3.3	88.2 %	



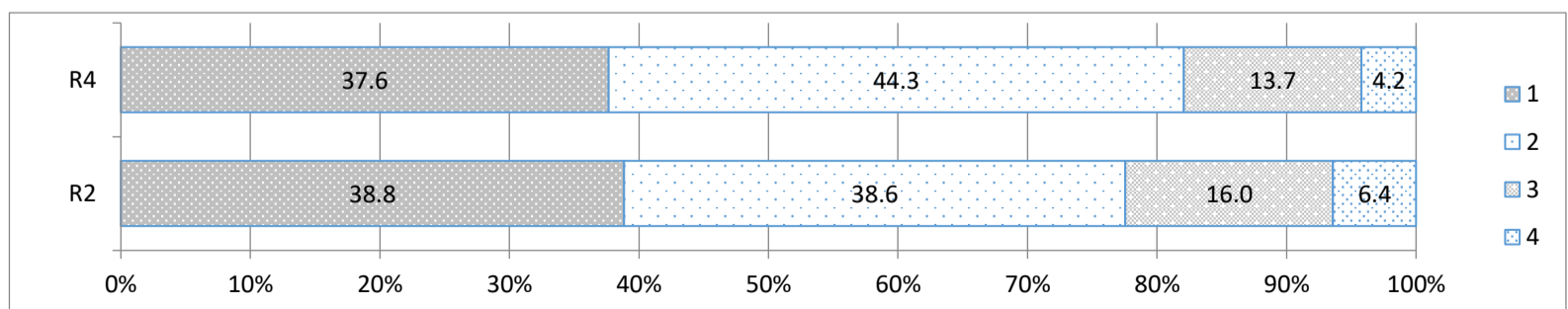
② 授業の中で先生から目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか

	1	2	3	4	肯定的な割合（増減）	
R4	69.0	26.9	2.7	1.2	95.9 %	+6.4
R2	55.0	34.5	7.6	2.7	89.5 %	



③ 授業の終わりにその時間の学習内容を振り返る活動が行われていると思いますか

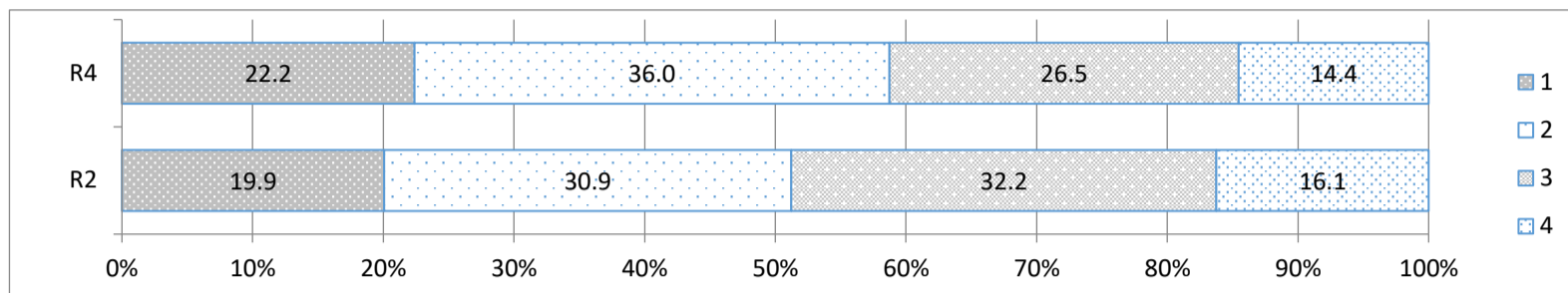
	1	2	3	4	肯定的な割合（増減）	
R4	37.6	44.3	13.7	4.2	81.9 %	+4.5
R2	38.8	38.6	16.0	6.4	77.4 %	



《選択肢》 1: している 2: どちらかといえばしている 3: どちらかといえばしていない 4: していない

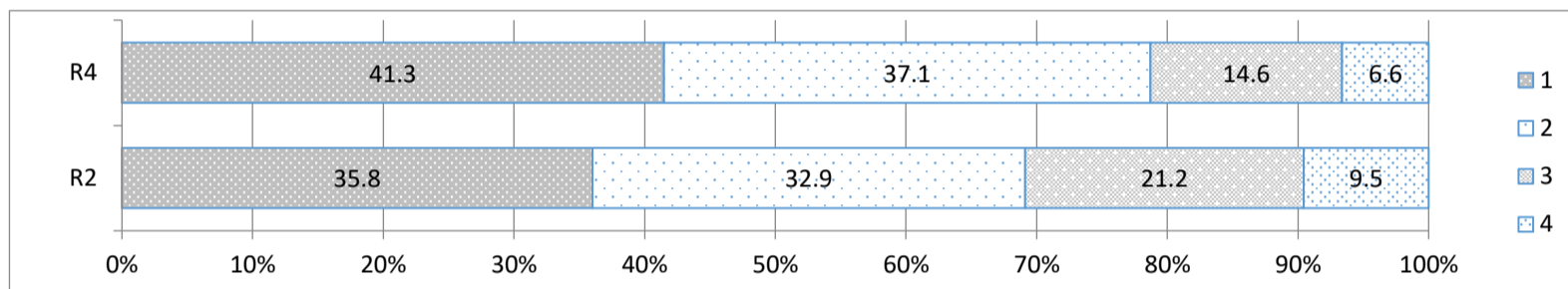
④ 学校の授業の予習をしていますか

	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	+7.4
R4	22.2	36.0	26.5	14.4	58.2 %	
R2	19.9	30.9	32.2	16.1	50.8 %	



⑤ 学校の授業の復習をしていますか

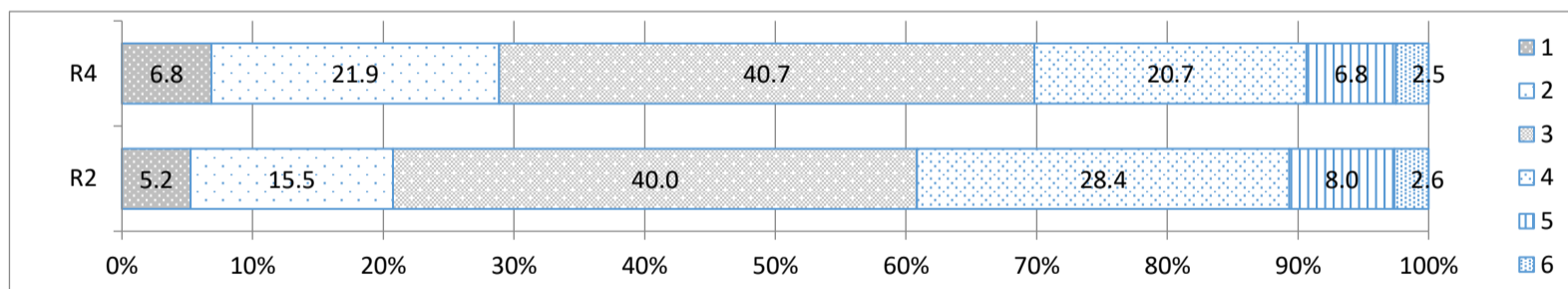
	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	+9.7
R4	41.3	37.1	14.6	6.6	78.4 %	
R2	35.8	32.9	21.2	9.5	68.7 %	



⑥ 学校の授業時間以外に、平日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (学習塾や家庭教師を含む)

《選択肢》 1: 3時間以上 2: 2時間以上3時間未満 3: 1時間以上2時間未満 4: 30分以上1時間未満 5: 30分未満 6: 全くしない

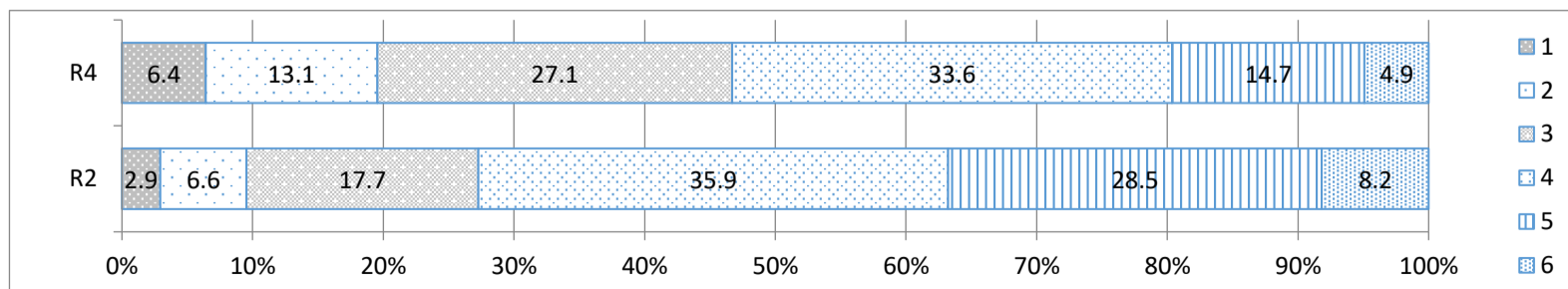
	1	2	3	4	5	6	2時間以上の割合 (増減)	+8.0
R4	6.8	21.9	40.7	20.7	6.8	2.5	28.7 %	
R2	5.2	15.5	40.0	28.4	8.0	2.6	20.7 %	



⑦ 休日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (学習塾や家庭教師を含む)

《選択肢》 1: 4時間以上 2: 3時間以上4時間未満 3: 2時間以上3時間未満 4: 1時間以上2時間未満 5: 1時間より少ない 6: 全くしない

	1	2	3	4	5	6	2時間以上の割合 (増減)	+19.4
R4	6.4	13.1	27.1	33.6	14.7	4.9	46.6 %	
R2	2.9	6.6	17.7	35.9	28.5	8.2	27.2 %	



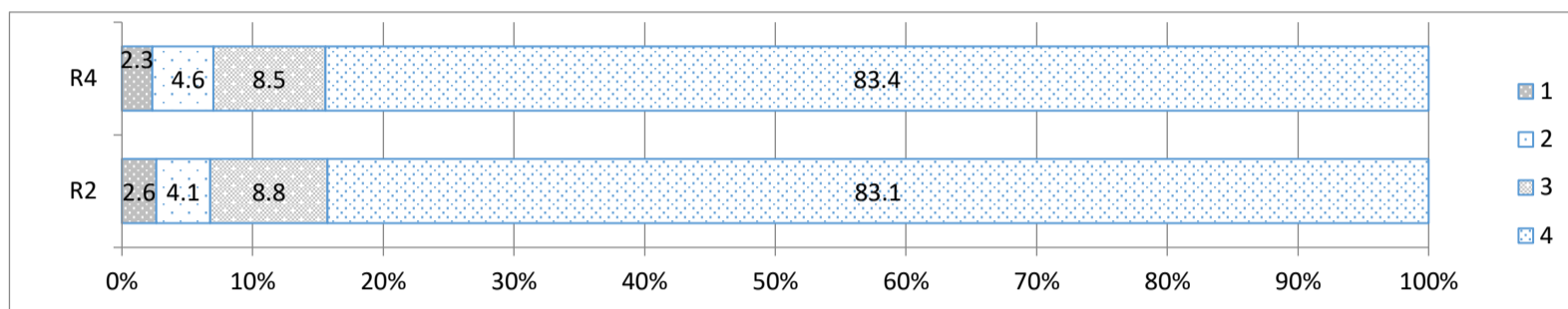
(2) 災害（地震・津波）の影響に関連する事項（今年度から質問事項の文言を一部修正）

○ 災害（地震・津波）の影響に関連する質問項目については、文言を一部修正したため、令和2年度との比較が難しい面がある。

《選択肢》 1: ある 2: どちらかといえばある 3: どちらかといえはない 4: ない

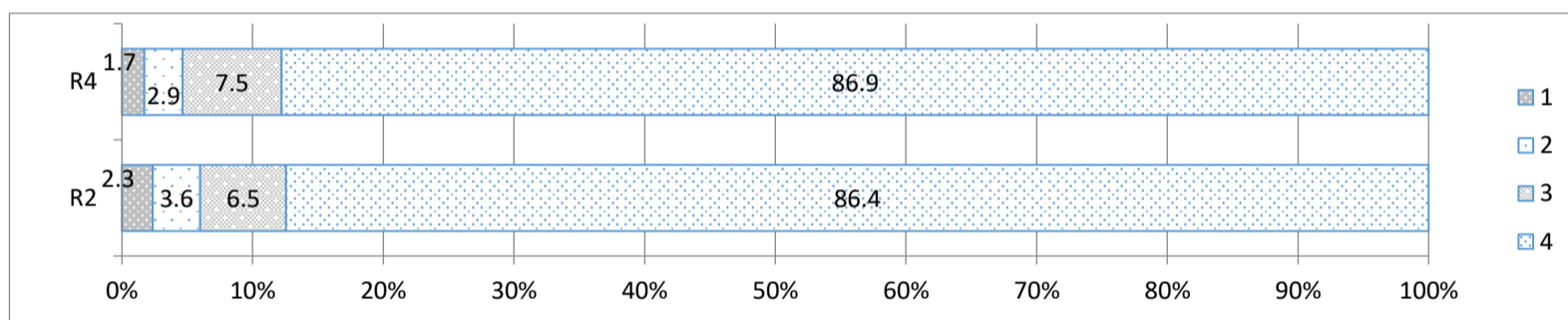
① 災害(地震・津波)のことが思い浮かび、家庭学習がやりにくいことがありますか

	1	2	3	4	肯定的な割合（増減）	
R4	2.3	4.6	8.5	83.4	6.9 %	+0.2
R2	2.6	4.1	8.8	83.1	6.7 %	



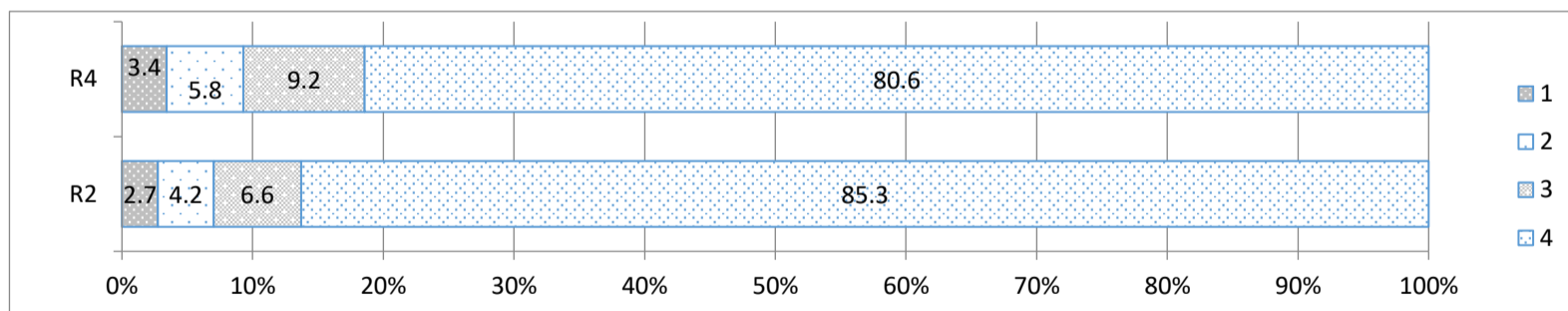
② 災害(地震・津波)のことが思い浮かび、授業に集中できないときがありますか

	1	2	3	4	肯定的な割合（増減）	
R4	1.7	2.9	7.5	86.9	4.6 %	-1.3
R2	2.3	3.6	6.5	86.4	5.9 %	



③ 災害(地震・津波)のことが思い浮かび、気持ちが落ち着かなくなることがありますか

	1	2	3	4	肯定的な割合（増減）	
R4	3.4	5.8	9.2	80.6	9.2 %	+2.2
R2	2.7	4.2	6.6	85.3	7.0 %	



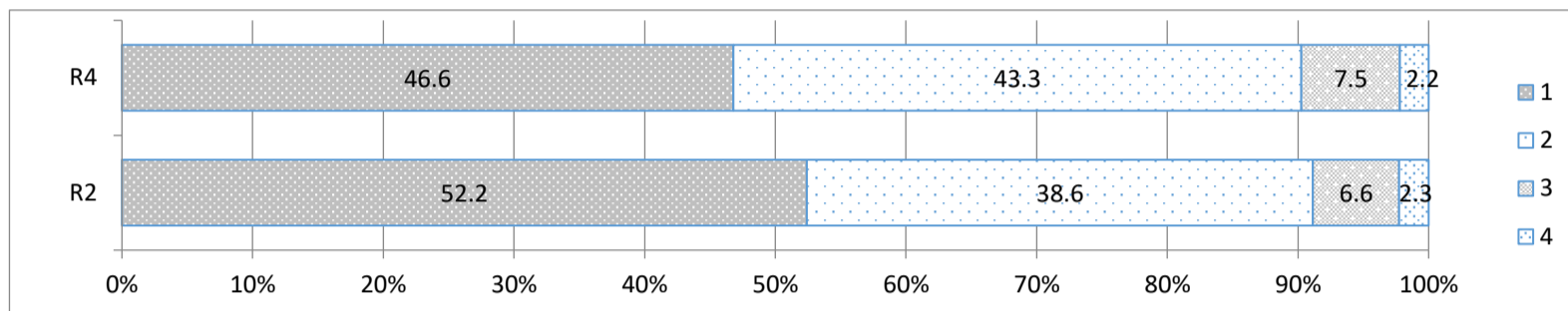
(3) 学習の理解度に関連する事項

○ 国語、数学ともに授業の内容が「分かる」「どちらかといえば分かる」という肯定的な回答の割合に大きな変化は見られない。

《選択肢》 1: 分かる 2: どちらかといえば分かる 3: どちらかといえば分からない 4: 分からない

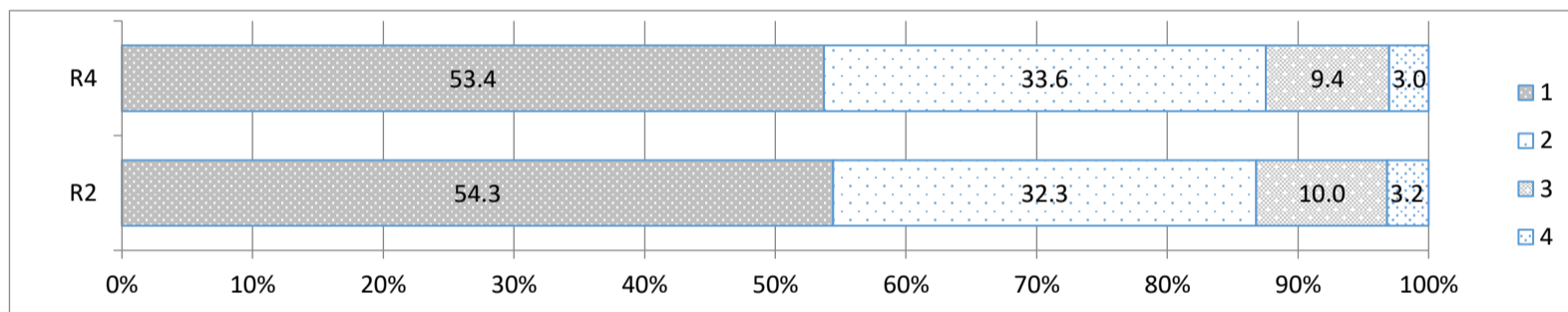
① 国語の授業の内容はよく分かりますか

	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	
R4	46.6	43.3	7.5	2.2	89.9 %	-0.9
R2	52.2	38.6	6.6	2.3	90.8 %	



② 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	
R4	53.4	33.6	9.4	3.0	87.0 %	+0.5
R2	54.3	32.3	10.0	3.2	86.5 %	



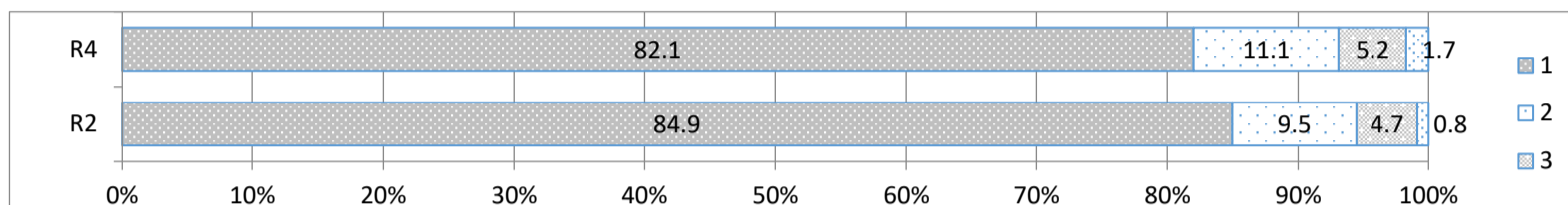
(4) 基本的な生活習慣に関連する事項

- 朝食を摂ることについては肯定的な回答が9割を超えており、大きな変化は見られない。
- 平日、1日当たりのゲーム時間は、中1で増加し、3時間以上の割合が約2割を超えている。
- 携帯やスマートフォンの所持率は中1で約8割である。

① 朝食を毎日食べていますか

《選択肢》 1: 食べている 2: どちらかといえば食べている 3: あまり食べていない 4: 全く食べていない

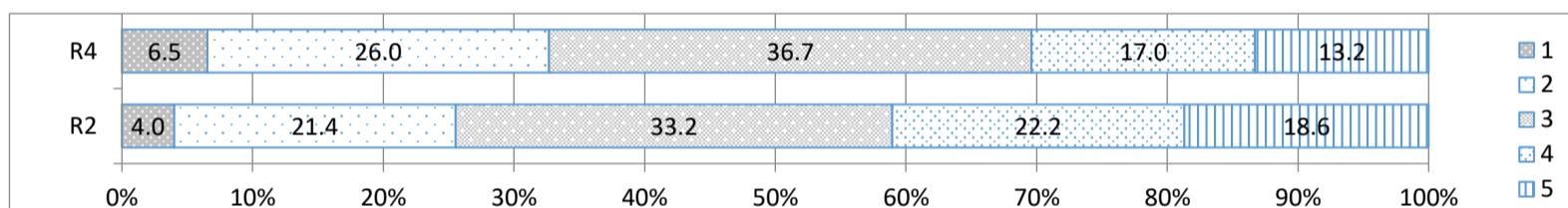
	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	
R4	82.1	11.1	5.2	1.7	93.2 %	-1.2
R2	84.9	9.5	4.7	0.8	94.4 %	



② 平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか (テレビゲームを除く)

《選択肢》 1: 全く見たり、聞いたりしない 2: 1時間未満 3: 1時間以上2時間未満 4: 2時間以上3時間未満 5: 3時間以上

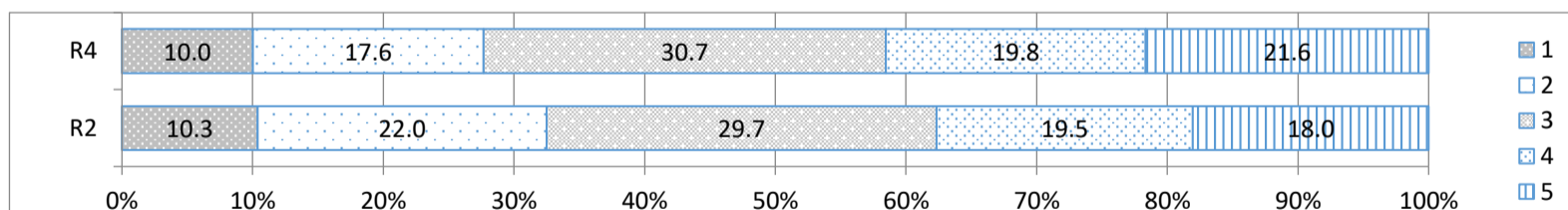
	1	2	3	4	5	3時間以上の割合 (増減)	
R4	6.5	26.0	36.7	17.0	13.2	13.2 %	-5.4
R2	4.0	21.4	33.2	22.2	18.6	18.6 %	



③ 平日に、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム (コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む) をしますか

《選択肢》 1: 全くしない 2: 1時間未満 3: 1時間以上2時間未満 4: 2時間以上3時間未満 5: 3時間以上

	1	2	3	4	5	3時間以上の割合 (増減)	
R4	10.0	17.6	30.7	19.8	21.6	21.6 %	+3.6
R2	10.3	22.0	29.7	19.5	18.0	18.0 %	



④ 自分のスマートフォン (タブレット端末を含む) を持っていますか

	持っている	肯定的な割合 (増減)	
R4	77.2	77.2 %	
R2	47.7	47.7 %	※ R2は「自分の携帯やスマートフォンを持っていますか」



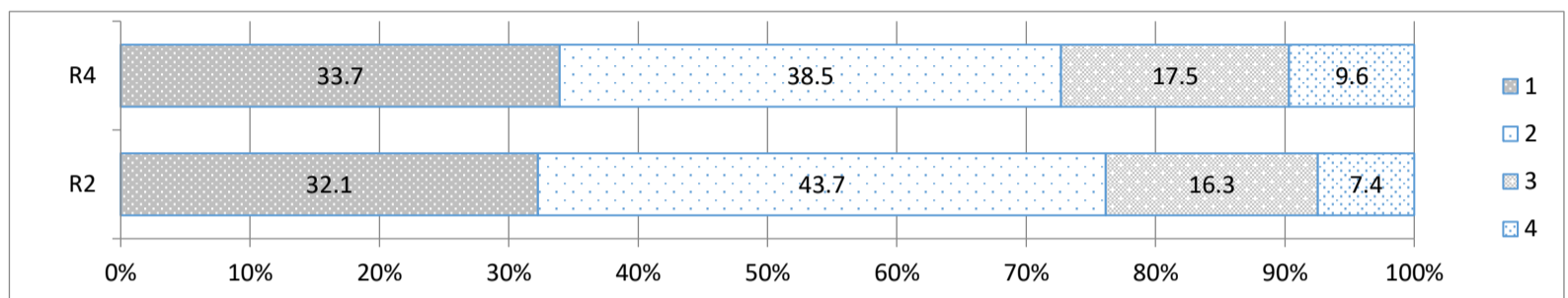
(5) 自尊意識・規範意識に関連する事項

- 自分にはよいところがあると思うと回答した割合は7割を超えているものの、小学校の時に比べ減少している。
- 物事を最後までやり遂げてうれしかったことがあると回答した割合、及び人の役に立つ人間になりたいと回答した割合は、9割を超えている。
- 将来の夢や目標を持っていると回答した割合、及び難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していると回答した割合は、小学校の時に比べ減少している。
- 学校のきまりを守っていると回答した割合は、小学校の時に比べて増加している。

① 自分には、よいところがありますか

《選択肢》 1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない

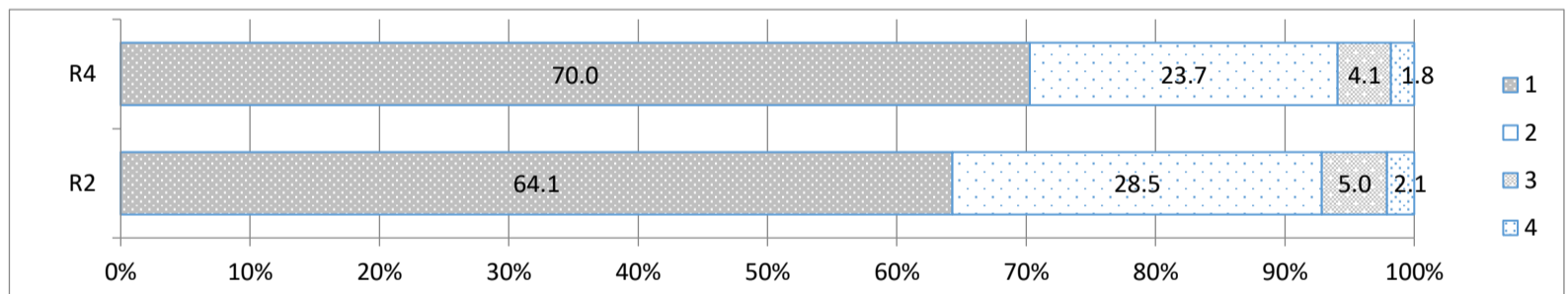
	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	-3.5
R4	33.7	38.5	17.5	9.6	72.2 %	
R2	32.1	43.7	16.3	7.4	75.7 %	



② ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか

《選択肢》 1: ある 2: どちらかといえばある 3: どちらかといえばない 4: ない

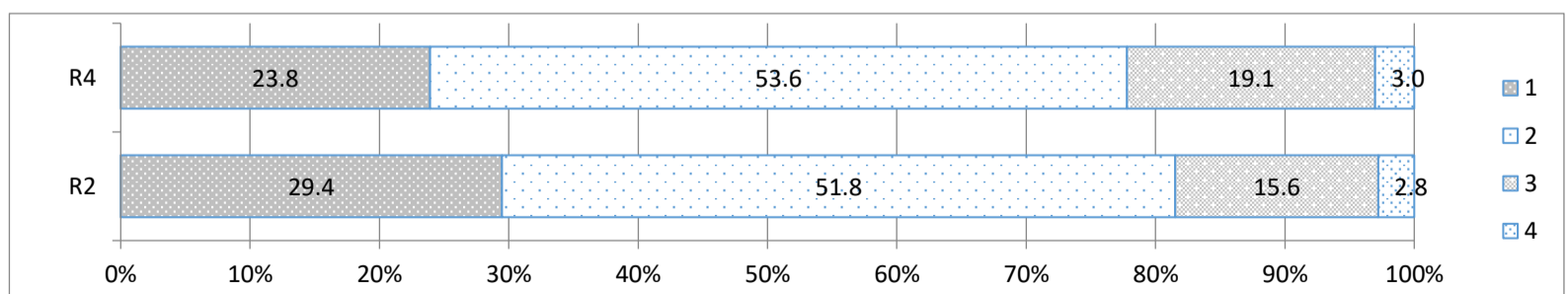
	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	+1.1
R4	70.0	23.7	4.1	1.8	93.7 %	
R2	64.1	28.5	5.0	2.1	92.6 %	



③ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

《選択肢》 1: している 2: どちらかといえばしている 3: どちらかといえばしていない 4: していない

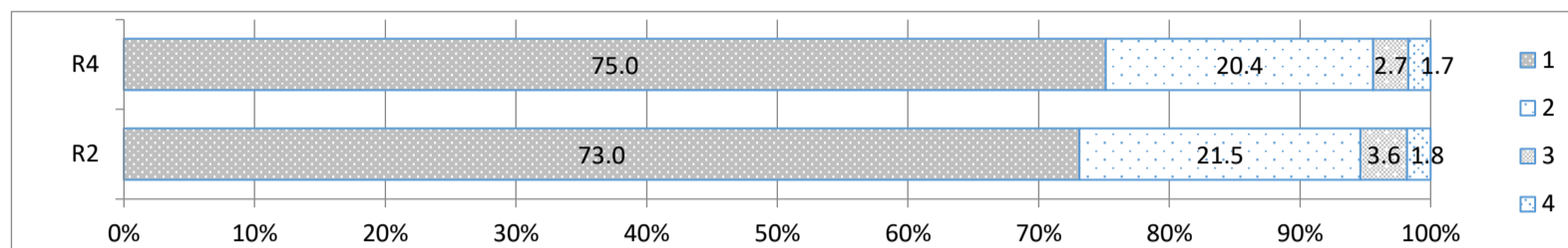
	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	-3.8
R4	23.8	53.6	19.1	3.0	77.4 %	
R2	29.4	51.8	15.6	2.8	81.2 %	



④ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

《選択肢》 1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない

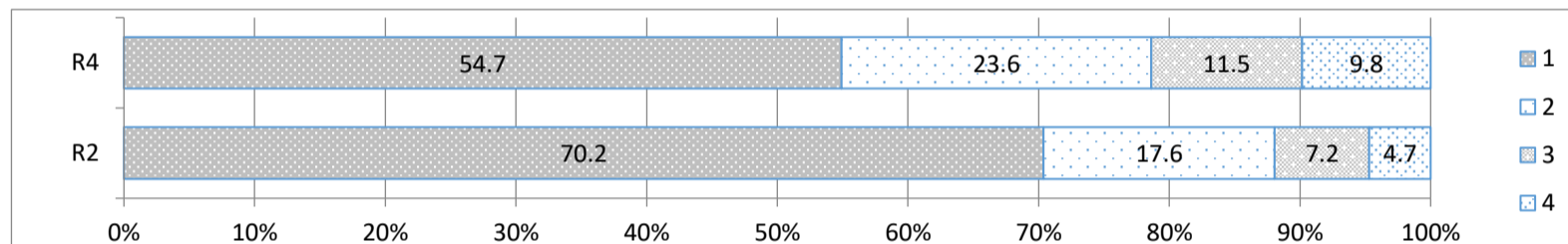
	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	+0.9
R4	75.0	20.4	2.7	1.7	95.4 %	
R2	73.0	21.5	3.6	1.8	94.5 %	



⑤ 将来の夢や目標を持っていますか

《選択肢》 1: 持っている 2: どちらかといえば持っている 3: どちらかといえば持っていない 4: 持っていない

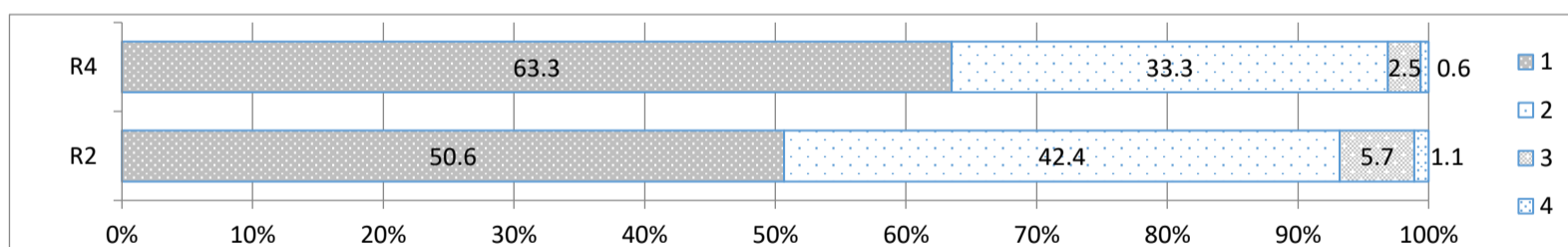
	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	-9.6
R4	54.7	23.6	11.5	9.8	78.3 %	
R2	70.2	17.6	7.2	4.7	87.9 %	



⑥ 学校のきまりを守っていますか

《選択肢》 1: 守っている 2: どちらかといえば守っている 3: どちらかといえば守っていない 4: 守っていない

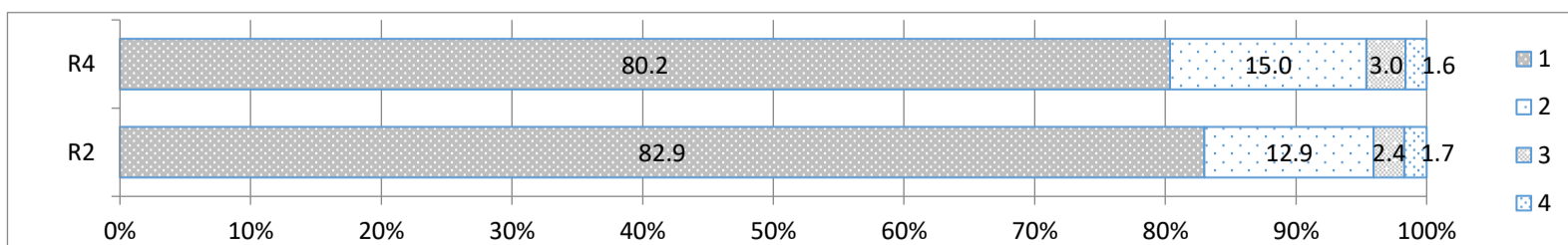
	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	+3.6
R4	63.3	33.3	2.5	0.6	96.6 %	
R2	50.6	42.4	5.7	1.1	93.0 %	



⑦ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

《選択肢》 1: そう思う 2: どちらかといえばそう思う 3: どちらかといえばそう思わない 4: そう思わない

	1	2	3	4	肯定的な割合 (増減)	-0.6
R4	80.2	15.0	3.0	1.6	95.2 %	
R2	82.9	12.9	2.4	1.7	95.8 %	



令和5年度宮城県立中学校入学者選抜出願者数について

1 出願期間 令和4年11月28日（月）～12月2日（金）午後3時

2 募集定員 各校105人

3 出願者数及び出願倍率

校名	募集定員	出願者数	出願倍率
仙台二華中学校	105人	421人	4.01倍
古川黎明中学校	105人	183人	1.74倍

4 適性検査

(1) 実施日 令和5年1月7日（土）午前8時30分～

(2) 会場 ○ 仙台二華中学校・仙台二華高等学校

○ 古川黎明中学校・古川黎明高等学校

(3) 内容 総合問題（筆記及び外国語（英語）のリスニング）、
作文、面接

(4) 結果通知 令和5年1月13日（金）午後4時 郵送

<参考>

令和4年度宮城県立中学校入学者選抜出願者数

校名	募集定員	出願者数	出願倍率
仙台二華中学校	105人	443人	4.22倍
古川黎明中学校	105人	177人	1.69倍

令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜に係る
新型コロナウイルス感染症への対応について

1 新型コロナウイルス感染症に係る基本対応（第一次募集）

	受験者の状況		高校入試への受験対応・追試験申請	
			本試験当日	受験機会の確保
I	感染症罹患患者	学力検査日当日までに療養期間が終了していない (療養期間については別紙1のとおり)	受験できない →追試験申請	①追試験の日程で受験 ②第二次募集の日程で受験 ③書類審査で対応
II	濃厚接触者 ^{注1} 又は 感染の可能性がある者 ^{注2}	学力検査当日までに待機が解除されていない (濃厚接触者及び感染の可能性のある者の待機期間については別紙1のとおり)		
III	「I・II」に該当しないが、発熱等の症状がある者 ^{注3}	学力検査当日に発熱など風邪様の症状がある	受験できない →追試験申請	①追試験の日程で受験

注1 陽性者の同居家族である者や、保健所・施設管理者から濃厚接触者と特定された者。

注2 新型コロナウイルス感染症罹患患者が校内で確認され、学校保健安全法19条により学校長が感染の可能性のある者として個別に出席停止を要請している者。

注3 発熱症状がある場合は、基本的に追試験を受験する。平熱の高い受験者は、中学校を通してあらかじめ高校に相談し、中学校長・保護者確認の上、別室で受験することも可とする。

(1) 第一次募集に出願した受験者が感染又は濃厚接触者・感染の可能性がある者に特定された場合
(上記「I」「II」の場合)

	受験者の状況	出願校での受験対応		
		受験日	受験する試験内容	合格発表日
イ	本試験当日(3月6日(月))までに療養期間又は待機期間が終了している者	3月6日(月)	本試験	3月16日(木)
ロ	本試験を受験できなかった者のうち次のいずれかに該当する者 (i)追試験当日(3月13日(月))までに療養期間又は待機期間が終了している者 (ii)受験可能な濃厚接触者又は感染の可能性のある者 ^{注4}	3月13日(月)	追試験	
ハ	本試験及び追試験を受験できなかった者のうち次のいずれかの者 (i)第二次募集当日(3月23日(木))までに療養期間又は待機期間が終了している者 (ii)受験可能な濃厚接触者又は感染の可能性のある者 ^{注4}	3月23日(木)	国語・数学・英語の学力検査(第二次募集の学力検査問題)及び面接・実技・作文(出願校が第一次募集で課したもの)	3月23日(木) もしくは 3月24日(金)
ニ	本試験、追試験及び第二次募集の日程で実施する追試験を受験できなかった者		調査書等による書類審査	

注4 受験可能な濃厚接触者とは、次の(i)～(iii)の条件をすべて満たす者をいう。

※ 保健所において濃厚接触者であることやPCR検査の結果が陰性であることを文書等で証明することは
ないため、入学志願者から受験可能な濃厚接触者であることの申告をあらかじめ受け、下記(i)から(iii)
の条件を満たすことを確認した上で、終日別室において受験を認める。

(i) 初期スクリーニング検査（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査（行政
検査）の結果、陰性であること。行政検査が実施されず自宅待機となっている者については、行政検査の
結果が得られないため、待機期間中、十分に健康観察を行い、無症状であることを以て、陰性と同等とみ
なす。

なお、行政検査の結果が得られない場合は、可能であれば抗原定性検査キット（「医薬品」の表示がある
もの）により陰性確認を行うことが望ましい。

(ii) 検査日当日も無症状であること（別紙2「健康状態チェックリスト」のすべての条件を満たすこと。）。

(iii) 検査日当日、公共交通機関を利用せず、検査会場に自家用車等で往復できること。

中学校は、あらかじめ交通手段の確保を家庭に依頼すること。

(2) 受験者の周囲（同一中学校に在籍している生徒・教職員等）で感染者が確認されたが、受験者は濃厚接触者
ではない場合の対応

受験者の状況		出願校での受験対応	
		受験日	受験する試験内容
イ	発熱等の症状がある場合 ^{注5}	3月13日（月）	追試験
ロ	発熱等の症状がない場合	3月6日（月）	本試験 ^{注6} （通常の教室で受験）

注5 発熱症状がある場合は、基本的に追試験を受験する。平熱の高い受験者は、中学校を通して3月2日（木）
までに高校に相談し、中学校長・保護者確認の上、別室で受験することも可とする。

注6 本試験の受験に際し、感染者が確認された中学校長から、「新型コロナウイルス感染症に対する精神的不安」
を理由に配慮申請があった場合は、当該中学校長と協議の上、該当する受験者の別室受験を認めることとする。

2 受験会場となる高等学校における対応

(1) 事前準備について

生徒・教職員に感染者が出る等の不測の事態が生じた場合、試験会場を消毒する等の対応が必要となる。3月6
日（月）の本試験を円滑に実施するために、3月3日（金）に会場準備を行い、4日（土）及び5日（日）は原則
として検査会場となる区域への生徒の立ち入りを制限し、当日に備える。

(2) 各検査前に生徒・教職員の感染及び濃厚接触者が確認された場合

- 当該高等学校内の消毒等を徹底し、予定どおり入学者選抜を実施する。
- 校長が感染した場合は、教頭がその職務を代行し、また、校長及び教頭が感染した場合は、教育委員会から職
員を派遣し、その職務を代行することで、円滑に入学者選抜が実施できるよう措置する。
- 教職員の感染者が複数に及んだ場合は、教育委員会から職員を派遣し、その業務を代行することで、円滑に入
学者選抜が実施できるよう措置する。

3 円滑な高等学校入学者選抜の実施に向けた対応

- (1) 生徒及び教職員は、マスクの着用やうがい、手洗いの励行等、新型コロナウイルス感染症予防を徹底すること。
- (2) 生徒・教職員に感染が確認された場合は、速やかに県教育委員会（高校教育課）に報告し、対応を協議すること。
- (3) 発熱、咳等がある教職員は勤務を控え、速やかに医療機関を受診させる等、新型コロナウイルス感染症予防に万
全を期すこと。

4 その他

調査書の取扱いについては以下のとおりとする。

- 入学者選抜資料として調査書を活用するにあたって、出席日数や学習評価の内容等の記載により不利益を被る
ことのないようにする。
- 諸活動の記録や指導上参考となる諸事項等の記載が少ないことをもって、入学志願者が不利益を被ることがな
いようにする。

新型コロナウイルス感染症罹患者の療養期間及び濃厚接触者の待機期間について

1. 新型コロナウイルス感染症罹患者の療養期間について

	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
有症状で療養した場合	発症日	療養期間						療養最終日	療養解除
無症状で療養した場合	検体採取日	療養期間						療養最終日	療養解除
		療養期間				5日目に検査キットで陰性	療養最終日	療養解除	

※症状が残っている場合や、無症状から有症状になった場合は、療養期間が延長する場合がありますので、その際は保健所等に確認してください。

2. 濃厚接触者の待機期間について

	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
原則となる待機期間		自宅待機・健康観察					待機解除日	
待機期間を短縮する場合	最終接触日	自宅待機・健康観察	抗原定性検査キットで陰性	抗原定性検査キット ↓ 陰性確認 時点より待機解除	健康観察と感染対策の徹底			7日目まで健康観察・感染対策の徹底

※濃厚接触者とは、陽性者の同居家族である者や、保健所・施設管理者から濃厚接触者と特定された者
 ※濃厚接触者の待機期間は、最終接触日を0日目として5日間（6日目解除）が原則だが、2日目及び3日目に抗原定性検査キット（「医薬品」の表示があるもの）を用いた検査で陰性を確認した場合、3日目から待機解除が可能

※いずれの場合であっても、7日間が経過するまでは、検温など自身による健康状態の確認を継続

令和5年度宮城県公立高等学校入学者選抜用健康状態チェックリスト

※本用紙は、受験可能な濃厚接触者（又は感染の可能性のある者）として、追試験を受験する場合に限り必要になるものです。

令和5年3月 日

出願先 高等学校名	高等学校 (校)	受験番号	
中学校名		受験者氏名	
		保護者氏名 (確認者氏名)	

■ 確認項目のチェック欄は、受験者本人が記入しても構いませんが、保護者が必ず確認し、保護者（確認者）氏名は自筆するようにしてください。

確認項目 A	確認結果	
初期スクリーニング検査（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するPCR等の検査（行政検査）の結果が陰性である	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ (検査できない)
抗原定性検査キット（「医薬品」の表示があるもの）による検査の結果が陰性である	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ (検査できない)
待機期間中、十分に健康観察を行い、無症状である	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

確認項目 B	確認結果	
① 発熱の症状（37.5度以上）がある 検温結果【 . 度】	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
② 息苦しさ（呼吸困難）がある	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
③ 強いだるさ（倦怠感）がある	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
④ 咳の症状がある	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
⑤ のどの痛みがある	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

- ・確認項目A、Bの該当する項目すべてに☑を記入してください。
- ・確認項目Aがいずれも「いいえ」又は確認項目Bで「はい」が1項目以上該当する場合には、本日の試験を受験することはできません。
- ・確認項目Aのいずれかが「はい」であり、かつ、確認項目Bがすべて「いいえ」の場合にこの用紙を受付に提出してください。